

介護保険サービス等に関する実態調査
結果報告書

令和5年(2023年)3月

枚 方 市

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 圏域	3
2. 家族構成とお住まいについて	4
(1) 家族構成	4
(2) 30分～1時間程度の近距離に行き来のある親族がいるか	6
(3) 昼間ひとりになることはよくあるか	6
(4) 住まいの状況	7
3. 健康状態などについて	9
(1) 健康状態	9
(2) 病院・医院（診療所・クリニック）への通院状況	10
(3) 通院の頻度	11
(4) かかりつけの病院・医院等について	12
4. 地域とのかかわり等について	16
(1) 近所づきあいの程度	16
5. 介護サービスなどの利用について	19
(1) 現在の要介護度	19
(2) 要介護認定が必要になった主な原因	21
(3) 1年前を比較した要介護度の変化	23
(4) 現在利用しているサービス	24
(5) コロナ禍による変化について	27
(6) ケアマネジャーの対応について	28
(7) 訪問看護／予防訪問事業について	31
(8) 通所介護／予防通所事業・通所リハビリテーションについて	38
(9) 短期入所について	40
(10) 介護保健サービスを利用していない主な理由	42
6. 認知症について	43
(1) 認知症への不安	43
(2) 認知症の人が地域で暮らすために必要だと思うこと	45
7. 今後の生活について	47
(1) 今後の暮らし方について	47

8. 保健・福祉サービスや介護に対するお考えについて	53
(1) 地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）の認知度.....	53
(2) 介護や保健、医療等に関する情報のニーズ.....	55
(3) 今後の介護サービスと介護保険料について.....	57
9. 看取り（みとり）について	59
(1) 最期の過ごし方について	59
(2) エンディングノートの認知度.....	62
(3) 人生の最期を迎えたい場所	63
(4) 病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望するか.....	65
(5) 病院以外での最期を迎えるために、整える必要があると思うこと.....	66

資料編 調査票

1. 調査概要

調査目的	ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第9期）の策定に向け、介護保険サービスの利用実態や日常生活の状況、今後の生活についての意向等を聴取することにより、枚方市の各地域の高齢者にはどのような課題やニーズがあるのかを把握し、今後の介護保険制度及び高齢者保健福祉施策の適正な運営に資することを目的としている。
調査対象	市内に在住している要支援・要介護認定を受けている65歳以上の人1,300名 ※本市の日常生活圏域13圏域ごとに100名ずつ無作為抽出・無記名調査
調査方法	調査票による本人記入方式（本人が記入できない場合は家族等による）。 郵送による発送、返送は郵送またはWEBによる。
調査期間	令和4年(2022年)12月～令和5年(2023年)1月
回収状況	有効回答数 706件（有効回答率 54.3%）
回答者の主な属性	性別：女性 62.7%、男性 33.1%、不明 4.1% 年齢：65～69歳 3.4%、70～74歳 10.3%、75～79歳 15.4%、 80～84歳 24.6%、85～89歳 24.5%、90歳以上 18.7%、無回答 3.0%

【調査結果について】

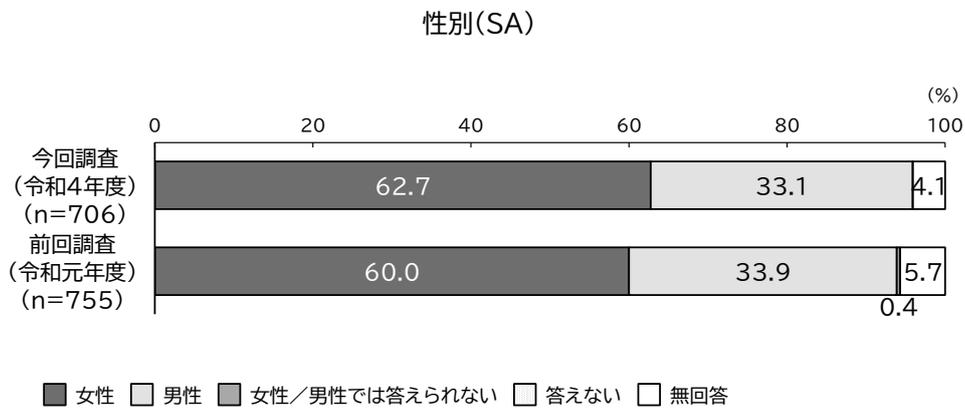
- ※ アンケート調査結果における各設問のn（number of caseの略）は、設問に対する有効回答者数を意味します。
- ※ 各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。
- ※ グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。
- ※ グラフ中のSAは択一式の単数回答、MAは複数回答を示しています。
- ※ 性別、年齢別、圏域別、要介護度別、前回調査との比較は、統計的検定により有意差が認められた場合のみコメントを記載しています。グラフの見た目上は差があっても、検定による有意差があるとは言えない場合はコメントを記載していません。

2. 調査結果

1. 回答者の属性

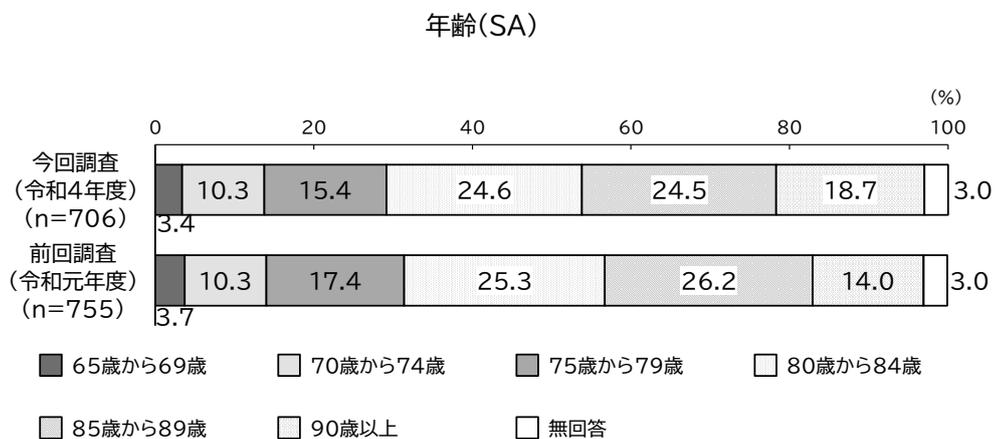
(1) 性別

- ・ 「女性」が62.7%、「男性」が33.1%となっています。



(2) 年齢

- ・ 「80歳から84歳」が最も多く24.6%、次いで「85歳から89歳」が24.5%、「90歳以上」が18.7%などとなっています。



(3) 圏域

- ・ 圏域ごとの内訳は、以下のようになっています。

圏域

(上段：件、下段：%)

	n	第 1 圏 域	第 2 圏 域	第 3 圏 域	第 4 圏 域	第 5 圏 域	第 6 圏 域	第 7 圏 域	第 8 圏 域	第 9 圏 域	第 1 0 圏 域	第 1 1 圏 域	第 1 2 圏 域	第 1 3 圏 域
全体	706 100.0	54 7.6	59 8.4	51 7.2	55 7.8	52 7.4	54 7.6	54 7.6	49 6.9	61 8.6	62 8.8	48 6.8	53 7.5	54 7.6
女性	443 100.0	38 8.6	39 8.8	31 7.0	35 7.9	31 7.0	35 7.9	30 6.8	34 7.7	36 8.1	37 8.4	31 7.0	35 7.9	31 7.0
男性	234 100.0	14 6.0	19 8.1	18 7.7	17 7.3	19 8.1	17 7.3	20 8.5	14 6.0	24 10.3	21 9.0	15 6.4	17 7.3	19 8.1
65～74歳	97 100.0	8 8.2	11 11.3	3 3.1	7 7.2	7 7.2	7 7.2	8 8.2	6 6.2	11 11.3	8 8.2	6 6.2	10 10.3	5 5.2
75～84歳	283 100.0	23 8.1	27 9.5	24 8.5	18 6.4	20 7.1	23 8.1	20 7.1	26 9.2	25 8.8	22 7.8	18 6.4	17 6.0	20 7.1
85歳以上	305 100.0	22 7.2	19 6.2	24 7.9	26 8.5	24 7.9	22 7.2	24 7.9	17 5.6	24 7.9	28 9.2	22 7.2	26 8.5	27 8.9
要支援1、2	260 100.0	20 7.7	23 8.8	17 6.5	21 8.1	21 8.1	15 5.8	16 6.2	21 8.1	23 8.8	25 9.6	20 7.7	18 6.9	20 7.7
要介護1、2	213 100.0	20 9.4	19 8.9	15 7.0	14 6.6	12 5.6	19 8.9	16 7.5	11 5.2	23 10.8	18 8.5	8 3.8	18 8.5	20 9.4
要介護3以上	194 100.0	11 5.7	16 8.2	18 9.3	19 9.8	17 8.8	15 7.7	17 8.8	12 6.2	12 6.2	14 7.2	19 9.8	13 6.7	11 5.7

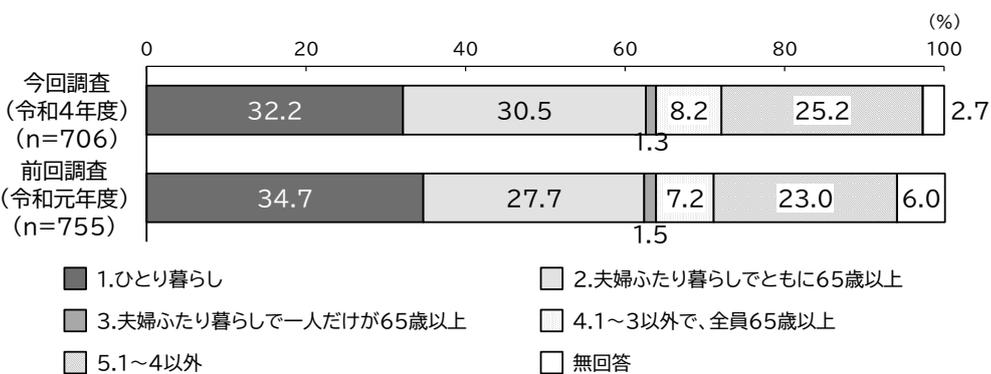
2. 家族構成とお住まいについて

(1) 家族構成

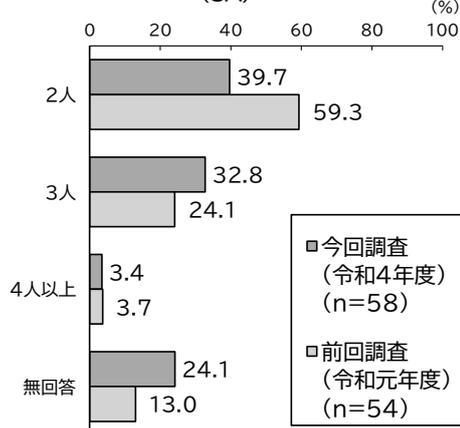
問1 あなたの家族構成について、あてはまるものはどれですか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 「ひとり暮らし」が最も多く32.2%、次いで「夫婦ふたり暮らしでともに65歳以上」が30.5%、「1~4以外」が25.2%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、傾向に違いはありません。

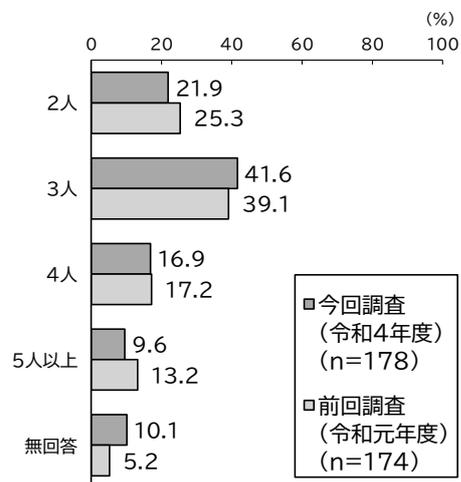
家族構成(SA)



1~3以外で、全員65歳以上の世帯人数 (SA)

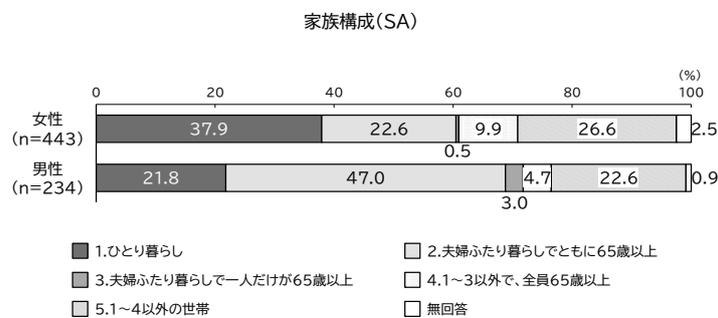


1~4以外の世帯人数(SA)

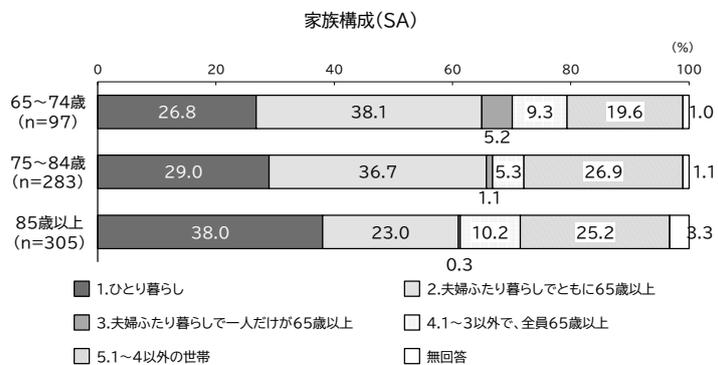


- ・ 女性は「ひとり暮らし」が最も多く 37.9%、男性は「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が最も多く 47.0%となっています。女性は男性と比較して、「ひとり暮らし」「1~3 以外で、全員 65 歳以上」が多く、男性では「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が多くなっています。
- ・ 65~74 歳、75~84 歳は「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が最も多く、65~74 歳は 38.1%、75~84 歳は 36.7%となっています。85 歳以上は「ひとり暮らし」が最も多く 38.0%となっています。年齢が高くなるほど「ひとり暮らし」が多く、「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が少なくなっています。
- ・ 要支援 1、2 では「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が最も多く 36.9%となっています。要介護 1、2、要介護 3 以上では「ひとり暮らし」が最も多く、要介護 1、2 が 32.4%、要介護 3 以上が 29.9%となっています。要介護度が高くなるほど「夫婦ふたり暮らしでともに 65 歳以上」が少なくなっています。

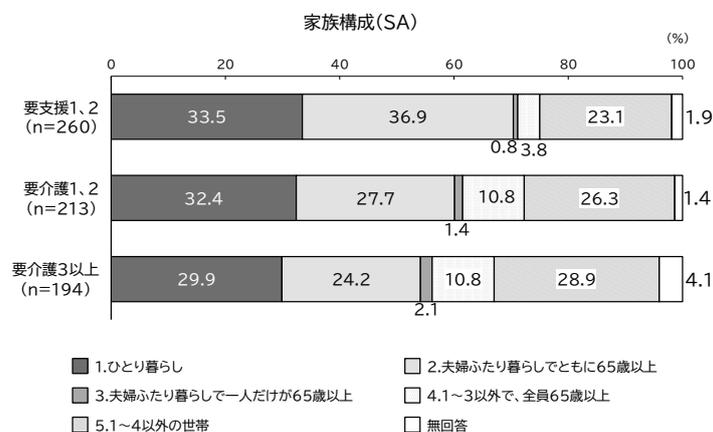
【性別】



【年齢別】



【要介護度別】

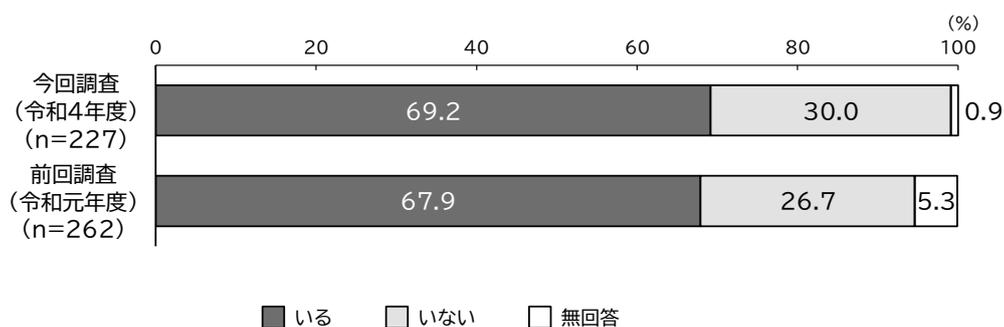


(2) 30分～1時間程度の近距離に行き来のある親族がいるか

問1-1 前問で、「1. ひとり暮らし」と回答された方におたずねします。30分～1時間程度の近距離に行き来のある親族がおられますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 「いる」が69.2%、「いない」が30.0%となっています。

30分～1時間程度の近距離に行き来のある親族がいるか(SA)

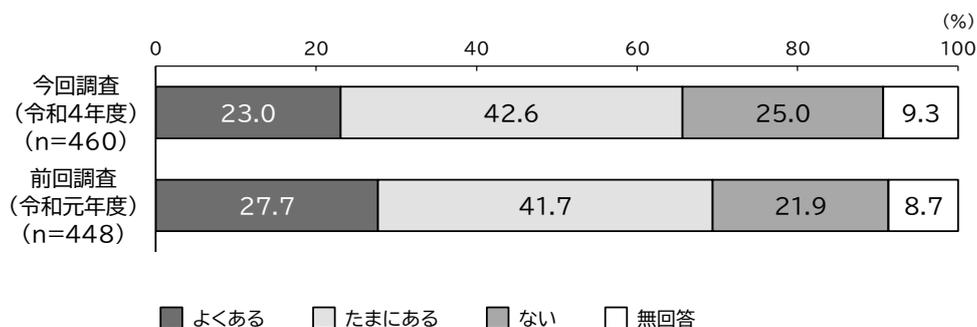


(3) 昼間ひとりになることはよくあるか

問1-2 問1で、「2」～「5」(同居人あり)と回答された方におたずねします。昼間ひとりになることはよくありますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 「よくある」が23.0%、「たまにある」が42.6%、「ない」が25.0%となっています。

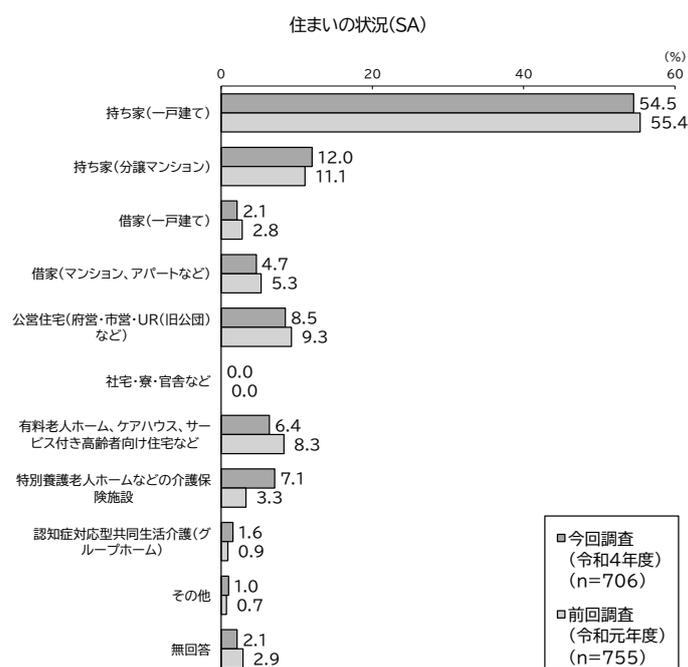
昼間ひとりになることはよくあるか(SA)



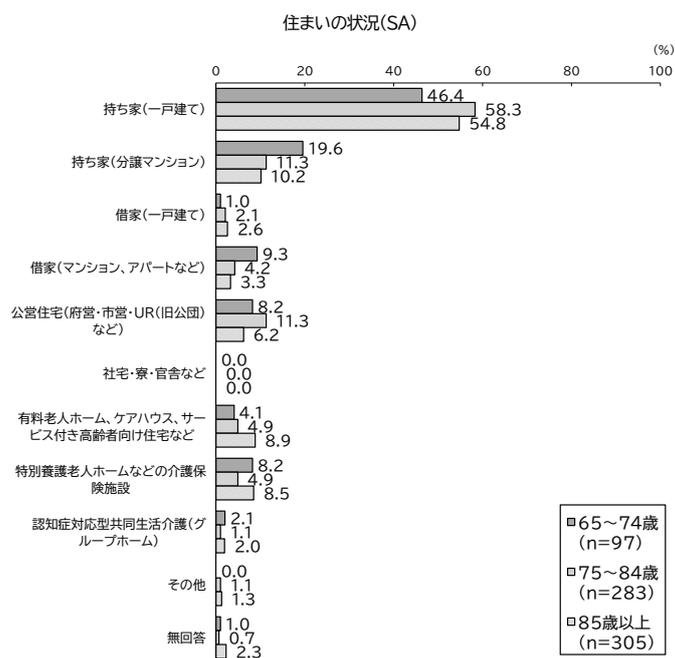
(4) 住まいの状況

問2 あなたのお住まいの状況について、あてはまるものはどれですか。
(あてはまるもの1つに○)

- ・「持ち家（一戸建て）」が最も多く 54.5%、次いで「持ち家（分譲マンション）」が 12.0%、「公営住宅（府営・市営・UR（旧公団）など）」が 8.5%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・すべての年齢で「持ち家（一戸建て）」が最も多く、65～74歳で 46.4%、75～84歳で 58.3%、85歳以上で 54.8%となっています。年齢が高くなるほど「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅など」が多く、「持ち家（分譲マンション）」「借家（マンション、アパートなど）」が少なくなっています。

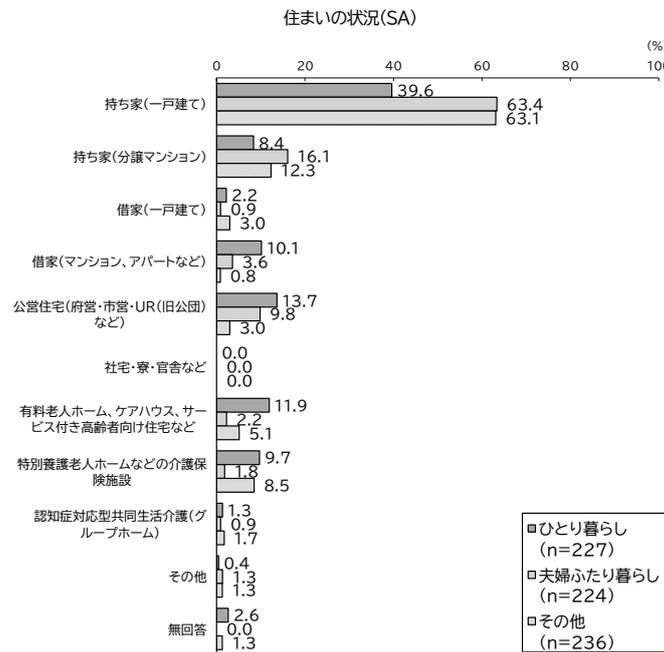


【年齢別】

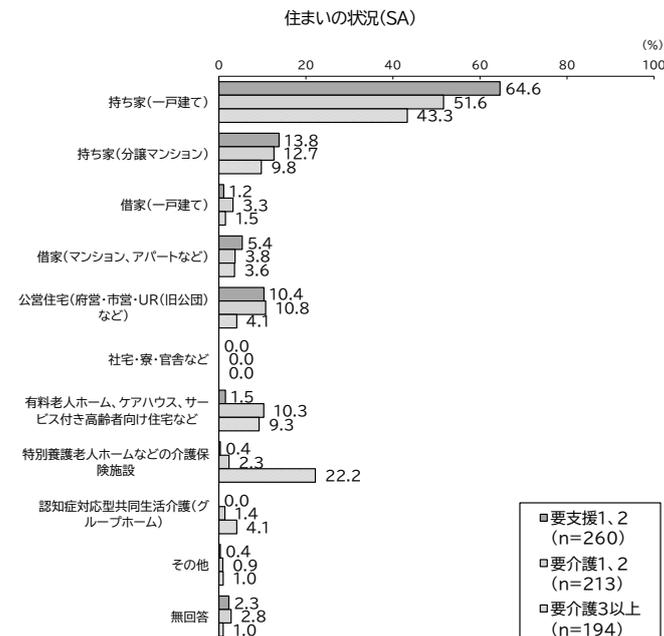


- ・すべての家族構成で「持ち家（一戸建て）」が最も多く、ひとり暮らしで 39.6%、夫婦ふたり暮らしで 63.4%、その他で 63.1%となっています。ひとり暮らしでは「借家（マンション、アパートなど）」「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅など」が多くなっています。
- ・すべての要介護度で「持ち家（一戸建て）」が最も多く、要支援 1、2 で 64.6%、要介護 1、2 で 51.6%、要介護 3 以上で 43.3%となっています。要介護度が高くなるほど「持ち家（一戸建て）」が少なくなっています。要介護 3 以上で「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が多くなっています。

【家族構成別】



【要介護度別】

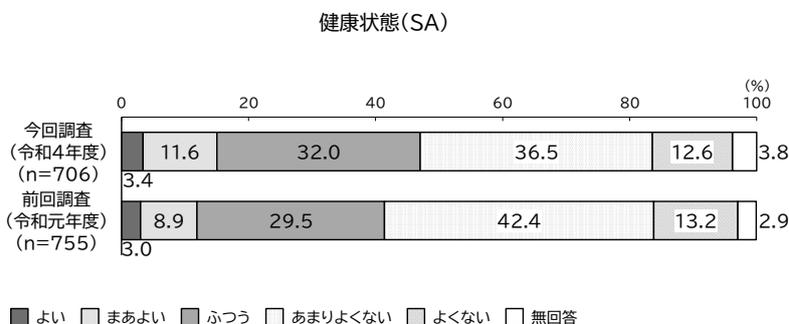


3. 健康状態などについて

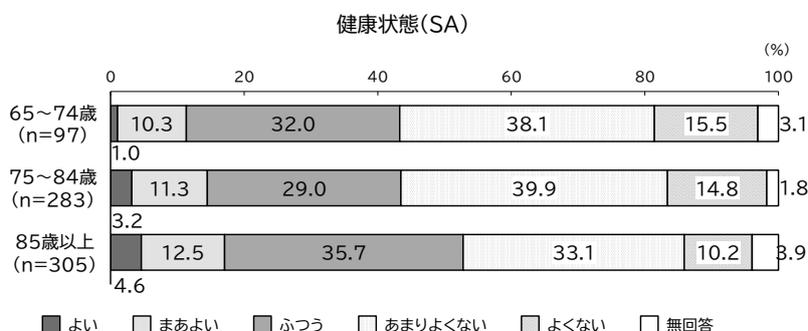
(1) 健康状態

問3 あなたは、自分の健康状態をどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

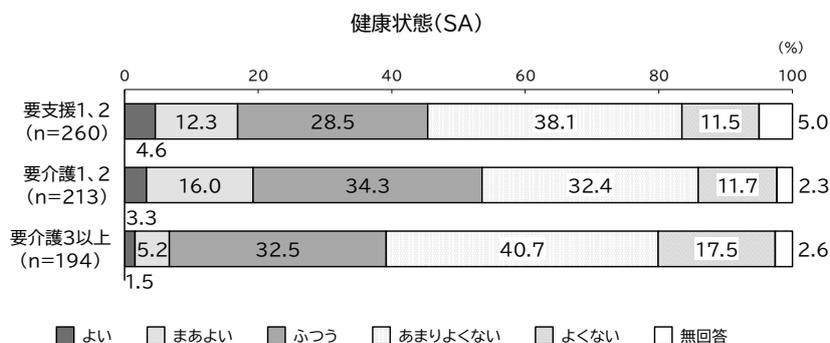
- ・ 「あまりよくない」が最も多く36.5%、次いで「ふつう」が32.0%、「よくない」が12.6%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 65～74歳、75～84歳は「あまりよくない」が最も多く、65～74歳は38.1%、75～84歳は39.9%となっています。85歳以上は「ふつう」が最も多く35.7%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ 要支援1、2、要介護3以上では「あまりよくない」が最も多く、要支援1、2が38.1%、要介護3以上が40.7%となっています。要介護1、2では「ふつう」が最も多く34.3%となっています。



【年齢別】



【要介護度別】

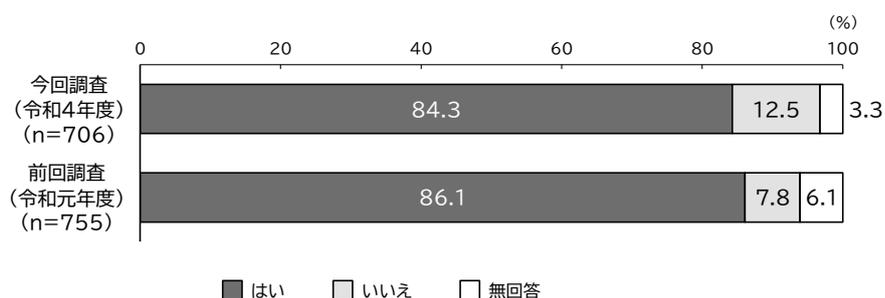


(2) 病院・医院（診療所・クリニック）への通院状況

問4 病院・医院の利用状況についてお聞きします。現在、病院・医院（診療所・クリニック）に通院していますか。（いずれかに○）

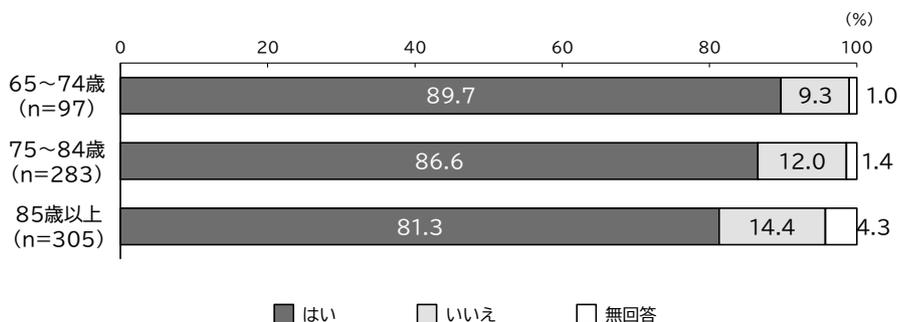
- ・ 「はい」が84.3%、「いいえ」が12.5%となっています。前回調査と比較して、「はい」が少なくなっています。
- ・ すべての年齢で「はい」が多く、65～74歳で89.7%、75～84歳で86.6%、85歳以上で81.3%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ すべての要介護度で「はい」が多く、要支援1、2で92.7%、要介護1、2で87.3%、要介護3以上で72.2%となっています。要介護度が高くなるほど「はい」が少なくなっています。

病院・医院(診療所・クリニック)への通院状況(SA)



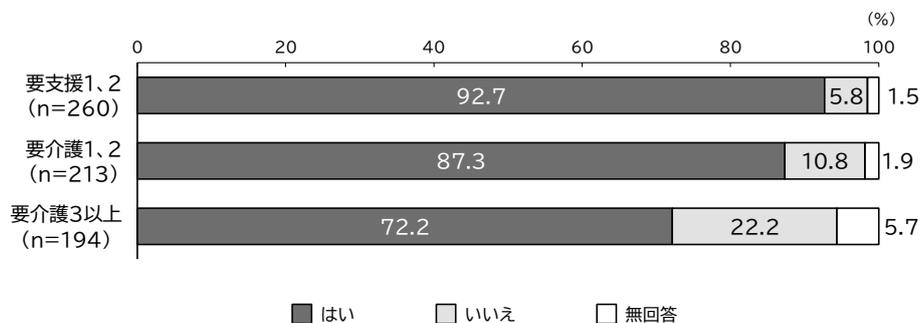
【年齢別】

病院・医院(診療所・クリニック)への通院状況(SA)



【要介護度別】

病院・医院(診療所・クリニック)への通院状況(SA)

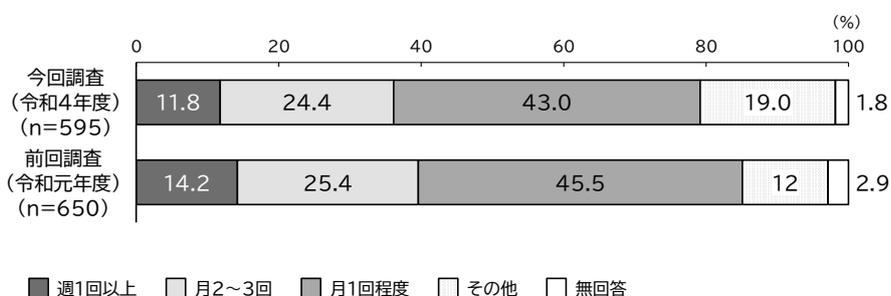


(3) 通院の頻度

問 4-1 前問で「1. はい」(通院している)と回答された方におたずねします。
どのくらい通院していますか。(あてはまるもの1つに○)

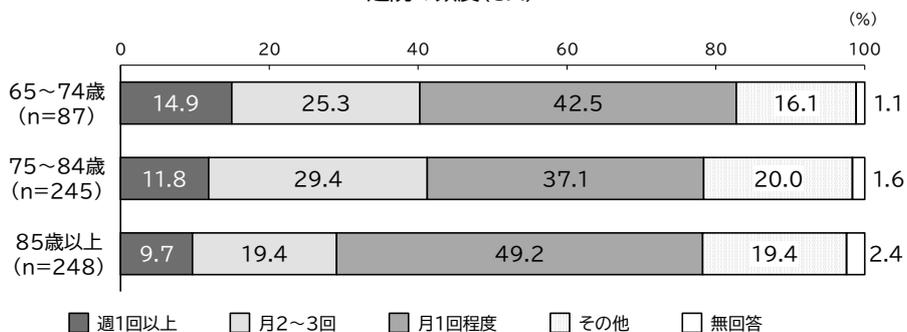
- ・ 「週1回以上」が11.8%、「月2~3回」が24.4%、「月1回程度」が43.0%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「月1回程度」が最も多く、65~74歳で42.5%、75~84歳で37.1%、85歳以上で49.2%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ すべての要介護度で「月1回程度」が最も多く、要支援1、2で45.2%、要介護1、2で40.9%、要介護3以上で39.3%となっています。要介護度が高くなるほど「その他」が多くなっています。「その他」の記述をみると、「2か月に1回」「3か月に1回」など、「月1回程度」より少ない頻度の回答が大半となっています。

通院の頻度(SA)



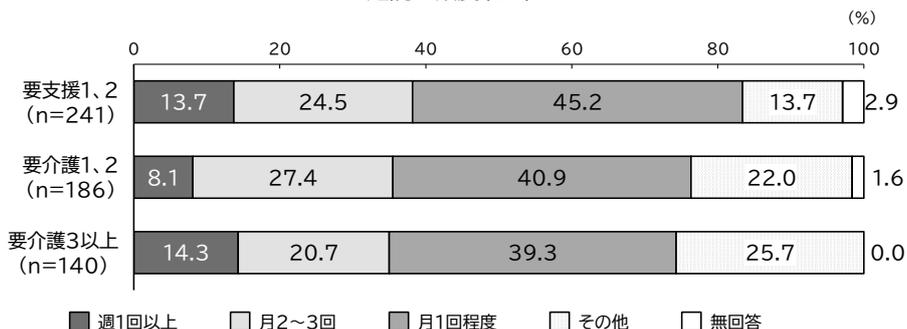
【年齢別】

通院の頻度(SA)



【要介護度別】

通院の頻度(SA)

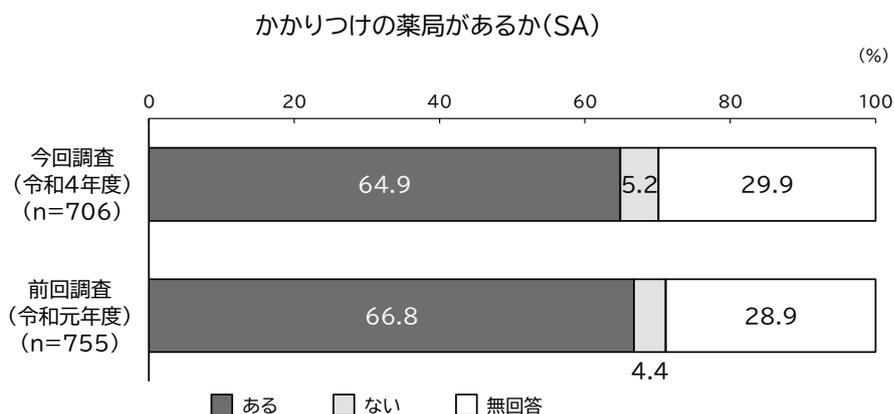
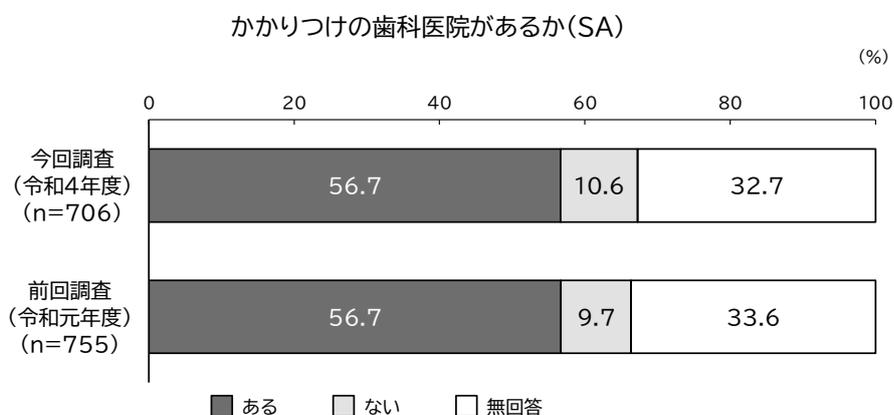
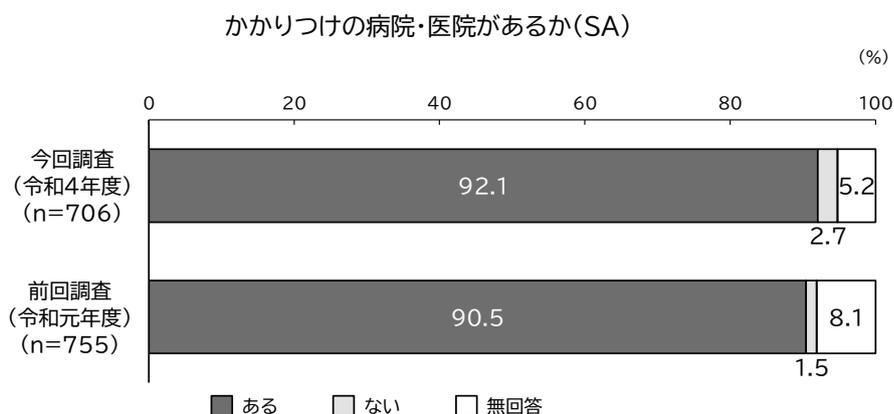


(4) かかりつけの病院・医院等について

① かかりつけの病院・医院等があるか

問5 あなたには、かかりつけの病院・医院（診療所・クリニック）・かかりつけの歯科医院・かかりつけ薬局がありますか。（それぞれいずれかに○）

- ・ 「かかりつけの病院・医院があるか」について、「ある」が92.1%、「ない」が2.7%となっています。「かかりつけの歯科医院があるか」について、「ある」が56.7%、「ない」が10.6%となっています。「かかりつけの薬局があるか」について、「ある」が64.9%、「ない」が5.2%となっています。前回調査と比較して、いずれも傾向に違いはありません。

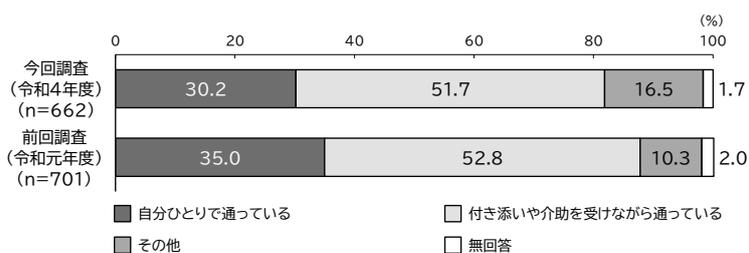


② かかりつけ病院・医院等へどのように通っているか

問 5-1 前問で「1. ある」(かかりつけの病院・医院等がある)と回答された方におたずねします。どのように通っていますか。(あてはまるもの1つに○)

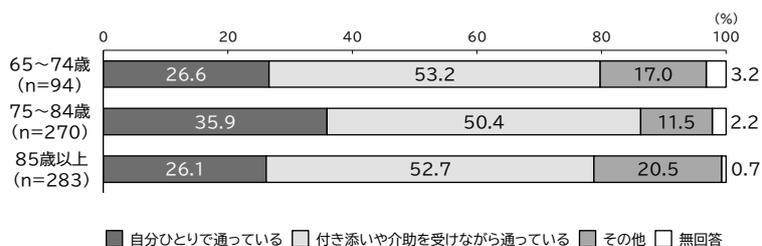
- ・ 「付き添いや介助を受けながら通っている」が51.7%、「自分ひとりで通っている」が30.2%、などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、「その他」が多くなっています。「その他」の記述をみると、自宅や施設への訪問医療を受けているという回答が大半となっています。
- ・ すべての年齢で「付き添いや介助を受けながら通っている」が最も多く、65～74歳で53.2%、75～84歳で50.4%、85歳以上で52.7%となっています。他の年齢と比較して、75～84歳は「自分ひとりで通っている」が多くなっています。
- ・ 要支援1、2では「自分ひとりで通っている」が最も多く54.9%となっています。要介護1、2、要介護3以上では「付き添いや介助を受けながら通っている」が最も多く、要支援1、2で65.7%、要介護3以上で60.9%となっています。要介護度が高くなるほど「付き添いや介助を受けながら通っている」「その他」が多く、「自分ひとりで通っている」が少なくなっています。

かかりつけ病院・医院等へどのように通っているか(SA)



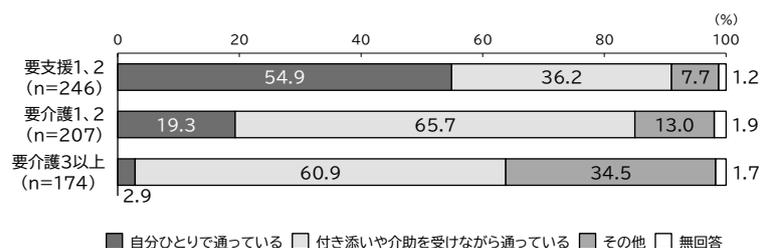
【年齢別】

かかりつけ病院・医院等へどのように通っているか(SA)



【要介護度別】

かかりつけ病院・医院等へどのように通っているか(SA)

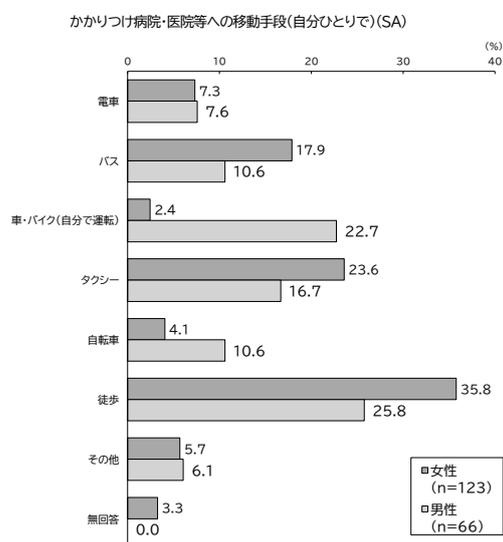
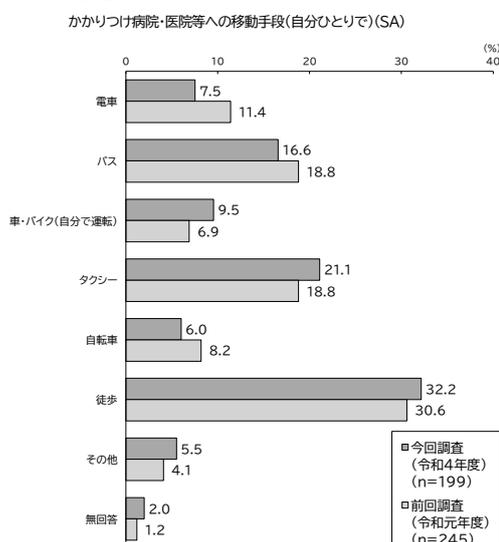


③ かかりつけ病院・医院等への移動手段（自分ひとりで）

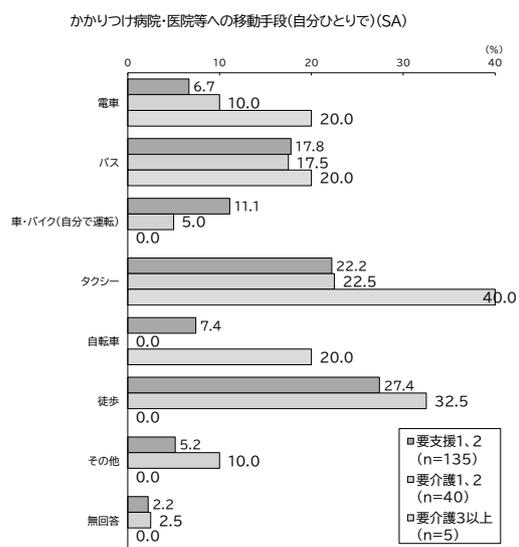
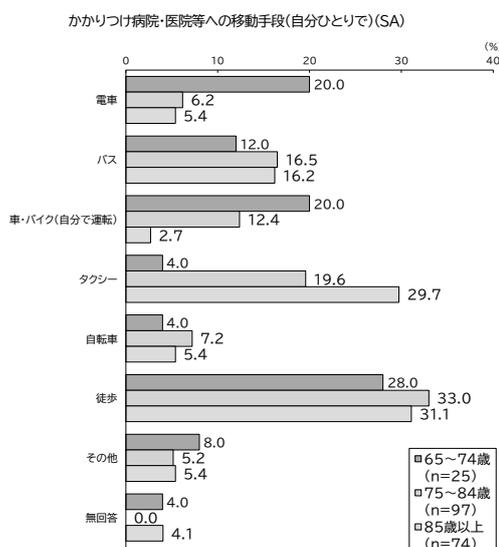
問5-2 問5-1で「1. 自分ひとりで通っている」と回答された方におたずねします。
どのような手段で通っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 「徒歩」が32.2%、次いで「タクシー」が21.1%、「バス」が16.6%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 女性、男性ともに「徒歩」が最も多く、女性は35.8%、男性は25.8%となっています。
- ・ すべての年齢で「徒歩」が最も多く、65～74歳で28.0%、75～84歳で33.0%、85歳以上で31.1%となっています。
- ・ 性別、年齢別による傾向に違いはありません。
- ・ 要支援1、2、要介護1、2では「徒歩」が最も多く、要支援1、2が27.4%、要介護1、2が32.5%となっています。要介護3以上では「タクシー」が最も多く40.0%となっています。要介護度による傾向に違いはありません。

【全体・性別】



【年齢別・要介護度別】

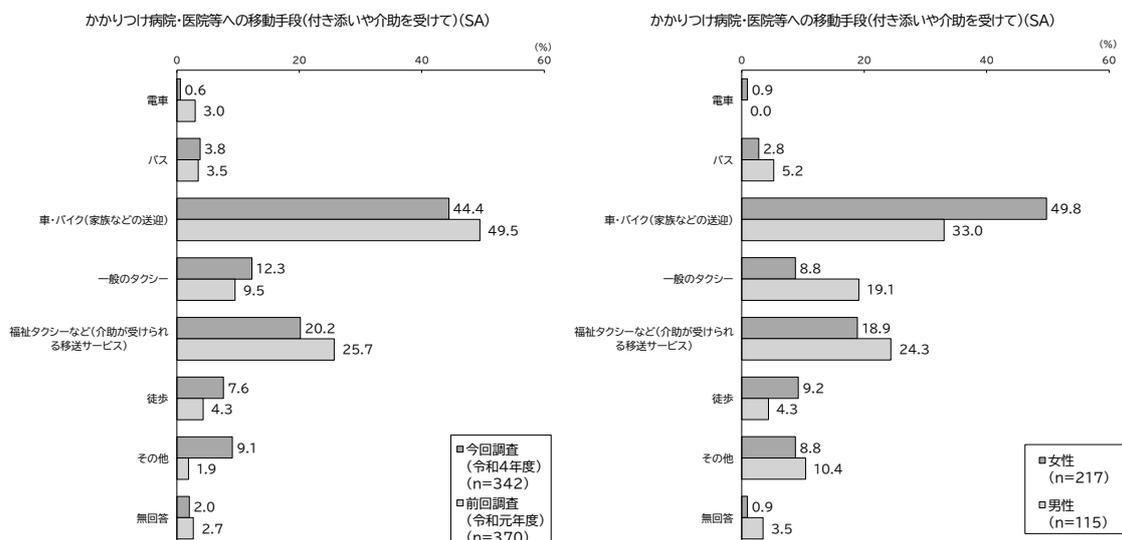


④ かかりつけ病院・医院等への移動手段（付き添いや介助を受けて）

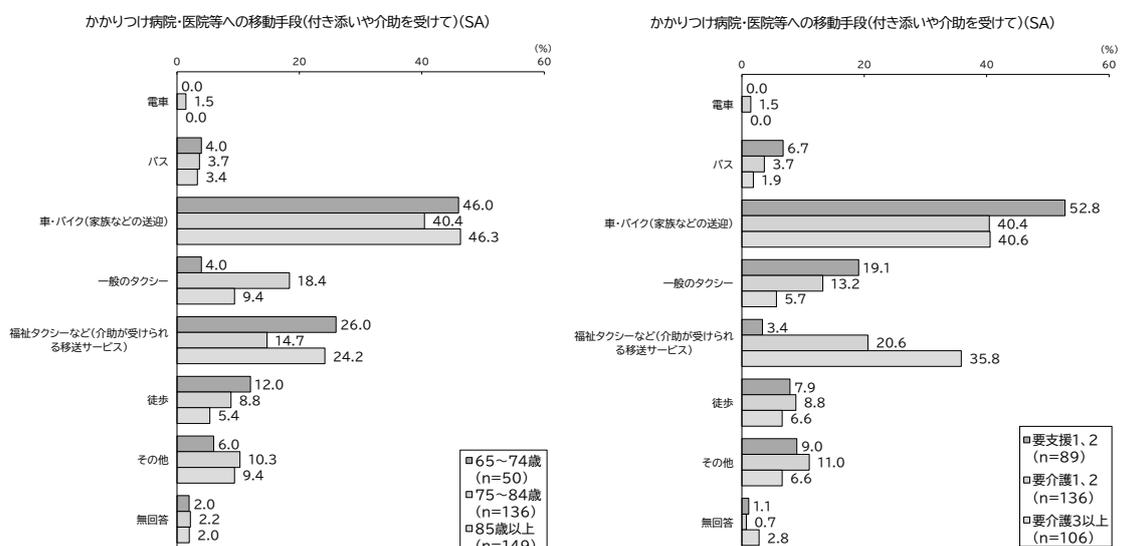
問5-3 問5-1で「2. 付き添いや介助を受けながら通っている」と回答された方におたずねします。どのような手段で通っていますか。（あてはまるもの1つに○）

- ・ 「車・バイク（家族などの送迎）」が最も多く44.4%、次いで「福祉タクシーなど（介助が受けられる移送サービス）」が20.2%、「一般のタクシー」が12.3%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、「その他」が多くなっています。「その他」の記述をみると、車いすや公共交通以外の送迎バスなどの回答が多くなっています。
- ・ すべての年齢で「車・バイク（家族などの送迎）」が最も多く、65～74歳で46.0%、75～84歳で40.4%、85歳以上で46.3%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ すべての要介護度で「車・バイク（家族などの送迎）」が最も多く、要支援1、2で52.8%、要介護1、2で40.4%、要介護3以上で40.6%となっています。要介護度が高くなるほど「福祉タクシーなど（介助が受けられる移送サービス）」が多くなり、「一般のタクシー」が少なくなっています。

【全体・性別】



【年齢別・要介護度別】



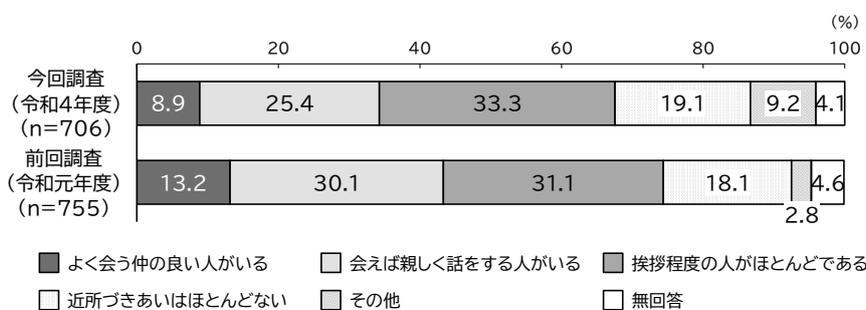
4. 地域とのかかわり等について

(1) 近所づきあいの程度

問6 近所づきあいをどの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

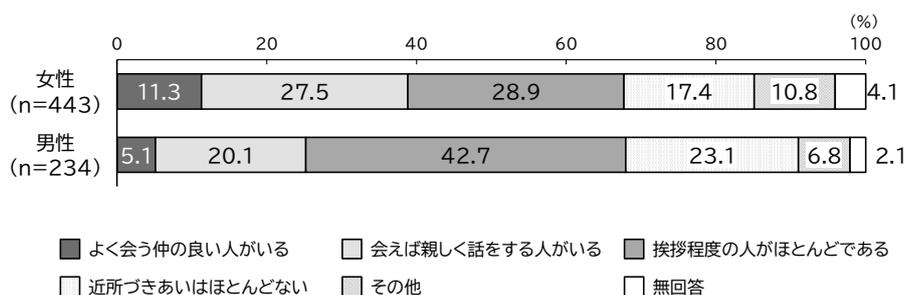
- ・ 「挨拶程度の人がほとんどである」が最も多く 33.3%、次いで「会えば親しく話をする人がいる」が 25.4%、「近所づきあいはほとんどない」が 19.1%などとなっています。「その他」の記述をみると、現在施設に入所中であるという回答が多くなっています。
- ・ 前回調査と比較して、「その他」が多く、「よく会う仲の良い人がいる」「会えば親しく話をする人がいる」が少なくなっています。
- ・ 女性、男性ともに「挨拶程度の人がほとんどである」が最も多く、女性は 28.9%、男性は 42.7%となっています。女性は男性と比較して、「よく会う仲の良い人がいる」「会えば親しく話をする人がいる」が多く、男性では「挨拶程度の人がほとんどである」が多くなっています。

近所づきあいの程度(SA)



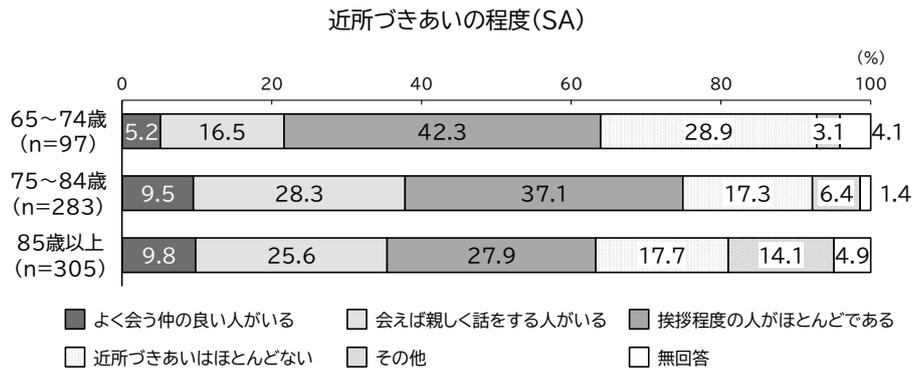
【性別】

近所づきあいの程度(SA)

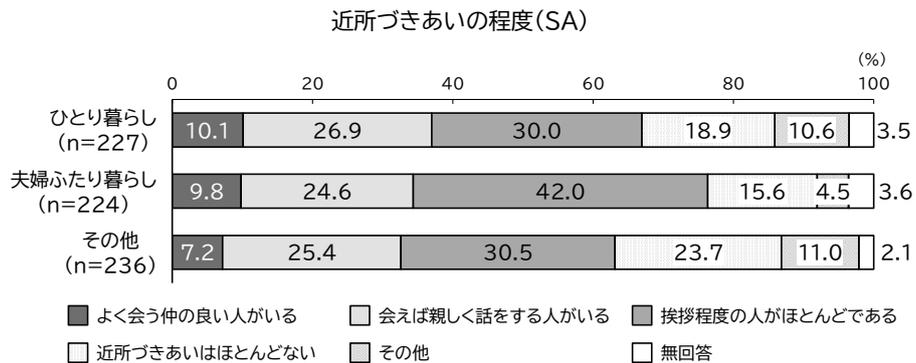


- ・すべての年齢で「挨拶程度の人ほとんどである」が最も多く、65～74歳で42.3%、75～84歳で37.1%、85歳以上で27.9%となっています。年齢が高くなるほど「挨拶程度の人ほとんどである」が少なくなっています。
- ・すべての家族構成で「挨拶程度の人ほとんどである」が最も多く、ひとり暮らしで30.0%、夫婦ふたり暮らしで42.0%、その他で30.5%となっています。夫婦ふたり暮らしは他の家族構成と比較して「挨拶程度の人ほとんどである」が多くなっています。

【年齢別】

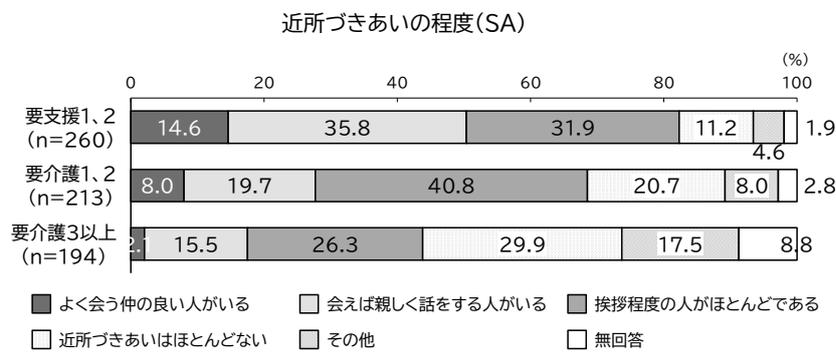


【家族構成別】

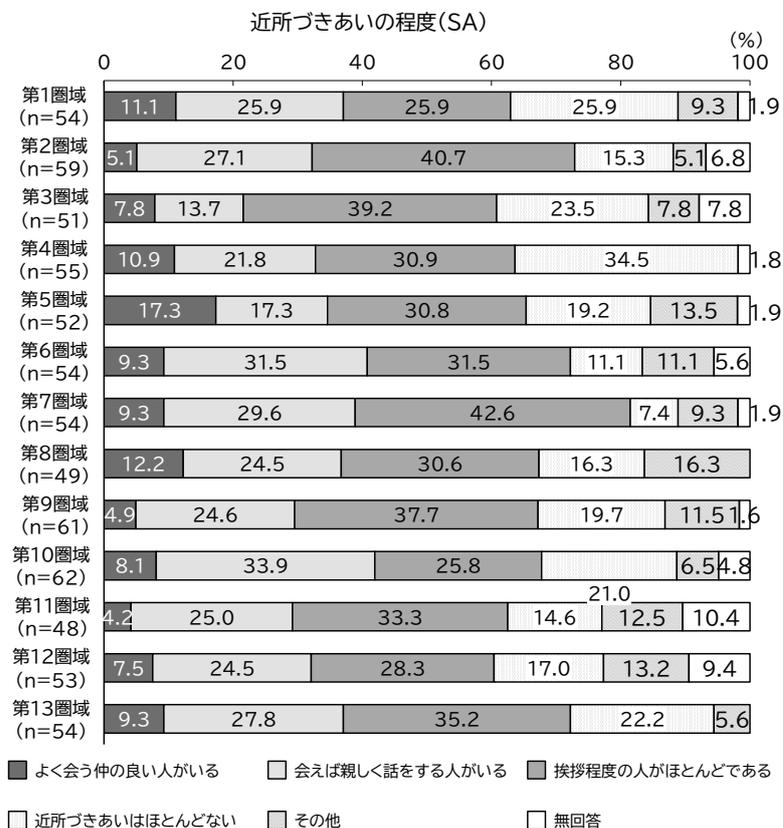


- ・ 要支援1、2では「会えば親しく話をする人がいる」が最も多く35.8%となっています。要介護1、2では「挨拶程度の人ほとんどである」が最も多く40.8%となっています。要介護3以上では「近所づきあいはほとんどない」が最も多く29.9%となっています。要介護度が高くなるほど、近所づきあいが少なくなっています。
- ・ 第1圏域では「会えば親しく話をする人がいる」「挨拶程度の人ほとんどである」「近所づきあいはほとんどない」が同数で最も多く25.9%となっています。第4圏域では「近所づきあいはほとんどない」が最も多く34.5%となっています。第6圏域では「会えば親しく話をする人がいる」「挨拶程度の人ほとんどである」が同数で最も多く31.5%となっています。第10圏域では「会えば親しく話をする人がいる」が最も多く33.9%となっています。圏域による傾向に違いはありません。

【要介護度別】



【圏域別】

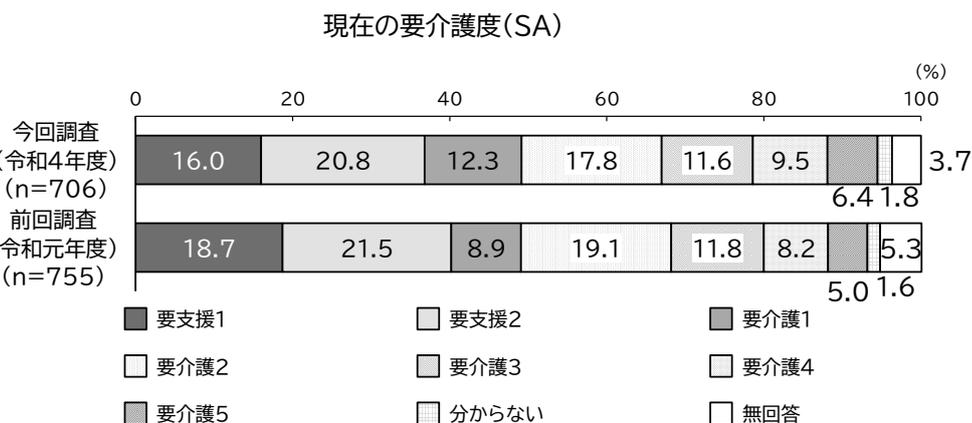


5. 介護サービスなどの利用について

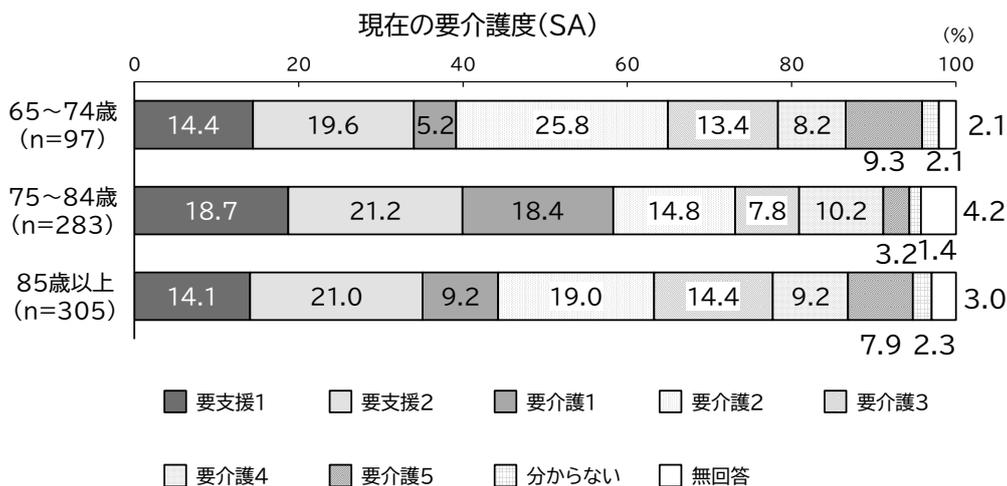
(1) 現在の要介護度

問7 現在のあなたの要介護度をご記入ください。(あてはまるもの1つに○)
 ※現在更新または変更申請中の方は、申請前の要介護度をお答えください。

- ・ 「要支援2」が最も多く20.8%、次いで「要介護2」が17.8%、「要支援1」が16.0%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 65～74歳は「要介護2」が最も多く25.8%となっています。75～84歳、85歳以上は「要支援2」が最も多く、75～84歳は21.2%、85歳以上は21.0%となっています。他の年齢と比較して、75～84歳は「要介護1」が多くなっています。

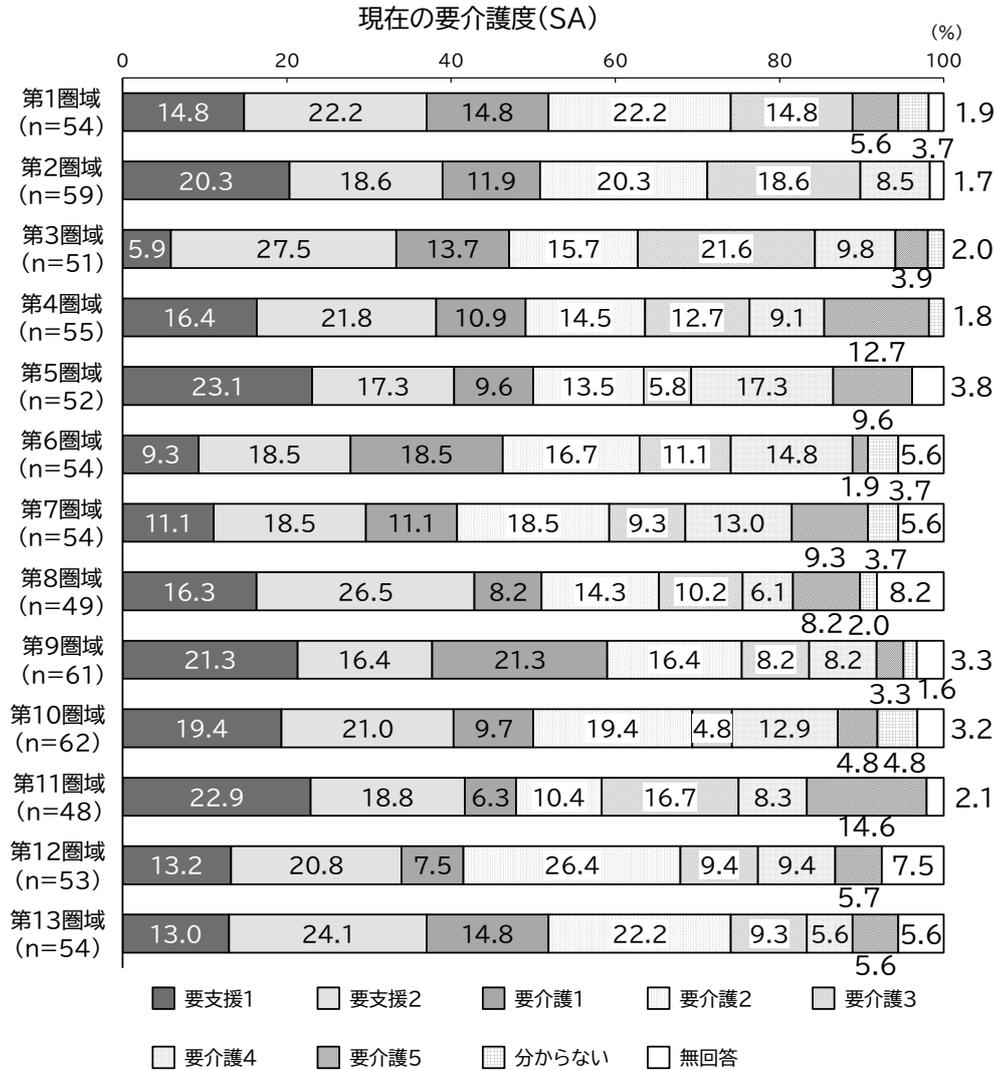


【年齢別】



【圏域別】

- 第1圏域、第2圏域、第7圏域、第12圏域では「要介護2」が最も多くなっています（ただし第2圏域は「要支援1」、第1圏域、第7圏域は「要支援2」が同数）。圏域による傾向に違いはありません。

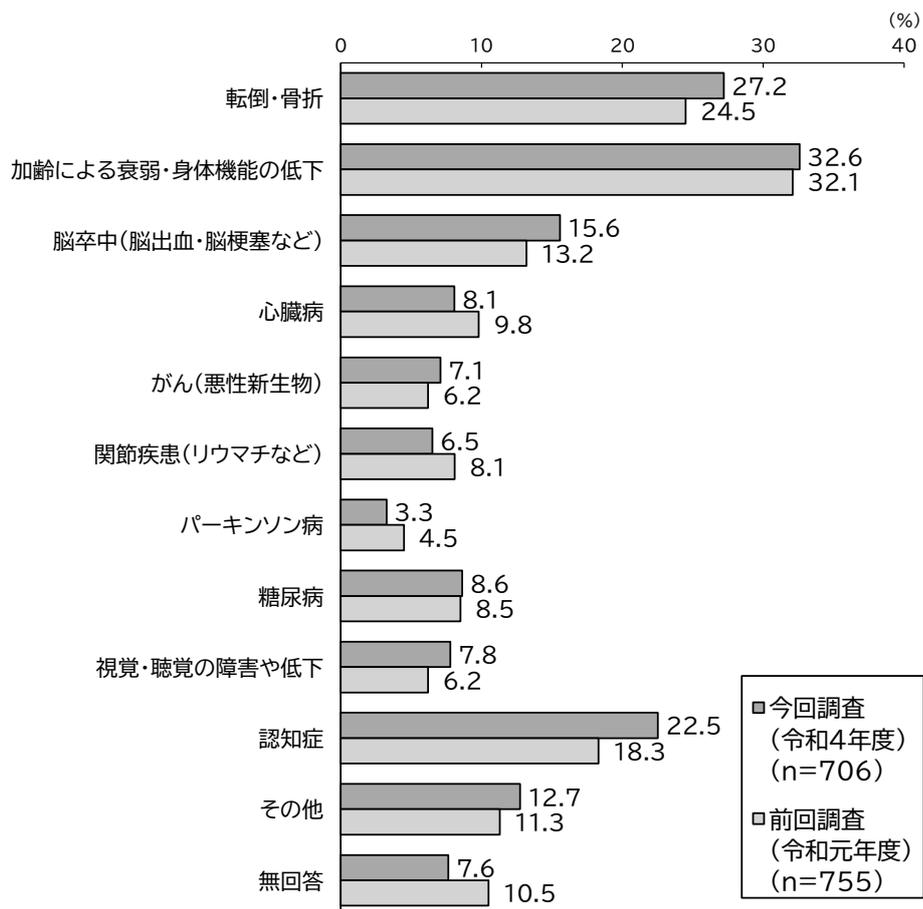


(2) 要介護認定が必要になった主な原因

問 8 要介護認定が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「加齢による衰弱・身体機能の低下」が最も多く 32.6%、次いで「転倒・骨折」が 27.7%、「認知症」が 22.5%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。

要介護認定が必要になった主な原因(MA)



- ・ 女性、男性ともに「加齢による衰弱・身体機能の低下」が最も多く、女性は 34.1%、男性は 29.5%となっています。女性は男性と比較して、「転倒・骨折」「認知症」が多く、男性では「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」「その他」が多くなっています。
- ・ 65～74 歳では「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」が最も多く、27.8%となっています。75～84 歳、85 歳以上は「加齢による衰弱・身体機能の低下」が最も多く、75～84 歳は 26.9%、85 歳以上は 43.6%となっています。年齢が高くなるほど「加齢による衰弱・身体機能の低下」が多く、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」が少なくなっています。
- ・ 要支援 1、2、要介護 3 以上では「加齢による衰弱・身体機能の低下」が最も多く、要支援 1、2 が 30.0%、要介護 3 以上が 40.7%となっています。要介護 1、2 では「認知症」が最も多く 32.4%となっています。要介護度が高くなるほど「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」「認知症」が多くなっています。

要介護認定が必要になった主な原因（MA）

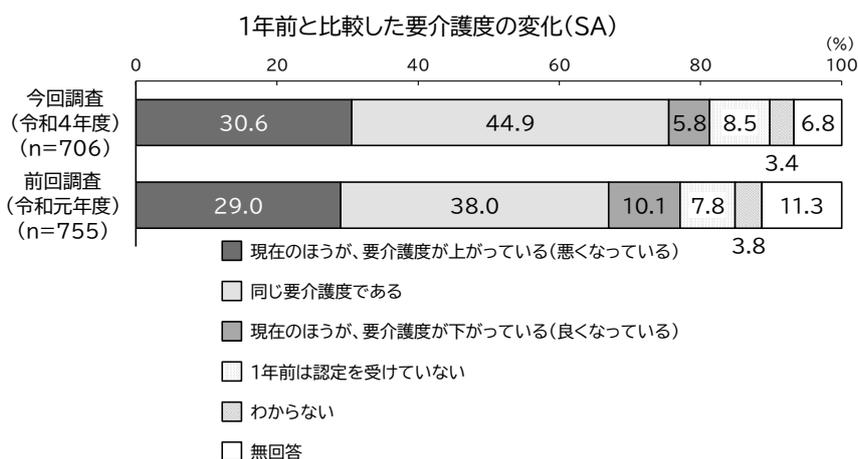
（上段：件、下段：％）

	n	転倒・骨折	加齢による衰弱・身体機能の低下	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	心臓病	がん（悪性新生物）	関節疾患（リウマチなど）	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚の障害や低下	認知症	その他	無回答
女性	443	144	151	57	36	30	29	14	35	32	111	48	37
	100.0	32.5	34.1	12.9	8.1	6.8	6.5	3.2	7.9	7.2	25.1	10.8	8.4
男性	234	41	69	48	20	19	14	9	25	21	44	39	14
	100.0	17.5	29.5	20.5	8.5	8.1	6.0	3.8	10.7	9.0	18.8	16.7	6.0
65～74歳	97	17	14	27	6	7	3	4	7	5	23	21	5
	100.0	17.5	14.4	27.8	6.2	7.2	3.1	4.1	7.2	5.2	23.7	21.6	5.2
75～84歳	283	71	76	53	22	29	19	8	32	21	63	34	23
	100.0	25.1	26.9	18.7	7.8	10.2	6.7	2.8	11.3	7.4	22.3	12.0	8.1
85歳以上	305	97	133	28	29	13	21	9	20	28	69	33	25
	100.0	31.8	43.6	9.2	9.5	4.3	6.9	3.0	6.6	9.2	22.6	10.8	8.2
要支援1、2	260	54	78	28	20	23	19	4	18	19	18	42	33
	100.0	20.8	30.0	10.8	7.7	8.8	7.3	1.5	6.9	7.3	6.9	16.2	12.7
要介護1、2	213	63	67	40	19	19	13	9	15	18	69	27	1
	100.0	29.6	31.5	18.8	8.9	8.9	6.1	4.2	7.0	8.5	32.4	12.7	0.5
要介護3以上	194	66	79	42	16	7	13	10	25	17	71	17	2
	100.0	34.0	40.7	21.6	8.2	3.6	6.7	5.2	12.9	8.8	36.6	8.8	1.0

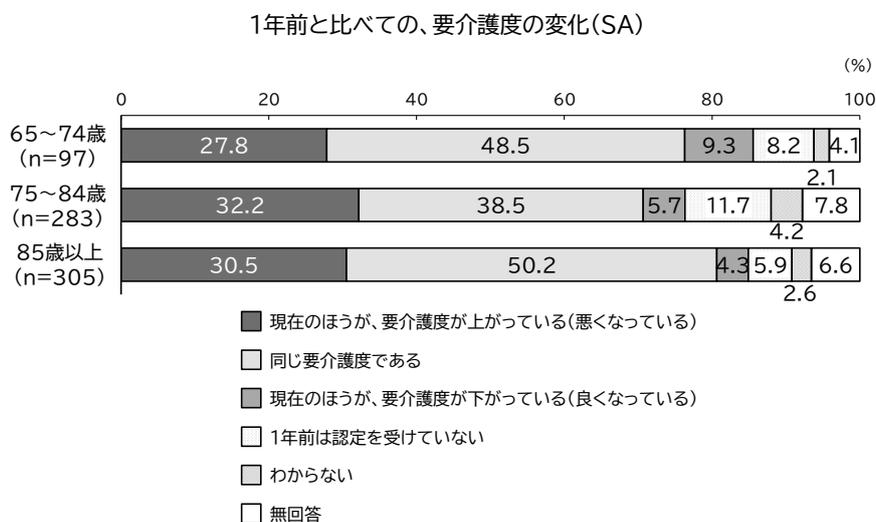
(3) 1年前と比較した要介護度の変化

問9 あなたの要介護度は、1年前と比較してどのように変化していますか。
(あてはまるもの1つに○)

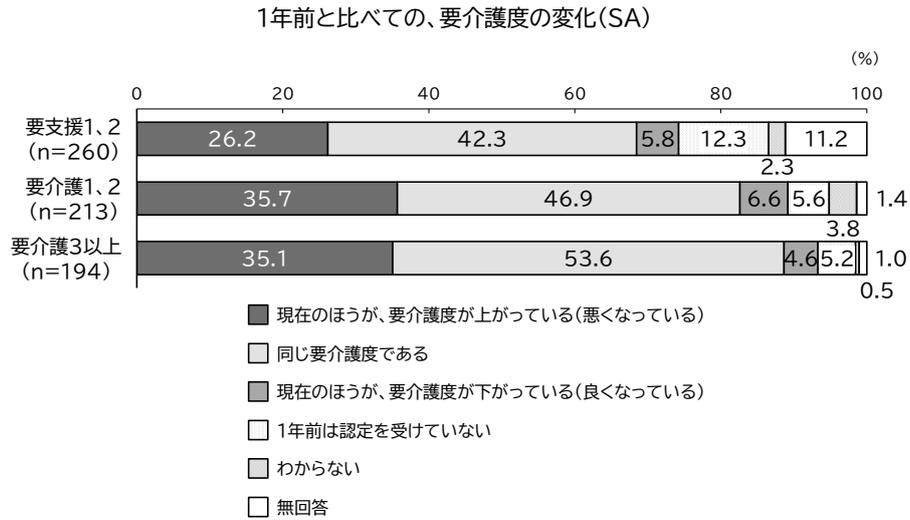
- ・ 「同じ要介護度である」が最も多く 44.9%、次いで「現在のほうが、要介護度が上がっている(悪くなっている)」が 30.6%、「1年前は認定を受けていない」が 8.5%などとなっています。前回調査と比較して、「現在のほうが、要介護度が下がっている(良くなっている)」が少なくなっています。
- ・ すべての年齢で「同じ要介護度である」が最も多く、65～74歳で 48.5%、75～84歳で 38.5%、85歳以上で 50.2%となっています。他の年齢と比較して、75～84歳は「1年前は認定を受けていない」が多く、「同じ要介護度である」が少なくなっています。
- ・ すべての要介護度で「同じ要介護度である」が最も多く、要支援1、2で 42.3%、要介護1、2で 46.9%、要介護3以上で 53.6%となっています。要介護度が高くなるほど「1年前は認定を受けていない」が少なくなっています。



【年齢別】



【要介護度別】

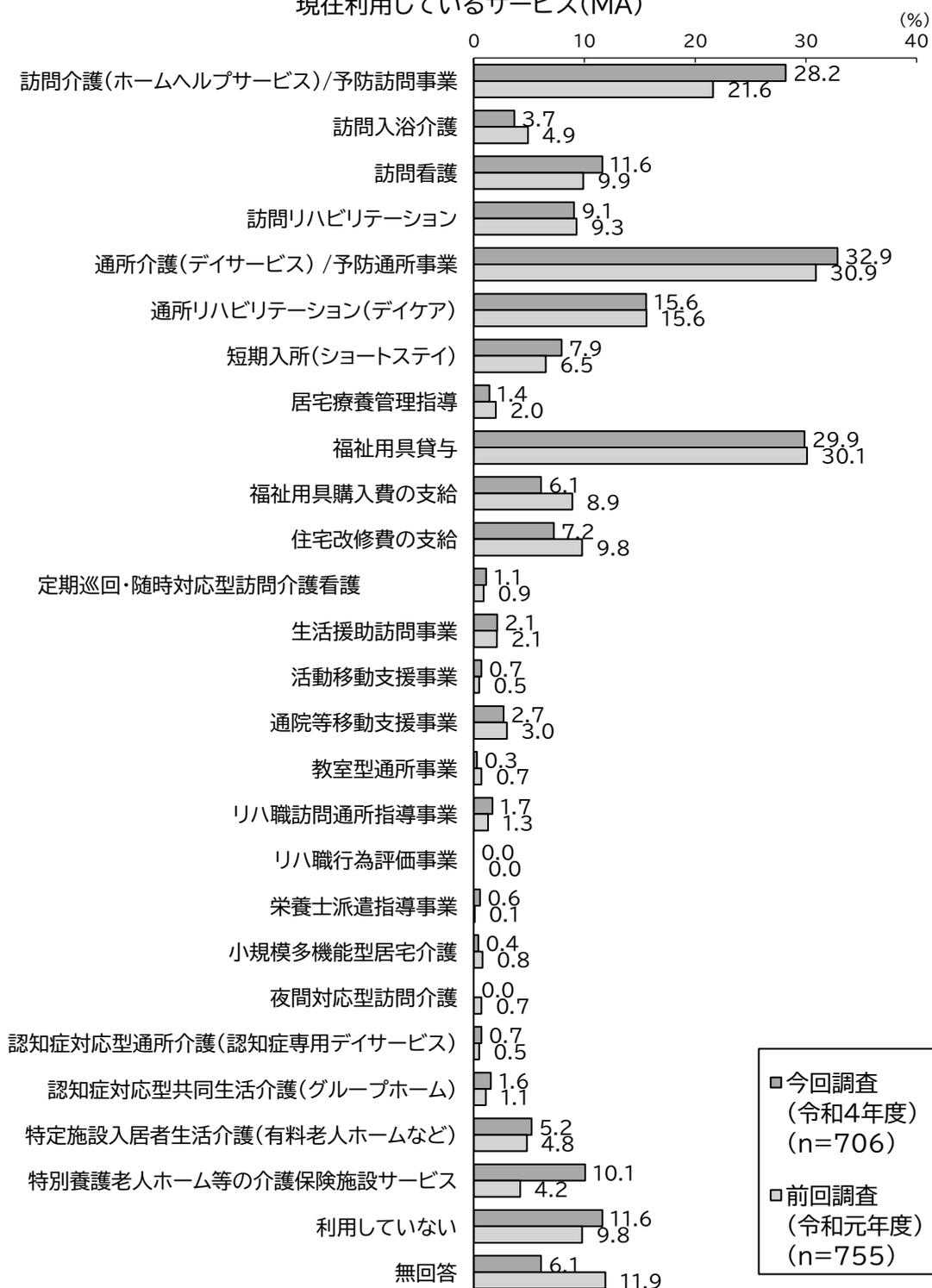


(4) 現在利用しているサービス

問 10 あなたは、現在どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)
 ※1～20までの主な在宅介護サービスの説明は、問 22-1 をご参照ください。

- ・ 「通所介護（デイサービス）/予防通所事業」が最も多く 32.9%、次いで「福祉用具貸与」が 29.9%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）/予防訪問事業」が 28.2%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、「訪問介護（ホームヘルプサービス）/予防訪問事業」が多く、「福祉用具購入費の支給」「住宅改修費の支給」が少なくなっています。
- ・ 女性は「通所介護（デイサービス）/予防通所事業」が最も多く 35.4%、男性は「福祉用具貸与」が最も多く 32.1%となっています。女性と比較して、男性では「通所リハビリテーション（デイケア）」が多くなっています。
- ・ すべての年齢で「通所介護（デイサービス）/予防通所事業」が最も多く、65～74 歳で 34.0%、75～84 歳で 33.2%、85 歳以上で 32.1%となっています。他の年齢と比較して、65～74 歳は「訪問看護」が多くなっています。
- ・ ひとり暮らしでは「訪問介護（ホームヘルプサービス）/予防訪問事業」が最も多く 37.0%となっています。夫婦ふたり暮らしでは「通所介護（デイサービス）/予防通所事業」「福祉用具貸与」が同数で最も多く 32.1%となっています。その他では「通所介護（デイサービス）/予防通所事業」が最も多く 37.7%となっています。夫婦ふたり暮らしでは、他の家族構成と比較して「訪問看護」が多くなっています。
- ・ 要支援 1、2、要介護 1、2 では「通所介護（デイサービス）/予防通所事業」が最も多く、要支援 1、2 が 25.8%、要介護 1、2 が 46.0%となっています。要介護 3 以上では「福祉用具貸与」が最も多く 39.7%となっています。要介護度が高くなるほど「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「福祉用具貸与」が多く、「住宅改修費の支給」が少なくなっています。

現在利用しているサービス(MA)



現在利用しているサービス (MA)

(上段：件、下段：%)

	n	問 事 業	訪 問 介 護 （ ホ ー ム ヘル ス） / 予 防 訪 問	訪 問 入 浴 介 護	訪 問 看 護	訪 問 リ ハ ビ リ テ ィ ン グ	通 所 介 護 （ 予 防 通 所 事 業） / 予 防 通 所 事 業	通 所 リ ハ ビ リ テ ィ ン グ （ デイ ケア）	短 期 入 所 （ シ ョ ー ト ス）	居 宅 療 養 管 理 指 導	福 祉 用 具 貸 与	福 祉 用 具 購 入 費 の 支 給	住 宅 改 修 費 の 支 給	訪 問 巡 回 ・ 随 時 対 応 型 看 護	生 活 援 助 訪 問 事 業	活 動 移 動 支 援 事 業
女性	443 100.0	126 28.4	15 3.4	49 11.1	40 9.0	157 35.4	57 12.9	43 9.7	6 1.4	128 28.9	26 5.9	26 5.9	2 0.5	10 2.3	2 0.5	
男性	234 100.0	64 27.4	10 4.3	31 13.2	23 9.8	68 29.1	46 19.7	13 5.6	3 1.3	75 32.1	16 6.8	22 9.4	5 2.1	3 1.3	3 1.3	
65～74歳	97 100.0	30 30.9	3 3.1	19 19.6	15 15.5	33 34.0	18 18.6	11 11.3	2 2.1	32 33.0	7 7.2	6 6.2	1 1.0	2 2.1	1 1.0	
75～84歳	283 100.0	80 28.3	12 4.2	30 10.6	23 8.1	94 33.2	41 14.5	18 6.4	5 1.8	82 29.0	17 6.0	23 8.1	1 0.4	5 1.8	3 1.1	
85歳以上	305 100.0	81 26.6	11 3.6	30 9.8	26 8.5	98 32.1	47 15.4	25 8.2	3 1.0	91 29.8	18 5.9	21 6.9	6 2.0	8 2.6	1 0.3	
ひとり暮らし	227 100.0	84 37.0	10 4.4	20 8.8	11 4.8	68 30.0	27 11.9	9 4.0	2 0.9	67 29.5	12 5.3	12 5.3	2 0.9	9 4.0	4 1.8	
夫婦ふたり暮らし	224 100.0	69 30.8	13 5.8	35 15.6	28 12.5	72 32.1	43 19.2	19 8.5	4 1.8	72 32.1	17 7.6	24 10.7	3 1.3	4 1.8	0 0.0	
その他	236 100.0	40 16.9	3 1.3	25 10.6	25 10.6	89 37.7	38 16.1	27 11.4	4 1.7	68 28.8	14 5.9	15 6.4	3 1.3	2 0.8	1 0.4	
要支援1、2	260 100.0	66 25.4	2 0.8	10 3.8	7 2.7	67 25.8	41 15.8	6 2.3	2 0.8	61 23.5	15 5.8	26 10.0	2 0.8	8 3.1	1 0.4	
要介護1、2	213 100.0	74 34.7	9 4.2	36 16.9	24 11.3	98 46.0	39 18.3	26 12.2	4 1.9	72 33.8	12 5.6	17 8.0	3 1.4	3 1.4	4 1.9	
要介護3以上	194 100.0	54 27.8	14 7.2	35 18.0	32 16.5	59 30.4	29 14.9	22 11.3	4 2.1	77 39.7	15 7.7	7 3.6	2 1.0	4 2.1	0 0.0	

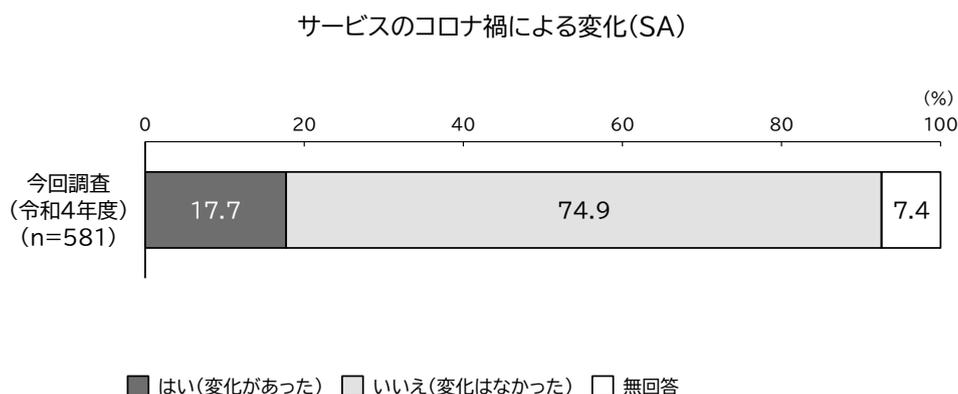
	n	活 動 移 動 支 援 事 業	通 院 等 移 動 支 援 事 業	教 室 型 通 所 事 業	業 リ ハ 職 訪 問 通 所 指 導 事 業	リ ハ 職 行 為 評 価 事 業	栄 養 士 派 遣 指 導 事 業	護 小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	夜 間 対 応 型 訪 問 介 護	ビ ス （ 認 知 症 特 別 対 応 型 介 護）	認 知 症 特 別 対 応 型 通 所 介 護	ム 介 護 （ グ ル ー プ ホ ー ム 介 護）	認 知 症 特 別 対 応 型 通 所 介 護	特 定 施 設 入 居 者 生 活 介 護 （ 有 料 ホ ー ム 生 活 介 護）	ス の 特 別 介 護 保 険 施 設 サ ー ビ ス	利 用 し て い な い	無 回 答
女性	443 100.0	2 0.5	11 2.5	0 0.0	7 1.6	0 0.0	3 0.7	3 0.7	0 0.0	3 0.7	8 1.8	24 5.4	48 10.8	49 11.1	26 5.9		
男性	234 100.0	3 1.3	8 3.4	2 0.9	4 1.7	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	2 0.9	3 1.3	11 4.7	21 9.0	30 12.8	15 6.4		
65～74歳	97 100.0	1 1.0	5 5.2	0 0.0	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.1	0 0.0	4 4.1	10 10.3	10 10.3	6 6.2		
75～84歳	283 100.0	3 1.1	5 1.8	0 0.0	6 2.1	0 0.0	2 0.7	2 0.7	0 0.0	3 1.1	4 1.4	11 3.9	18 6.4	42 14.8	18 6.4		
85歳以上	305 100.0	1 0.3	9 3.0	2 0.7	3 1.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	7 2.3	21 6.9	41 13.4	28 9.2	18 5.9		
ひとり暮らし	227 100.0	4 1.8	6 2.6	1 0.4	5 2.2	0 0.0	2 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.9	16 7.0	28 12.3	28 12.3	12 5.3		
夫婦ふたり暮らし	224 100.0	0 0.0	10 4.5	1 0.4	5 2.2	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	3 1.3	3 1.3	6 2.7	8 3.6	27 12.1	17 7.6		
その他	236 100.0	1 0.4	3 1.3	0 0.0	2 0.8	0 0.0	1 0.4	3 1.3	0 0.0	2 0.8	5 2.1	14 5.9	29 12.3	25 10.6	12 5.1		
要支援1、2	260 100.0	1 0.4	5 1.9	1 0.4	4 1.5	0 0.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	1 0.4	1 0.4	4 1.5	3 1.2	46 17.7	21 8.1		
要介護1、2	213 100.0	4 1.9	7 3.3	1 0.5	3 1.4	0 0.0	2 0.9	1 0.5	0 0.0	1 0.5	3 1.4	14 6.6	8 3.8	14 6.6	9 4.2		
要介護3以上	194 100.0	0 0.0	7 3.6	0 0.0	5 2.6	0 0.0	1 0.5	2 1.0	0 0.0	3 1.5	7 3.6	17 8.8	58 29.9	8 4.1	4 2.1		

(5) コロナ禍による変化について

① サービスのコロナ禍による変化

問 11 現在利用中のサービスやこれまで利用したサービスについて、コロナ禍による変化はありましたか。(いずれかに○)

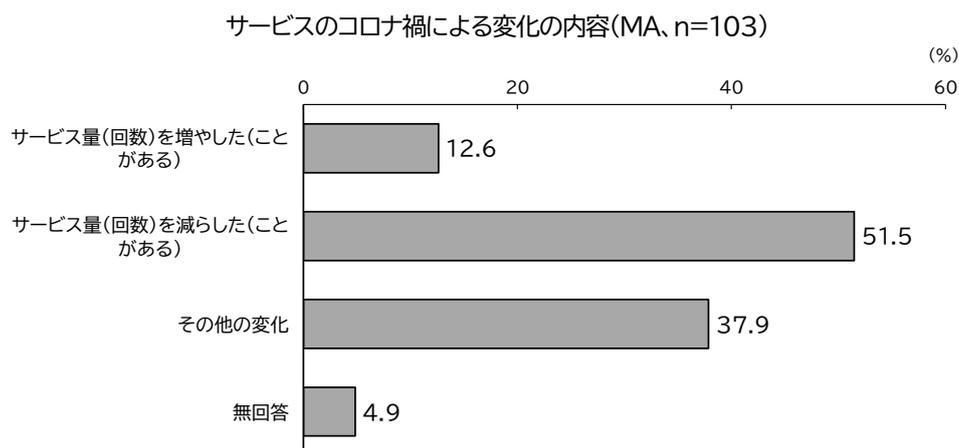
- ・ 「はい(変化があった)」が17.7%、「いいえ(変化は無かった)」が74.9%となっています。



② サービスのコロナ禍による変化の内容

問 11-1 前問で「1. はい(変化があった)」と回答された方におたずねします。どのような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「サービス量(回数)を増やした(ことがある)」が12.6%、「サービス量(回数)を減らした(ことがある)」が51.5%などとなっています。
- ・ 「その他の変化」について、主な内容は「面会の制限」などとなっています。



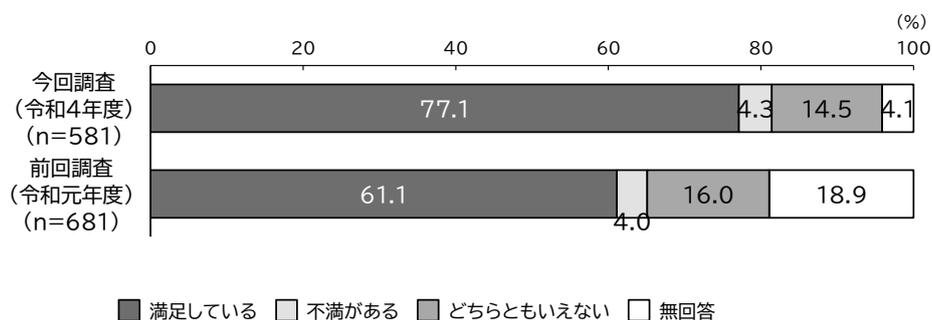
(6) ケアマネジャーの対応について

① ケアマネジャーの対応に対する満足状況

問12 ケアマネジャーの対応に対する満足状況はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

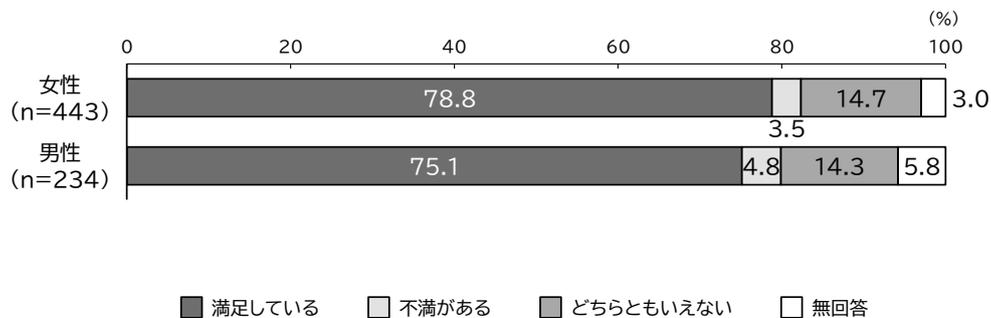
- ・ 「満足している」が77.1%、「不満がある」が4.3%、「どちらともいえない」が14.5%となっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 女性、男性ともに「満足している」が最も多く、女性は78.8%、男性は75.1%となっています。

ケアマネジャーの対応に対する満足状況(SA)



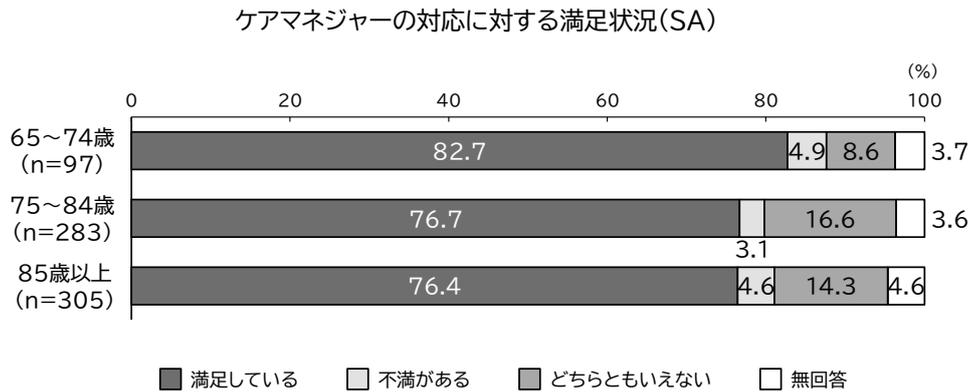
【性別】

ケアマネジャーの対応に対する満足状況(SA)

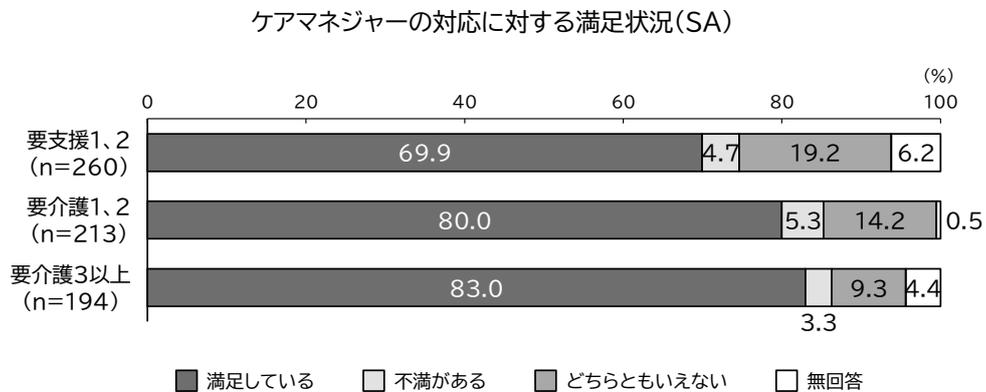


- ・すべての年齢で「満足している」が最も多く、65～74歳で82.7%、75～84歳で76.7%、85歳以上で76.4%となっています。
- ・すべての要介護度で「満足している」が最も多く、要支援1、2で69.9%、要介護1、2で80.0%、要介護3以上で83.0%となっています。
- ・性別、年齢別、要介護度による傾向に違いはありません。

【年齢別】



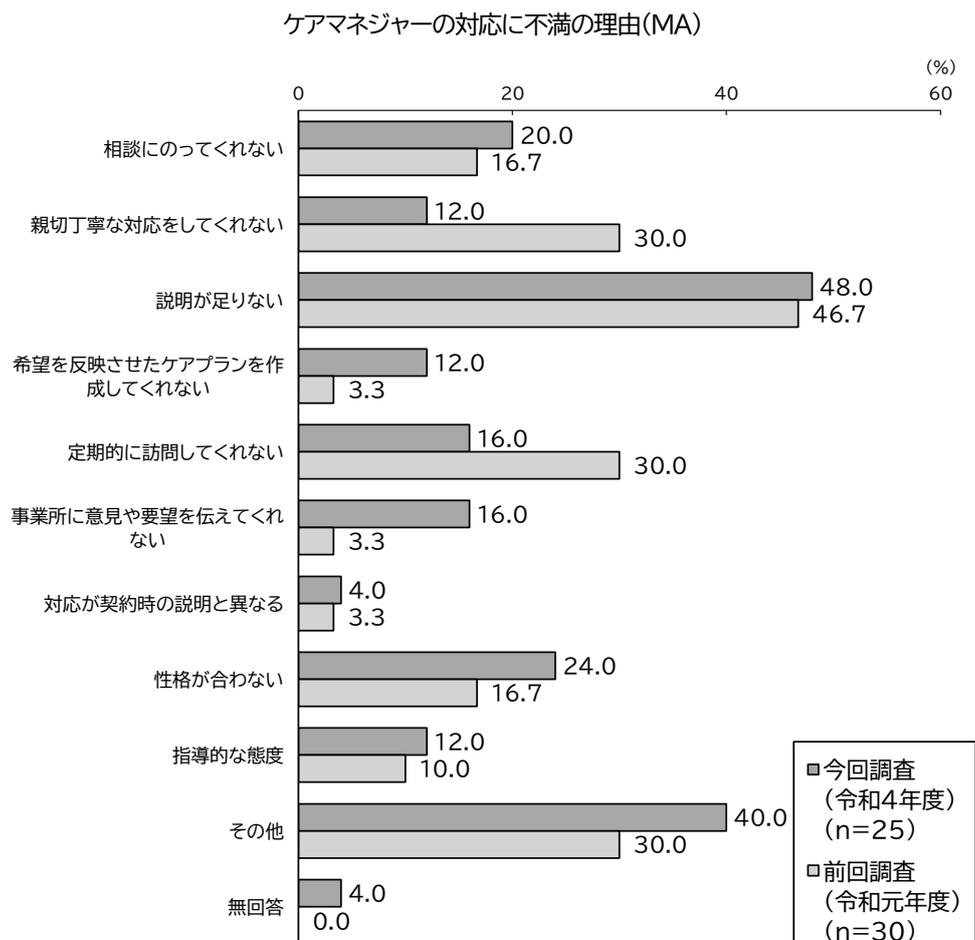
【要介護度別】



② ケアマネジャーの対応に不満の理由

問 12-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。
 不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「説明が足りない」が最も多く 48.0%、次いで「性格が合わない」が 24.0%、「相談にのってくれない」が 20.0%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。



(7) 訪問介護／予防訪問事業について

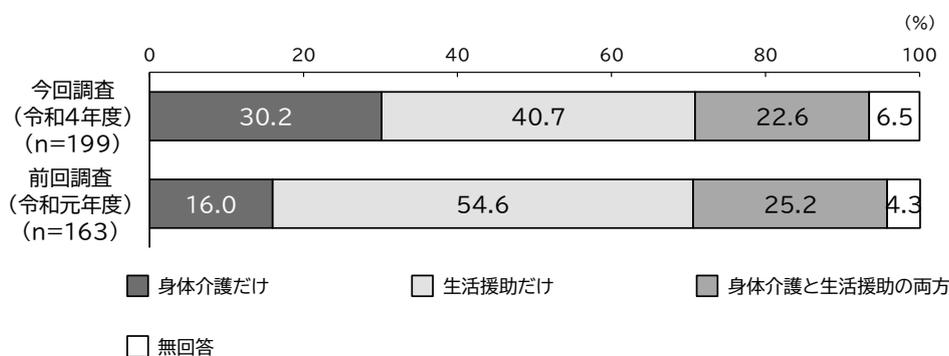
① 利用しているサービスの種類

訪問介護(ホームヘルプサービス)/予防訪問事業を利用したことのある方におたずねします。
 ※問 10 で「1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス) / 予防訪問事業」を選択した方のみ

問 13 利用しているサービスの種類はどれですか。(いずれかに○)

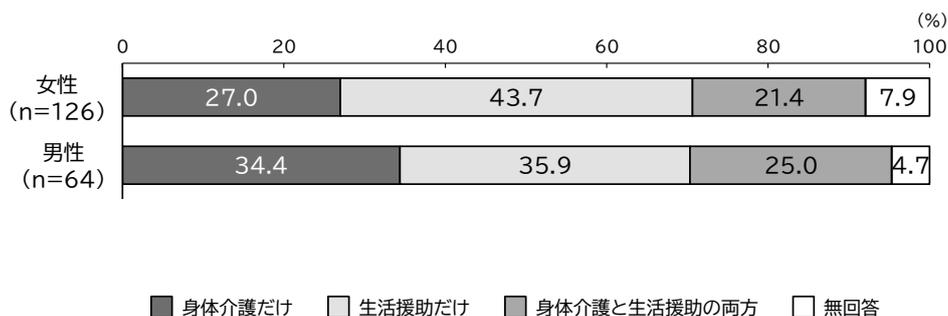
- ・ 「生活援助だけ」が最も多く 40.7%、次いで「身体介護だけ」が 30.2%、「身体介護と生活援助の両方」が 22.6%となっています。
- ・ 前回調査と比較して、「身体介護だけ」が多く、「生活援助だけ」が少なくなっています。
- ・ 女性、男性ともに「生活援助だけ」が最も多く、女性は 43.7%、男性は 35.9%となっています。
- ・ すべての年齢で「生活援助だけ」が最も多く、65～74 歳で 46.7%、75～84 歳で 37.5%、85 歳以上で 43.2%となっています。
- ・ 性別、年齢別による傾向に違いはありません。
- ・ ひとり暮らしでは「生活援助だけ」が最も多く 63.1%となっています。夫婦ふたり暮らし、その他では「身体介護だけ」が最も多く、夫婦ふたり暮らしで 40.6%、その他で 50.0%となっています。ひとり暮らしは他の家族構成と比較して、「生活援助だけ」が多く、「身体介護だけ」が少なくなっています。

利用しているサービスの種類(訪問介護／予防訪問事業)(SA)

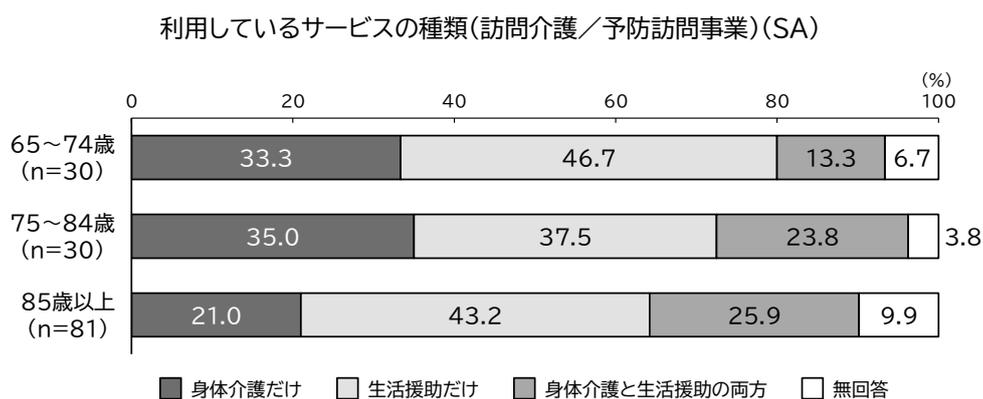


【性別】

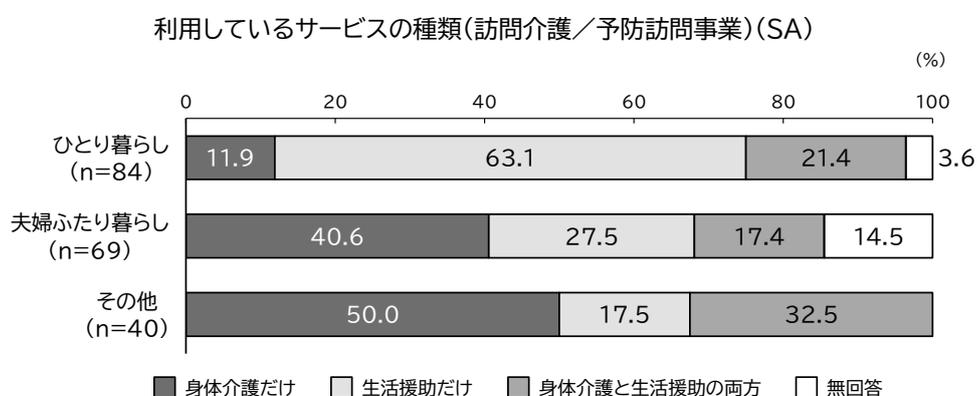
利用しているサービスの種類(訪問介護／予防訪問事業)(SA)



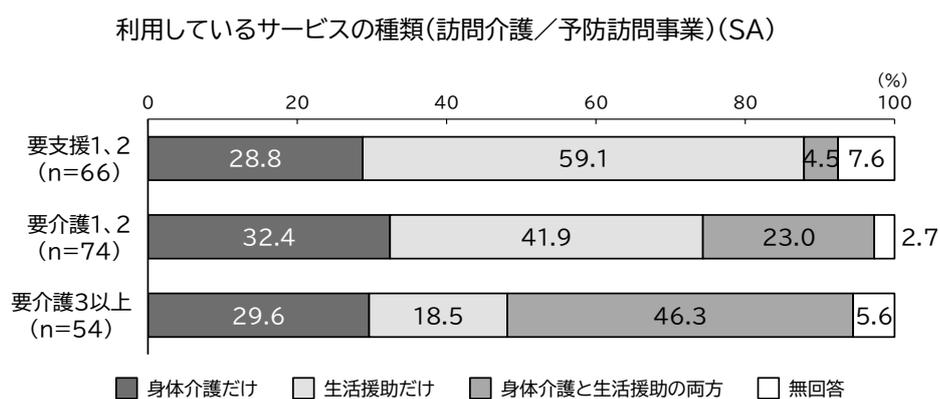
【年齢別】



【家族構成別】



【要介護度別】

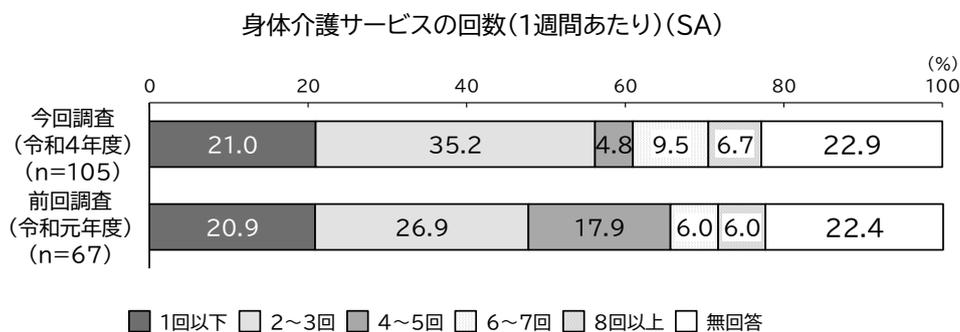
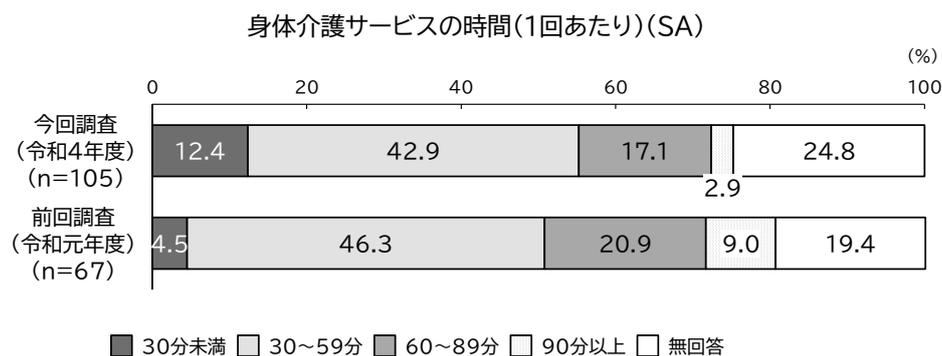


② サービスの利用時間

問 14 サービスをどれくらいの時間利用していますか。

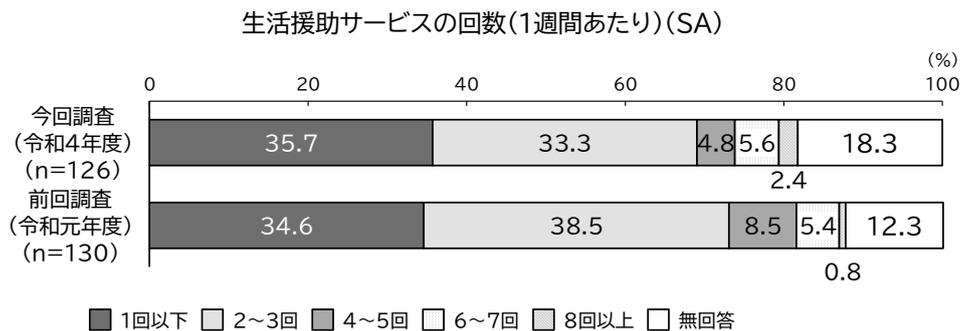
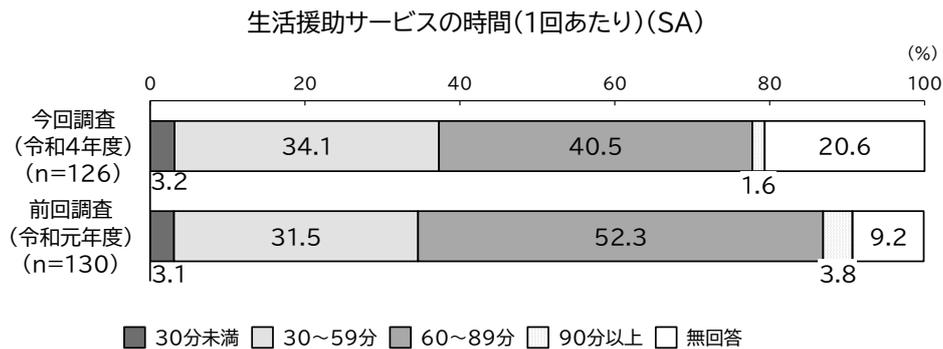
【身体介護サービス】

- ・ 1 回あたりの時間について、「30～59 分」が最も多く 42.9%、次いで「60～89 分」が 17.1%、「30 分未満」が 12.4%などとなっています。
- ・ 1 週間あたりの回数について、「2～3 回」が最も多く 35.2%、次いで「1 回」が 21.0%、「6～7 回」が 9.5%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、時間、回数とも傾向に違いはありません。



【生活援助サービス】

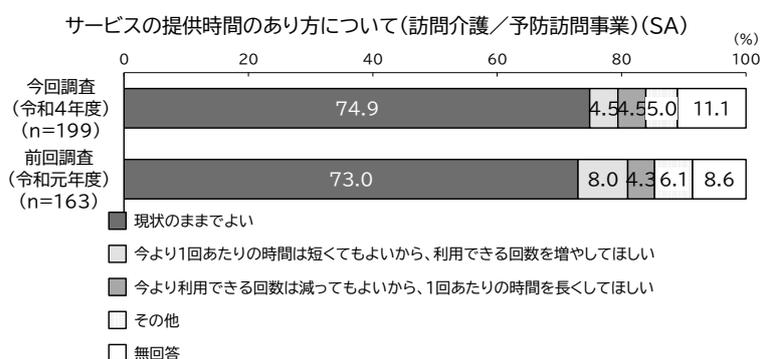
- ・ 1回あたりの時間について、「60～89分」が最も多く40.5%、次いで「30～59分」が34.1%、「30分未満」が3.2%などとなっています。
- ・ 1週間あたりの回数について、「1回」が最も多く35.7%、次いで「2～3回」が33.3%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、時間、回数とも傾向に違いはありません。



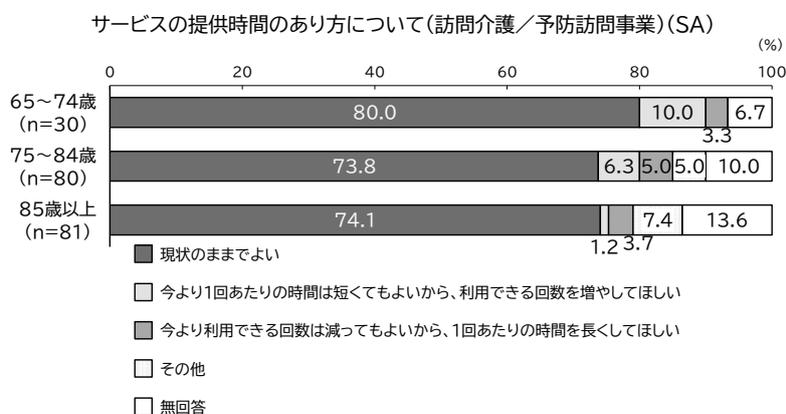
③ サービスの提供時間のあり方について

問 15 サービスの提供時間のあり方について、あなたのお考えに近いものを選んでください。
(いずれかに○)

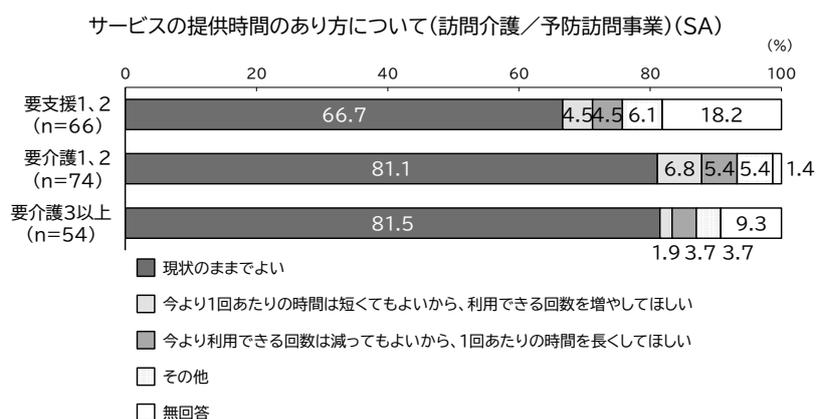
- ・ 「現状のままでよい」が最も多く 74.9%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「現状のままでよい」が最も多く、65～74歳で80.0%、75～84歳で73.8%、85歳以上で74.1%となっています。
- ・ すべての要介護度で「現状のままでよい」が最も多く、要支援1、2で66.7%、要介護1、2で81.1%、要介護3以上で81.5%となっています。
- ・ 年齢別、要介護度別による傾向に違いはありません。



【年齢別】



【要介護度別】

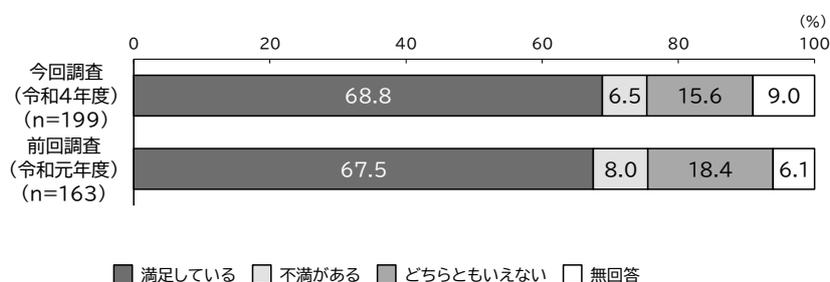


④ サービスの満足状況

問 16 サービスの満足状況はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

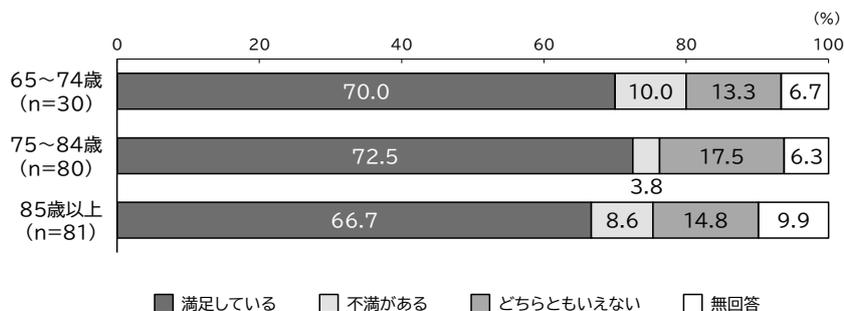
- ・ 「満足している」が68.8%、「不満がある」が6.5%、「どちらともいえない」が15.6%となっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「満足している」が最も多く、65～74歳で70.0%、75～84歳で72.5%、85歳以上で66.7%となっています。
- ・ すべての要介護度で「満足している」が最も多く、要支援1、2で66.7%、要介護1、2で71.6%、要介護3以上で70.4%となっています。
- ・ 年齢別、要介護度別による傾向に違いはありません。

サービスの満足状況(訪問介護/予防訪問事業)(SA)



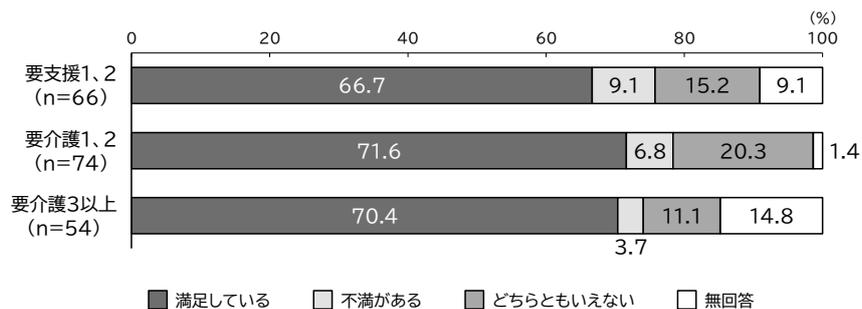
【年齢別】

サービスの満足状況(訪問介護/予防訪問事業)(SA)



【要介護度別】

サービスの満足状況(訪問介護/予防訪問事業)(SA)

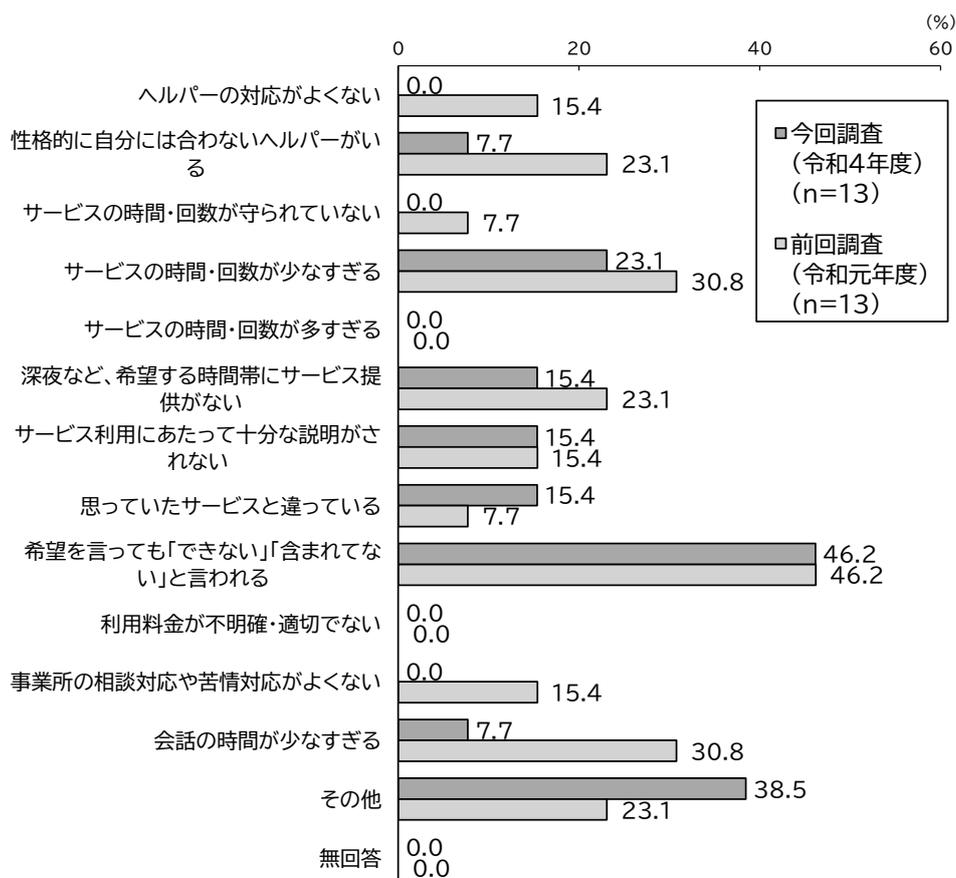


⑤ サービスに不満の理由

問 16-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。
不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「希望を言っても「できない」「含まれてない」と言われる」が最も多く 46.2%、次いで「サービスの時間・回数が少なすぎる」が 23.1%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、傾向に違いはありません。

サービスに不満の理由(訪問介護/予防訪問事業)(MA)



(8) 通所介護／予防通所事業・通所リハビリテーションについて

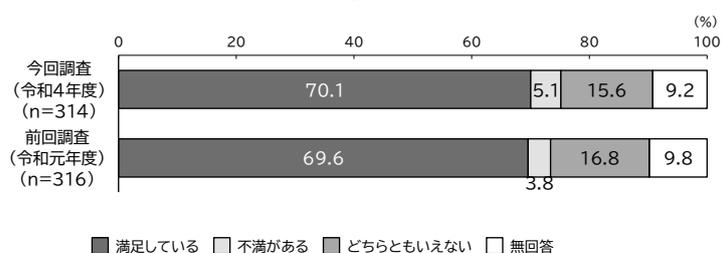
① サービスの満足状況

通所介護（デイサービス）／予防通所事業・通所リハビリテーション（デイケア）を利用したことのある方におたずねします。
 ※問10で「5. 通所介護（デイサービス）／予防通所事業」または「6. 通所リハビリテーション（デイケア）」を選択した方のみ

問17 サービスの満足状況はいかがですか。（あてはまるもの1つに○）

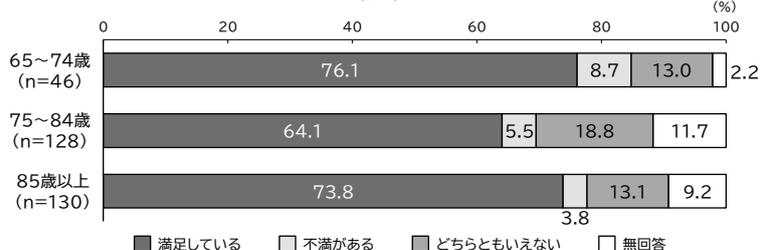
- ・ 「満足している」が70.1%、「不満がある」が5.1%、「どちらともいえない」が15.6%となっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「満足している」が最も多く、65～74歳で76.1%、75～84歳で64.1%、85歳以上で73.8%となっています。
- ・ すべての要介護度で「満足している」が最も多く、要支援1、2で71.8%、要介護1、2で70.2%、要介護3以上で69.1%となっています。
- ・ 年齢別、要介護度別による傾向に違いはありません。

サービスの満足状況(通所介護／予防通所事業・通所リハビリテーション)
(SA)



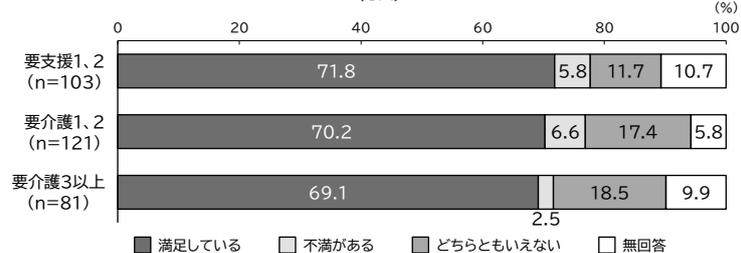
【年齢別】

サービスの満足状況(通所介護／予防通所事業・通所リハビリテーション)
(SA)



【要介護度別】

サービスの満足状況(通所介護／予防通所事業・通所リハビリテーション)
(SA)

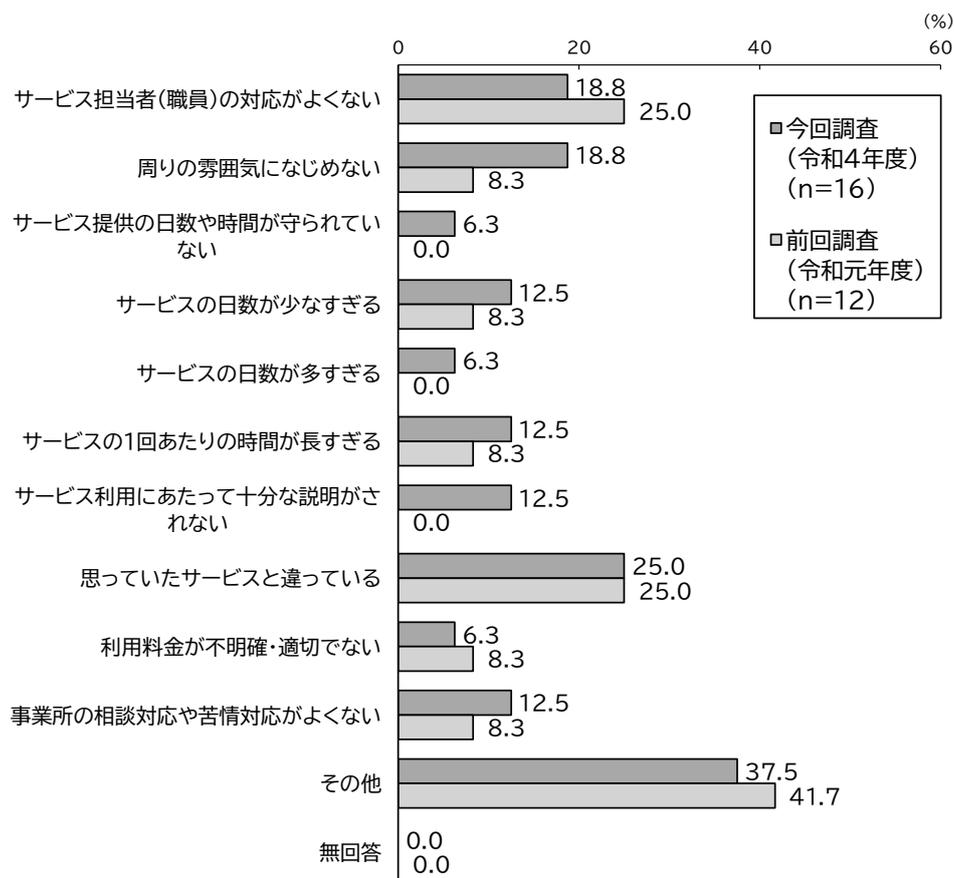


② サービスに不満の理由

問 17-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。不満の理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「思っていたサービスと違う」が25.0%、「サービス担当者（職員）の対応がよくない」「周りの雰囲気になじめない」がそれぞれ18.8%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。

サービスに不満の理由(訪問介護/予防訪問事業)(MA)



(9) 短期入所について

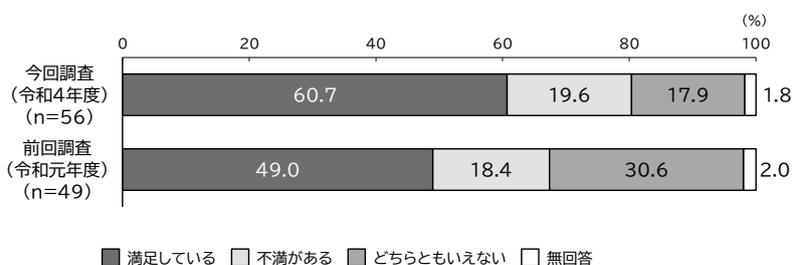
① サービスの満足状況

短期入所（ショートステイ）を利用したことがある方におたずねします。
 ※問 10 で「7. 短期入所（ショートステイ）」を選択した方のみ

問 18 サービスの満足状況はいかがですか。（あてはまるもの1つに○）

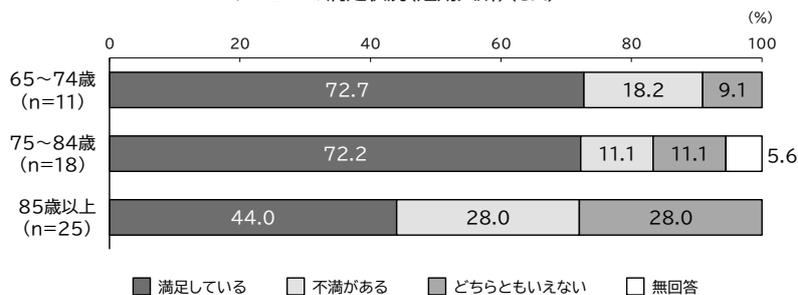
- ・ 「満足している」が60.7%、「不満がある」が19.6%、「どちらともいえない」が17.9%となっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「満足している」が最も多く、65～74歳で72.7%、75～84歳で72.2%、85歳以上で44.0%となっています。
- ・ すべての要介護度で「満足している」が最も多く、要支援1、2で66.7%、要介護1、2で53.8%、要介護3以上で72.7%となっています。
- ・ 年齢別、要介護度別による傾向に違いはありません。

サービスの満足状況(短期入所)(SA)



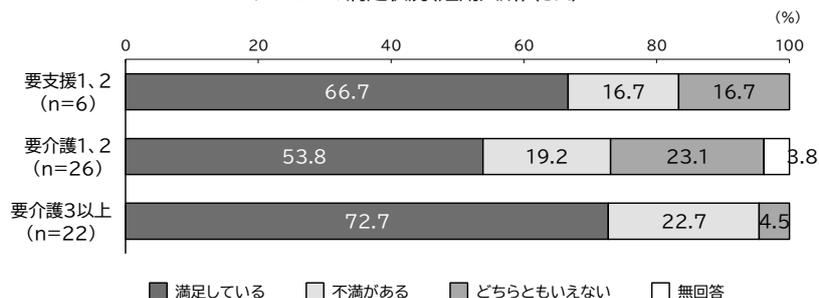
【年齢別】

サービスの満足状況(短期入所)(SA)



【要介護度別】

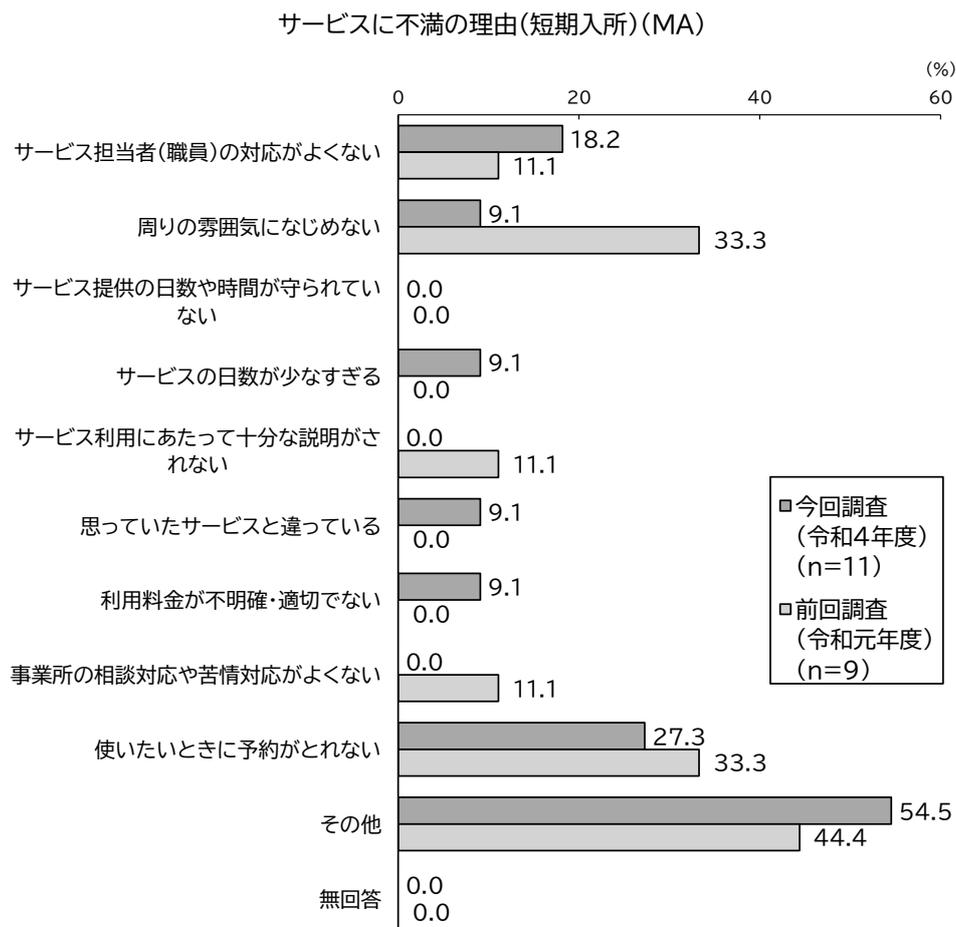
サービスの満足状況(短期入所)(SA)



② サービスに不満の理由

問 18-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。
不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

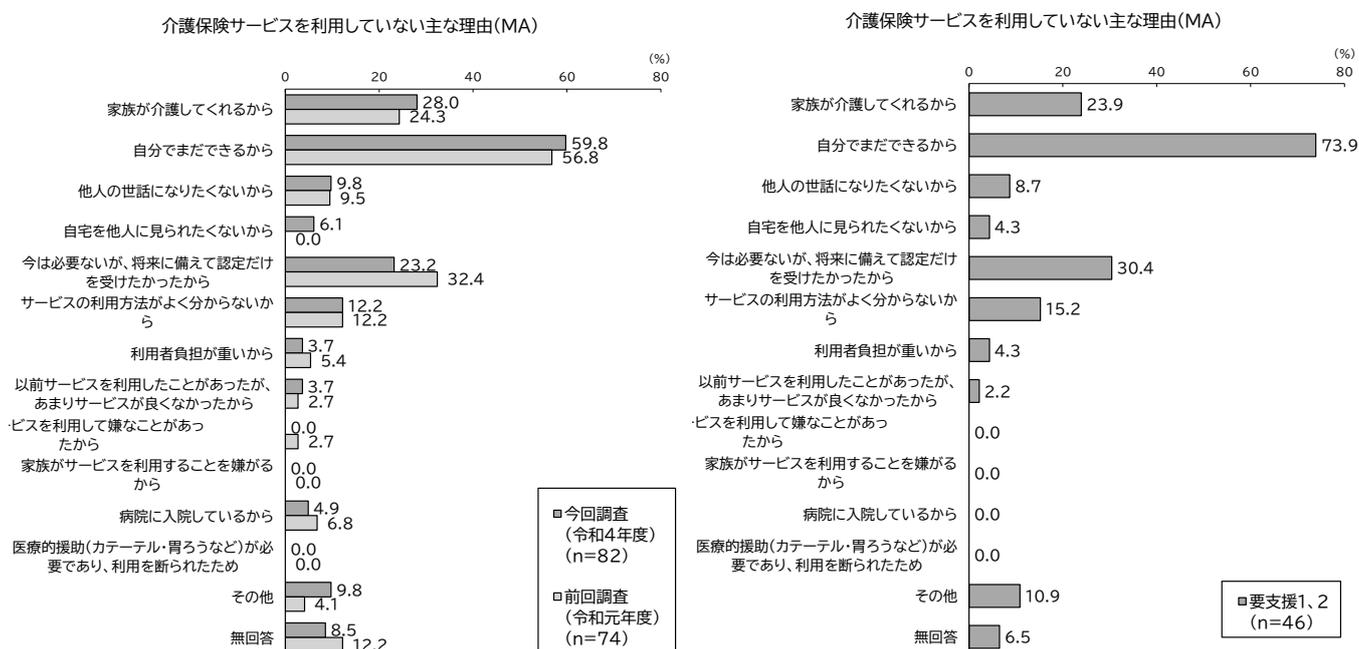
- ・ 「使いたいときに予約がとれない」が最も多く 27.3%、次いで「サービス担当者（職員）の対応がよくない」が 18.2%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。



(10) 介護保険サービスを利用していない主な理由

問 19 問 10 で、「26. 利用していない」と回答された方におたずねします。
 介護保険サービスを利用していない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「自分でまだできるから」が最も多く 59.8%、次いで「家族が介護してくれるから」が 28.0%、「今は必要ないが、将来に備えて認定だけを受けたかったから」が 23.2%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 介護保険サービスを「利用していない」が多い要支援 1、2 では、「自分でまだできるから」が最も多く 73.9%、次いで「今は必要ないが、将来に備えて認定だけを受けたかったから」が 30.4%、「家族が介護してくれるから」が 23.9%などとなっています。

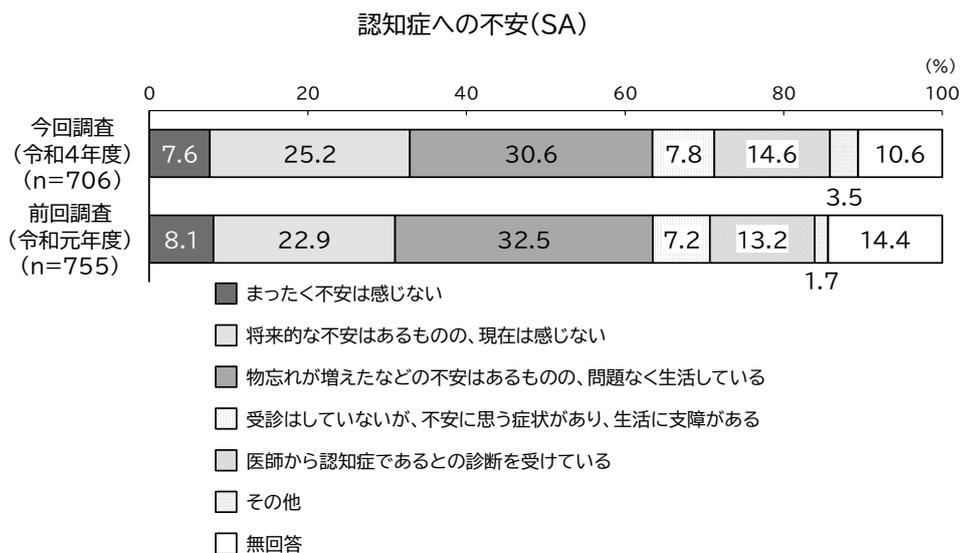


6. 認知症について

(1) 認知症への不安

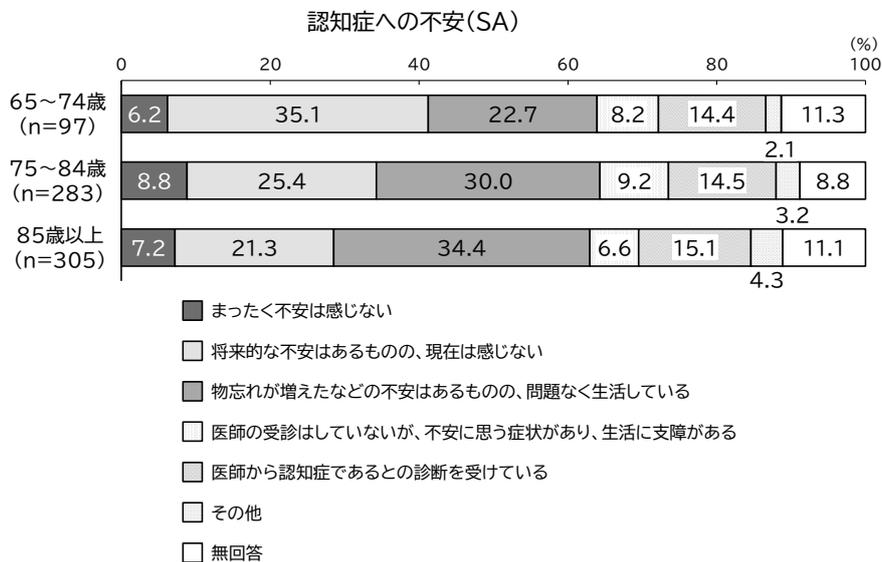
問 20 普段の生活で、認知症に関して不安を感じたことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

- ・ 「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」が最も多く 30.6%、次いで「将来的な不安はあるものの、現在は感じない」が 25.2%、「医師から認知症であるとの診断を受けている」が 14.6%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。

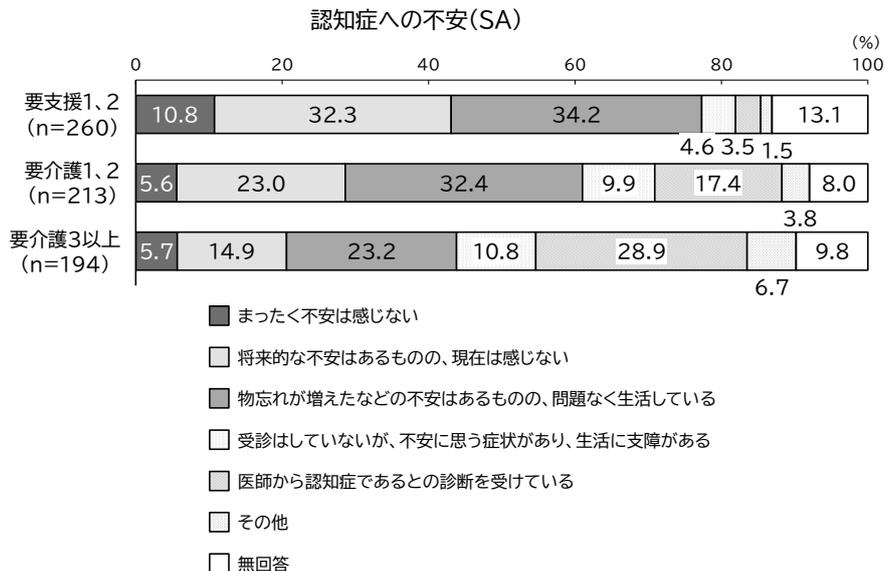


- ・ 65～74 歳では「将来的な不安はあるものの、現在は感じない」が最も多く 35.1%となっています。75～84 歳、85 歳以上では「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」が最も多く、75～84 歳は 30.0%、85 歳以上で 34.4%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ 要支援 1、2、要介護 1、2 では「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」が最も多く、要支援 1、2 が 34.2%、要介護 1、2 が 32.4%となっています。要介護 3 以上では「医師から認知症であるとの診断を受けている」が最も多く 28.9%となっています。要介護度が高くなるほど「医師から認知症であるとの診断を受けている」が多く、「将来的な不安はあるものの、現在は感じない」「物忘れが増えたなどの不安はあるものの、問題なく生活している」が少なくなっています。

【年齢別】



【要介護度別】

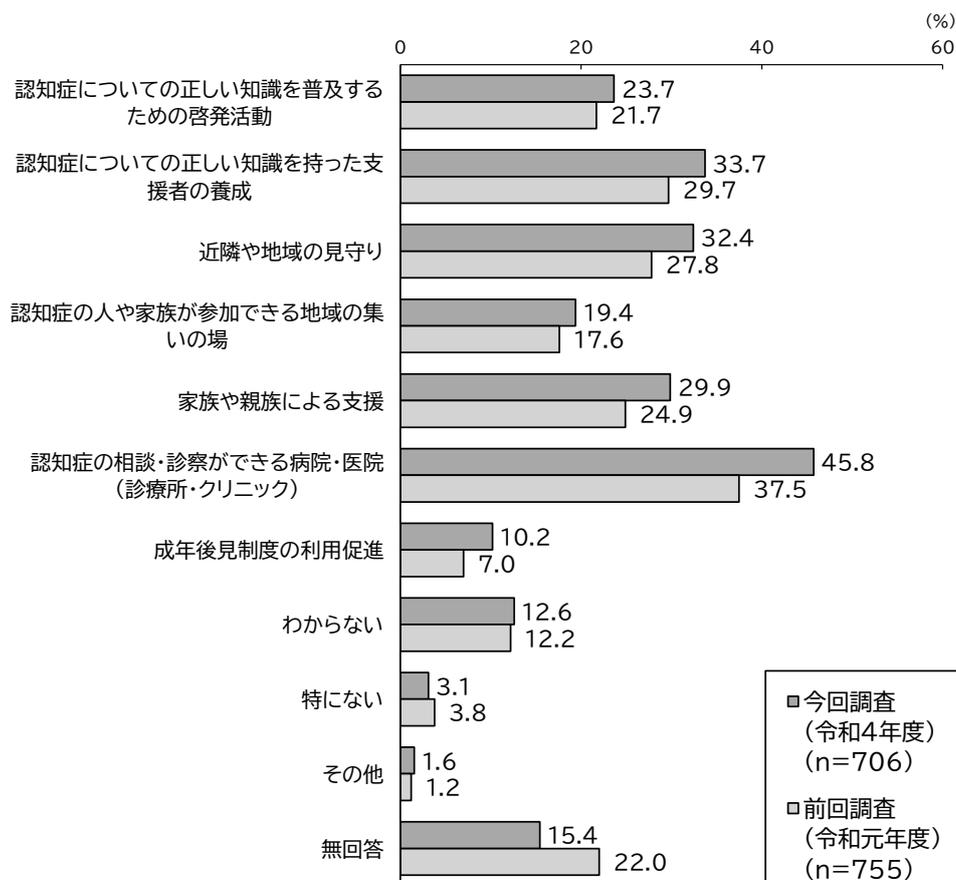


(2) 認知症の人が地域で暮らすために必要だと思うこと

問 21 認知症の人が地域で暮らすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）」が最も多く45.8%、次いで「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」が33.7%、「近隣や地域の見守り」が32.4%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、「認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）」が多くなっています。

認知症の人が地域で暮らすために必要だと思うこと(MA)



- ・すべての年齢で「認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）」が最も多く、65～74歳で48.5%、75～84歳で45.9%、85歳以上で46.6%となっています。年齢が高くなるほど、「認知症についての正しい知識を持った支援者の養成」「近隣や地域の見守り」「家族や親族による支援」が多くなっています。
- ・すべての要介護度で「認知症の相談・診察ができる病院・医院（診療所・クリニック）」が最も多く、要支援1、2で42.3%、要介護1、2で47.4%、要介護3以上で51.5%となっています。要介護度による傾向に違いはありません。

認知症の人が地域で暮らすために必要だと思うこと（MA）

（上段：件、下段：％）

	n	を認知症に 普及する ための啓 発活動	認知症に ついての 支援者の 養成	近隣や 地域の見 守り	認知症の 集いや 家族が 参加でき る	家族や 親族によ る支援	ニッ ツク （診 療所 ・ク リ ニ ッ ク ）	病 院 の 相 談 ・ 診 察 が で き る	成 年 後 見 制 度 の 利 用 促 進	わ か ら な い	特 に な い	そ の 他	無 回 答
65～74歳	97	20	23	22	17	24	47	10	17	2	2	13	
	100.0	20.6	23.7	22.7	17.5	24.7	48.5	10.3	17.5	2.1	2.1	13.4	
75～84歳	283	66	99	90	53	74	130	32	39	14	4	38	
	100.0	23.3	35.0	31.8	18.7	26.1	45.9	11.3	13.8	4.9	1.4	13.4	
85歳以上	305	79	110	114	65	110	142	30	30	5	5	49	
	100.0	25.9	36.1	37.4	21.3	36.1	46.6	9.8	9.8	1.6	1.6	16.1	
要支援1、2	260	60	74	83	41	68	110	21	27	7	8	52	
	100.0	23.1	28.5	31.9	15.8	26.2	42.3	8.1	10.4	2.7	3.1	20.0	
要介護1、2	213	55	82	76	46	77	101	25	31	9	1	21	
	100.0	25.8	38.5	35.7	21.6	36.2	47.4	11.7	14.6	4.2	0.5	9.9	
要介護3以上	194	48	76	69	44	59	100	26	25	4	2	22	
	100.0	24.7	39.2	35.6	22.7	30.4	51.5	13.4	12.9	2.1	1.0	11.3	

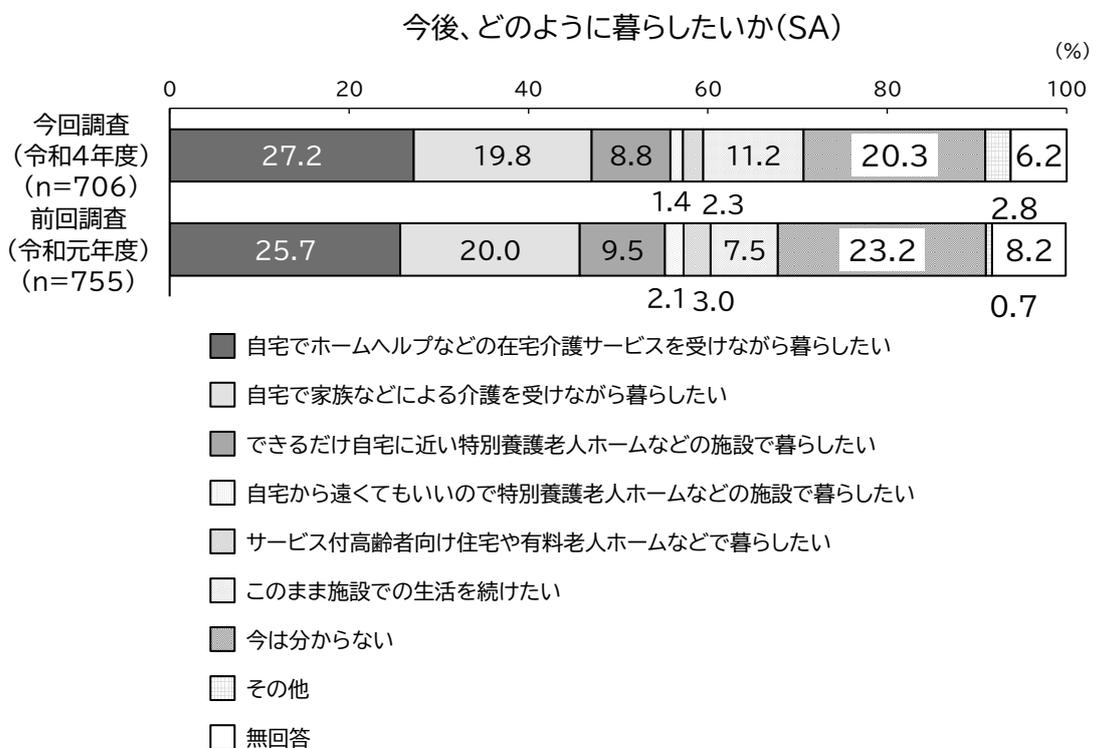
7. 今後の生活について

(1) 今後の暮らし方について

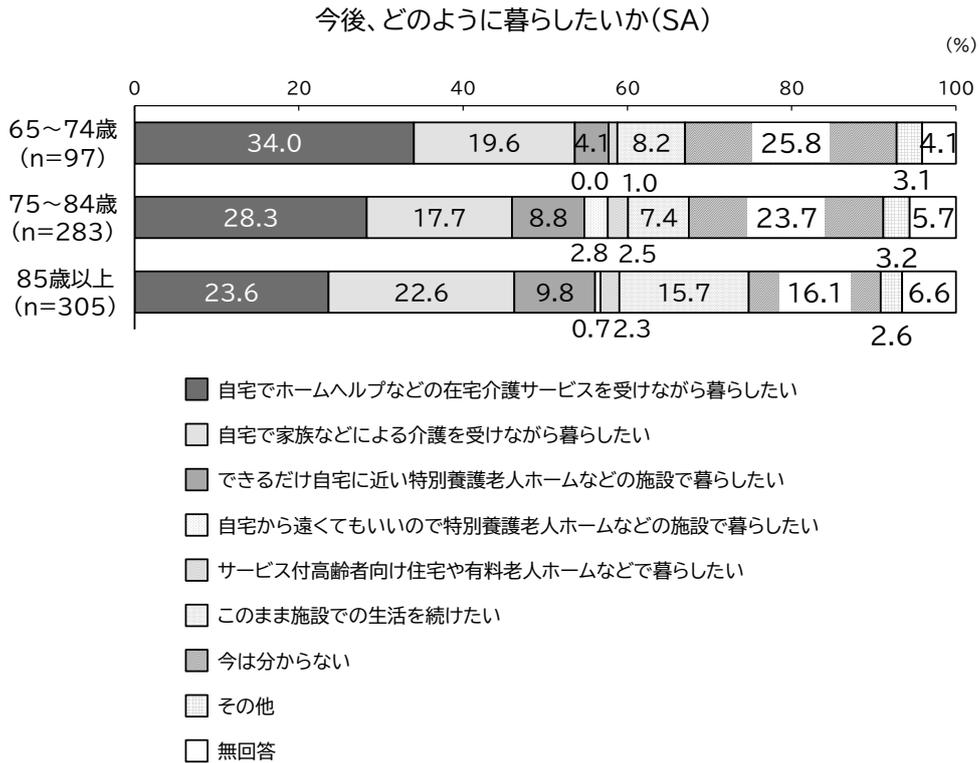
① 今後、どのように暮らしたいか

問22 あなたは、今後、どのように暮らしたいとお考えですか。(あてはまるもの1つに○)

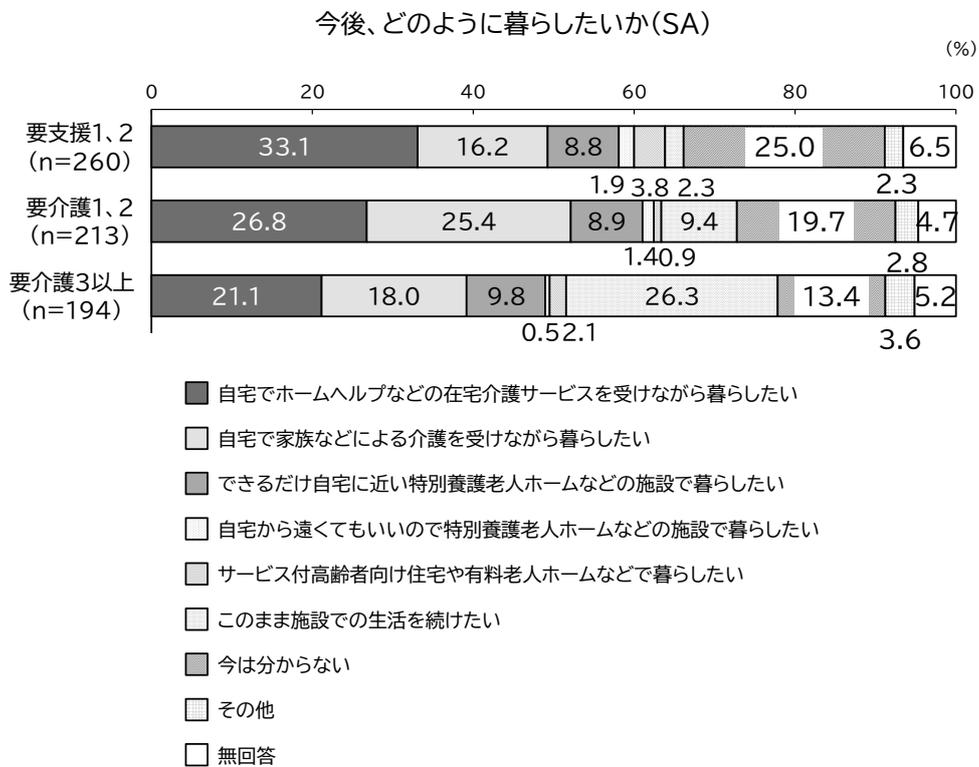
- ・「自宅でホームヘルプなどの在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」が最も多く27.2%、次いで「今は分からない」が20.3%、「自宅で家族などによる介護を受けながら暮らしたい」が19.8%などとなっています。
- ・前回調査と比較して、「このまま施設での生活を続けたい」が多くなっています。
- ・すべての年齢で「自宅でホームヘルプなどの在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」が最も多く、65～74歳で34.0%、75～84歳で28.3%、85歳以上で23.6%となっています。85歳以上で「このまま施設での生活を続けたい」が多くなっています。
- ・要支援1、2、要介護1、2では「自宅でホームヘルプなどの在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」が最も多く、要支援1、2が33.1%、要介護1、2が26.8%となっています。要介護3以上では「このまま施設での生活を続けたい」が最も多く26.3%となっています。要介護度が高くなるほど「このまま施設での生活を続けたい」が多く、「自宅でホームヘルプなどの在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」「今は分からない」が少なくなっています。



【年齢別】



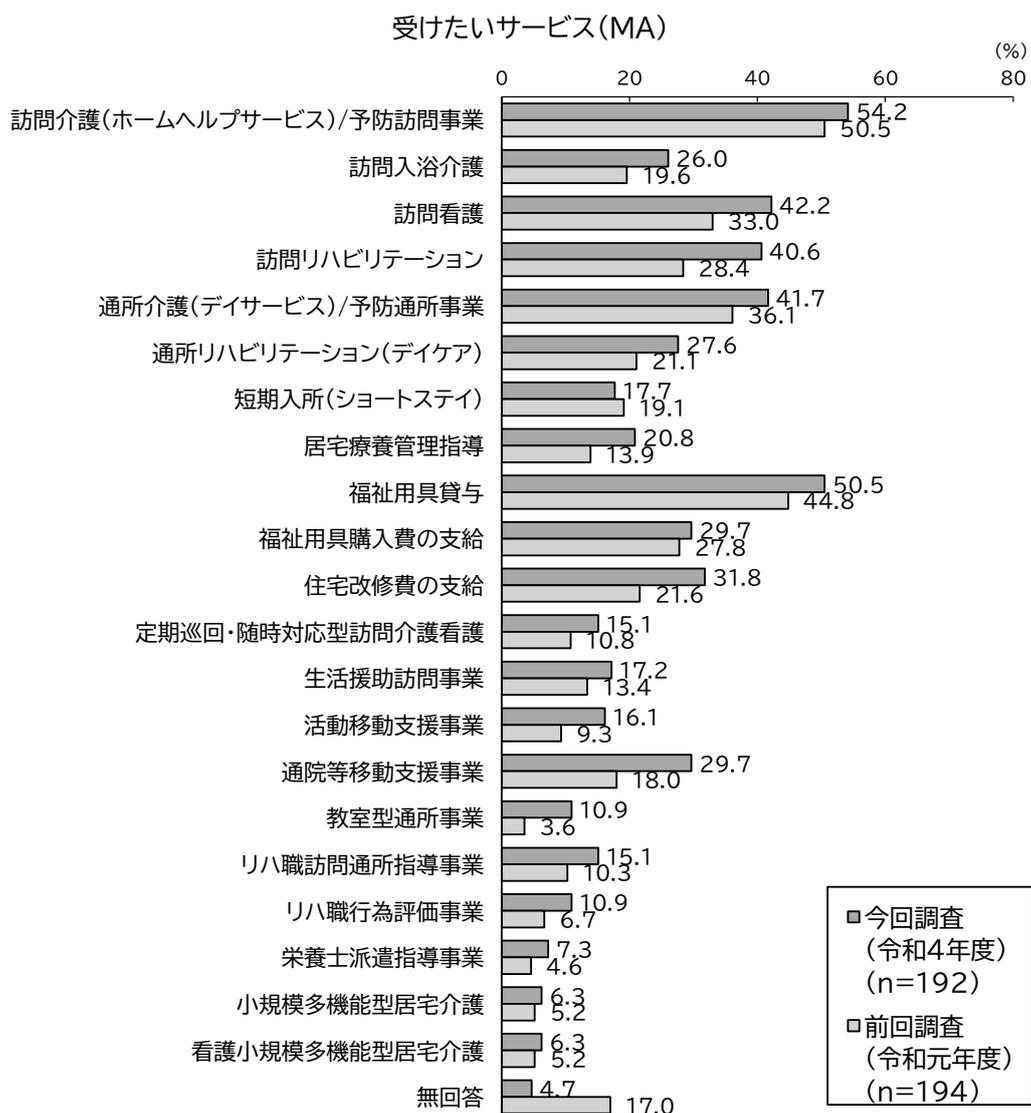
【要介護度別】



② 受けたいサービス

問 22-1 前問で、「1. 自宅でホームヘルプなどの在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」と回答された方におたずねします。
 どんなサービスを受けたいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「訪問介護（ホームヘルプサービス）/予防訪問事業」が最も多く 54.2%、次いで「福祉用具貸与」が 50.5%、「訪問看護」が 42.2%などとなっています。
- ・ 前回調査と比較して、「教室型通所事業」「リハ職訪問通所指導事業」が多くなっています。



- ・ 65～74 歳、85 歳以上では「訪問介護（ホームヘルプサービス）／予防訪問事業」が最も多く、65～74 歳が 63.6%、85 歳以上が 58.3%となっています。75～84 歳では「福祉用具貸与」が最も多く 55.0%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ 要支援 1、2 では「訪問介護（ホームヘルプサービス）／予防訪問事業」が最も多く 52.3%となっています。要介護 1、2 では「福祉用具貸与」が最も多く 59.6%となっています、要介護 3 以上では「訪問介護（ホームヘルプサービス）／予防訪問事業」「訪問リハビリテーション」「福祉用具貸与」が同数で最も多く 61.0%となっています。要介護度が高くなるほど「訪問リハビリテーション」が多く、「生活援助訪問事業」「活動移動支援事業」「通院等移動支援事業」「教室型通所事業」「リハ職訪問通所指導事業」「リハ職行為評価事業」が少なくなっています。

受けたいサービス (MA)

(上段：件、下段：%)

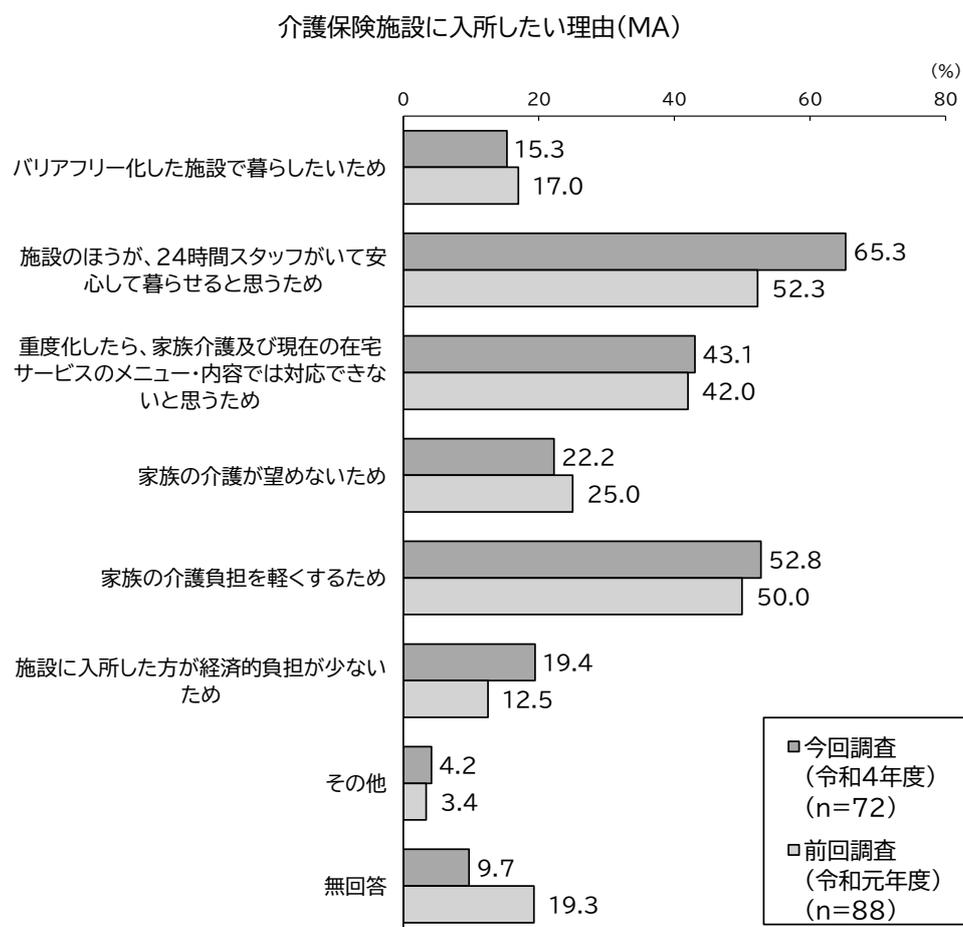
	n	訪問介護サービス（ホームヘルプサービス）／予防訪問事業	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）／通所通所事業	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所（ショートステイ）	居宅療養管理指導	福祉用具貸与	福祉用具購入費の支給	住宅改修費の支給	定期巡回・随時対応型訪問
65～74歳	33 100.0	21 63.6	8 24.2	17 51.5	17 51.5	12 36.4	7 21.2	5 15.2	5 15.2	17 51.5	7 21.2	6 18.2	3 9.1
75～84歳	80 100.0	40 50.0	24 30.0	32 40.0	31 38.8	35 43.8	22 27.5	14 17.5	19 23.8	44 55.0	25 31.3	27 33.8	12 15.0
85歳以上	72 100.0	42 58.3	17 23.6	31 43.1	29 40.3	32 44.4	24 33.3	14 19.4	16 22.2	34 47.2	24 33.3	26 36.1	14 19.4
要支援1、2	86 100.0	45 52.3	14 16.3	33 38.4	28 32.6	35 40.7	23 26.7	12 14.0	18 20.9	36 41.9	23 26.7	28 32.6	10 11.6
要介護1、2	57 100.0	32 56.1	20 35.1	25 43.9	23 40.4	27 47.4	17 29.8	9 15.8	12 21.1	34 59.6	20 35.1	19 33.3	12 21.1
要介護3以上	41 100.0	25 61.0	15 36.6	21 51.2	25 61.0	16 39.0	10 24.4	12 29.3	7 17.1	25 61.0	13 31.7	12 29.3	5 12.2

	n	生活援助訪問事業	活動移動支援事業	通院等移動支援事業	教室型通所事業	リハ職訪問通所指導事業	リハ職行為評価事業	栄養士派遣指導事業	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	無回答
65～74歳	33 100.0	4 12.1	2 6.1	8 24.2	2 6.1	3 9.1	2 6.1	2 6.1	0 0.0	0 0.0	2 6.1
75～84歳	80 100.0	13 16.3	15 18.8	25 31.3	8 10.0	14 17.5	11 13.8	6 7.5	5 6.3	4 5.0	2 2.5
85歳以上	72 100.0	16 22.2	14 19.4	24 33.3	10 13.9	12 16.7	8 11.1	6 8.3	7 9.7	7 9.7	4 5.6
要支援1、2	86 100.0	25 29.1	21 24.4	35 40.7	17 19.8	22 25.6	15 17.4	7 8.1	5 5.8	4 4.7	2 2.3
要介護1、2	57 100.0	5 8.8	7 12.3	16 28.1	4 7.0	5 8.8	3 5.3	5 8.8	4 7.0	6 10.5	4 7.0
要介護3以上	41 100.0	2 4.9	2 4.9	4 9.8	0 0.0	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.9	1 2.4	3 7.3

③ 介護保険施設に入所したい理由

問 22-2 問 22 で、「3. できるだけ自宅に近い特別養護老人ホームなどの施設で暮らしたい」または「4. 自宅から遠くてもいいので特別養護老人ホームなどの施設で暮らしたい」と回答された方におたずねします。介護保険施設に入所したい理由として、あなたのお考えに近いものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「施設のほうが、24時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため」が最も多く65.3%、次いで「家族の介護負担を軽くするため」が52.8%、「重度化したら、家族介護及び現在の在宅サービスのメニュー・内容では対応できないと思うため」が43.1%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。



- ・ 65～74 歳では「施設のほうが、24 時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため」「家族の介護負担を軽くするため」が同数で最も多く 75.0%となっています。75～84 歳、85 歳以上では「施設のほうが、24 時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため」が最も多く、75～84 歳が 72.7%、85 歳以上が 59.4%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ すべての要介護度で「施設のほうが、24 時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため」が最も多く、要支援 1、2 で 64.3%、要介護 1、2 で 59.1%、要介護 3 以上で 80.0%となっています。要支援 1、2 は他の要介護度と比較して「家族の介護が望めないため」が多くなっています。

介護保健施設に入所したい理由 (MA)

(上段：件、下段：%)

	n	い た め フ リ ー 化 し た 施 設 で 暮 ら し た	い 施 て 安 心 し て 暮 ら せ る 時 間 ス タ フ が	対 応 で き な い と 思 う た め	在 宅 サ イ ズ の メ ニ ュ ー 内 容 は	重 度 化 し た の メ ニ ュ ー 内 容 は	家 族 の 介 護 が 望 め な い た め	家 族 の 介 護 負 担 を 軽 く す る た め	な 施 設 に 入 所 し た 方 が 経 済 的 負 担 が 少	そ の 他	無 回 答
65～74歳	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
75～84歳	33 100.0	6 18.2	24 72.7	16 48.5	6 18.2	17 51.5	6 18.2	3 9.1	3 9.1		
85歳以上	32 100.0	5 15.6	19 59.4	13 40.6	8 25.0	17 53.1	8 25.0	0 0.0	4 12.5		
要支援1、2	28 100.0	5 17.9	18 64.3	13 46.4	12 42.9	14 50.0	8 28.6	1 3.6	1 3.6		
要介護1、2	22 100.0	2 9.1	13 59.1	11 50.0	1 4.5	12 54.5	1 4.5	2 9.1	3 13.6		
要介護3以上	20 100.0	4 20.0	16 80.0	7 35.0	3 15.0	12 60.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0		

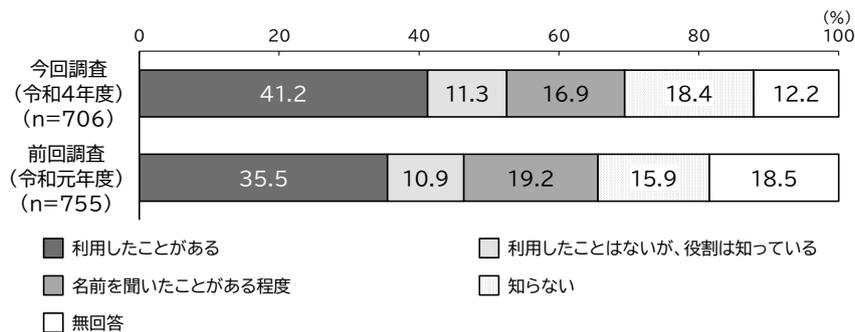
8. 保健・福祉サービスや介護に対するお考えについて

(1) 地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）の認知度

問 23 あなたは高齢者の相談窓口である地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）を知っていますか。（あてはまるもの1つに○）

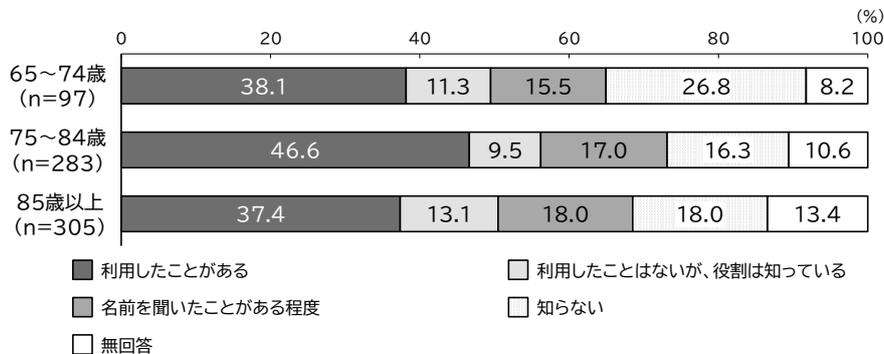
- ・ 「利用したことがある」が最も多く 41.2%、次いで「知らない」が 18.4%、「名前を聞いたことがある程度」が 16.9%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「利用したことがある」が最も多く、65～74歳で 38.1%、75～84歳で 46.6%、85歳以上で 37.4%となっています。
- ・ すべての家族構成で「利用したことがある」が最も多く、ひとり暮らしで 45.8%、夫婦ふたり暮らしで 40.6%、その他で 38.1%となっています。
- ・ すべての要介護度で「利用したことがある」が最も多く、要支援 1、2 で 49.2%、要介護 1、2 で 40.4%、要介護 3 以上で 36.1%となっています。要介護度が高くなるほど「利用したことがある」が少なくなっています。
- ・ 年齢別、家族構成別、圏域別による傾向に違いはありません。

地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）の認知度（SA）

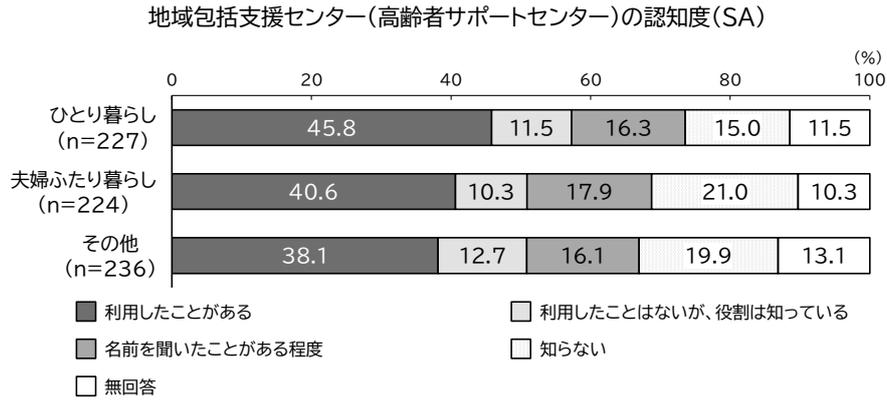


【年齢別】

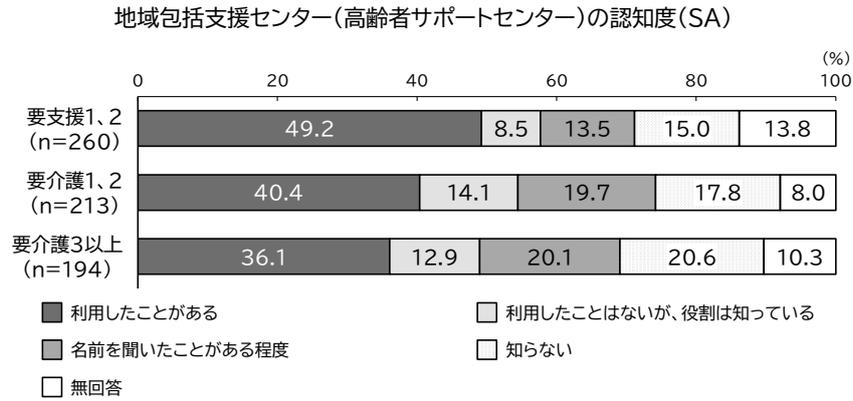
地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）の認知度（SA）



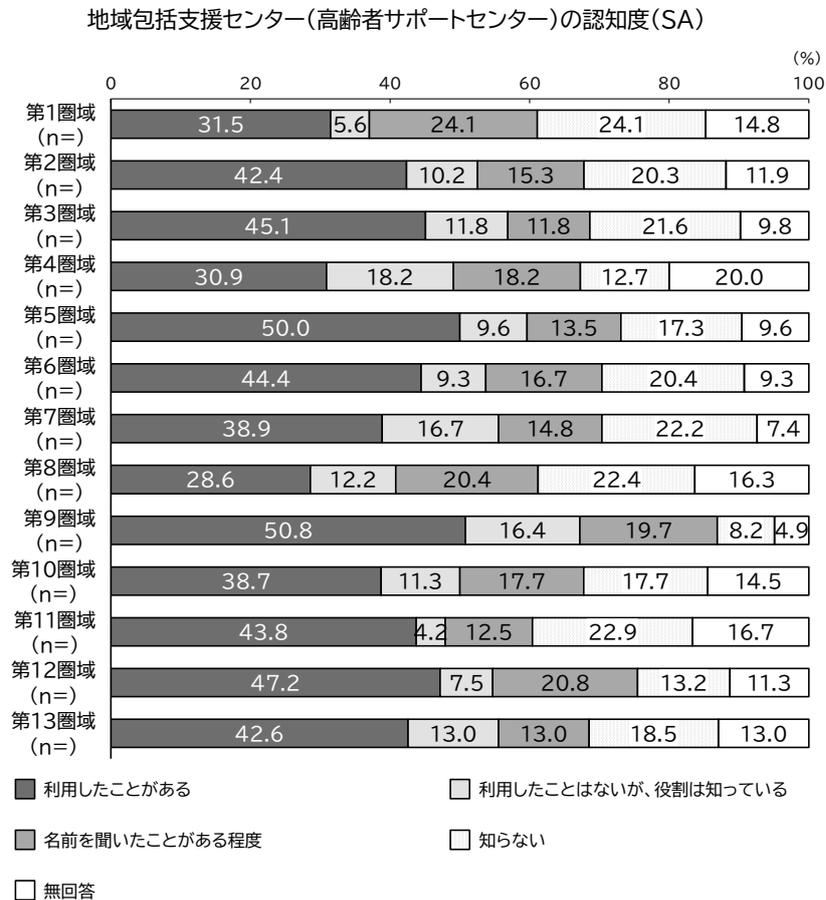
【家族構成別】



【要介護度別】



【圏域別】

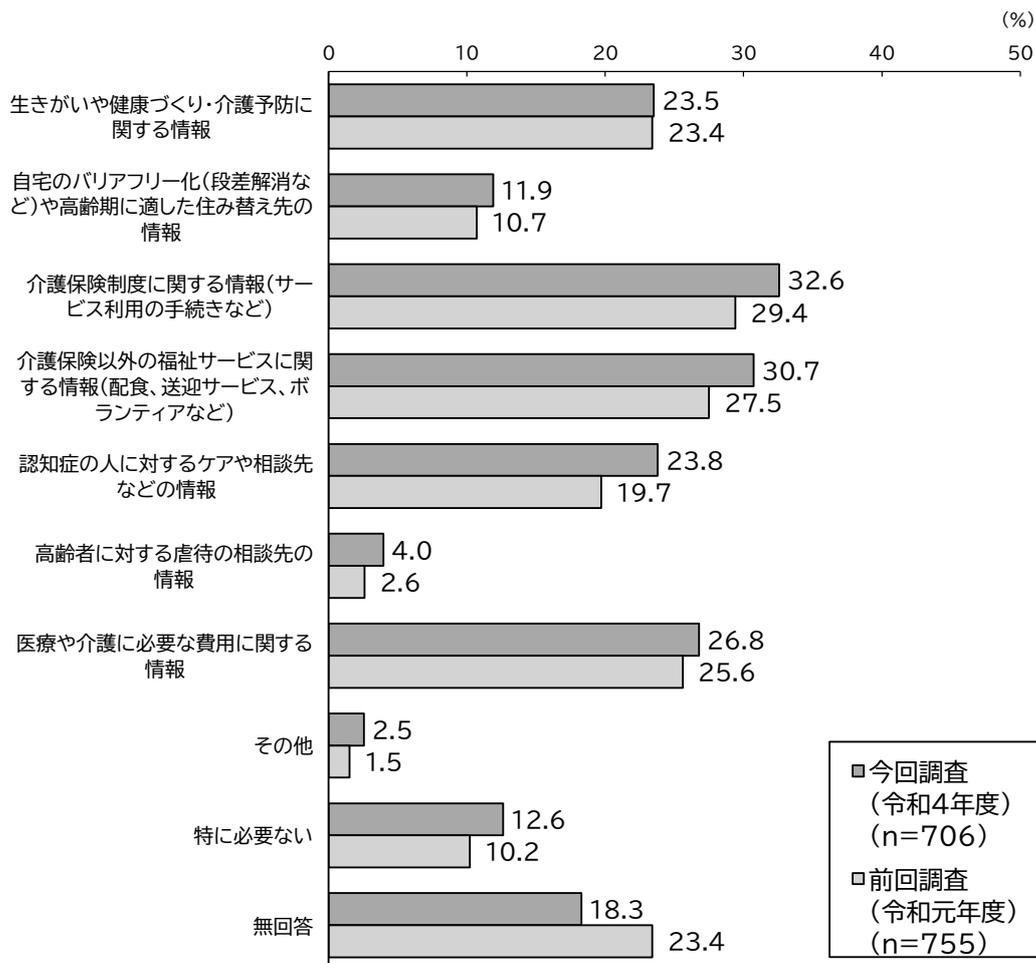


(2) 介護や保健、医療等に関する情報のニーズ

問 24 あなたは、介護や保健、医療等に関する事で、どのような情報がほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」が最も多く 32.6%、次いで「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」が 30.7%、「医療や介護に必要な費用に関する情報」が 26.8%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。

介護や保健、医療等に関する情報のニーズ(MA)



- ・すべての年齢で「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」が最も多く、65～74歳で35.1%、75～84歳で33.2%、85歳以上で32.5%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・要支援1、2では「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」が最も多く34.2%となっています。要介護1、2、要介護3以上では「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」が最も多く、要介護1、2が34.3%、要介護3以上が37.6%となっています。要支援1、2は他の要介護度と比較して「認知症の人に対するケアや相談先などの情報」が少なくなっています。

介護や保健、医療等に関する情報のニーズ（MA）

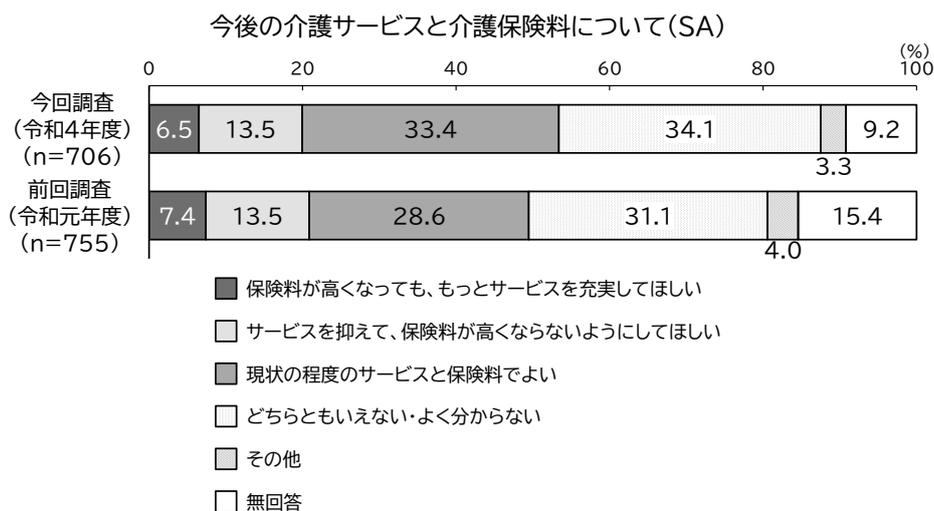
（上段：件、下段：％）

	n	防生 にき 関が すい るや 情報	替 え 先 の 情 報	自 宅 の バ リ ア フ リ に 適 化 し た 住 差 解	（ サ ー ビ ス 制 度 に 関 手 続 き 情 報 ）	ス 、 関 ス 、 先 な 知 症 の 人 に 対 す る ケ ア や 相 談	先 な 知 症 の 人 に 対 す る ケ ア や 相 談	情 報 高 齢 者 に 対 す る 虐 待 の 相 談 先 の	医 療 や 介 護 に 必 要 な 費 用 に 関 す	そ の 他	特 に 必 要 な い	無 回 答
65～74歳	97 100.0	18 18.6	10 10.3	34 35.1	30 30.9	21 21.6	2 2.1	20 20.6	2 2.1	11 11.3	17 17.5	
75～84歳	283 100.0	63 22.3	38 13.4	94 33.2	90 31.8	70 24.7	15 5.3	80 28.3	6 2.1	31 11.0	54 19.1	
85歳以上	305 100.0	82 26.9	35 11.5	99 32.5	93 30.5	75 24.6	11 3.6	84 27.5	10 3.3	46 15.1	48 15.7	
要支援1、2	260 100.0	68 26.2	25 9.6	76 29.2	89 34.2	45 17.3	10 3.8	60 23.1	10 3.8	26 10.0	59 22.7	
要介護1、2	213 100.0	53 24.9	30 14.1	73 34.3	66 31.0	61 28.6	8 3.8	60 28.2	5 2.3	31 14.6	26 12.2	
要介護3以上	194 100.0	38 19.6	25 12.9	73 37.6	54 27.8	56 28.9	7 3.6	66 34.0	3 1.5	28 14.4	25 12.9	

(3) 今後の介護サービスと介護保険料について

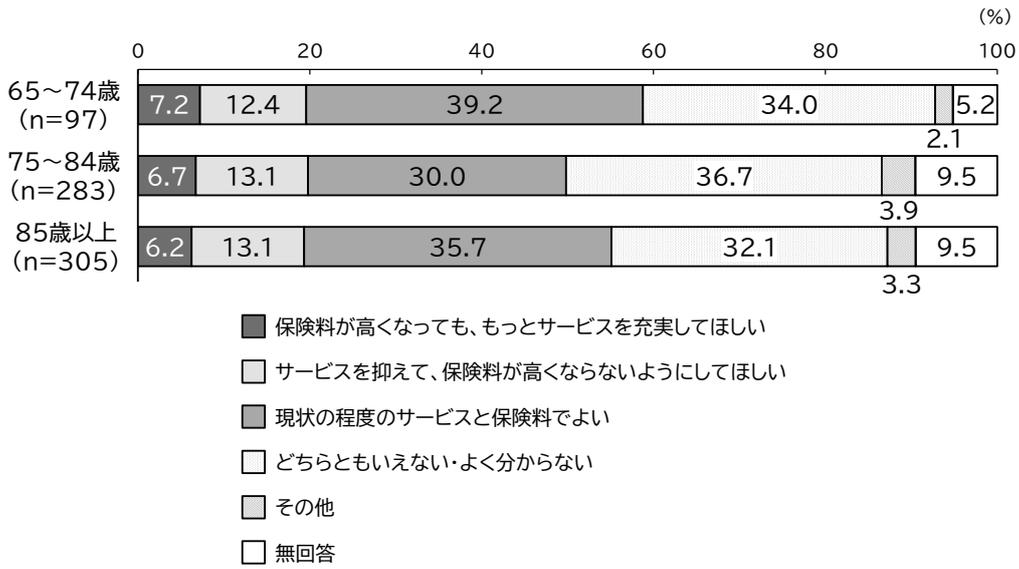
問 25 介護保険は、入所施設を増やしたり、サービスの利用が多くなるなど、サービスが充実すると、介護保険料も高くなります。あなたは、今後の介護サービスと介護保険料についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

- ・ 「どちらともいえない・よく分からない」が最も多く 34.1%、次いで「現状の程度のサービスと保険料でよい」が 33.4%、「サービスを抑えて、保険料が高くならないようにしてほしい」が 13.5%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 65～74 歳、85 歳以上では「現状の程度のサービスと保険料でよい」が最も多く、65～74 歳は 39.2%、85 歳以上は 35.7%となっています。75～84 歳では「どちらともいえない・よく分からない」が最も多く、36.7%となっています。
- ・ 要支援 1、2 では「どちらともいえない・よく分からない」が最も多く 40.4%となっています。要介護 1、2、要介護 3 以上では「現状の程度のサービスと保険料でよい」が最も多く、要介護 1、2 が 35.7%、要介護 3 以上が 39.7%となっています。
- ・ 年齢別、要介護度別による傾向に違いはありません。



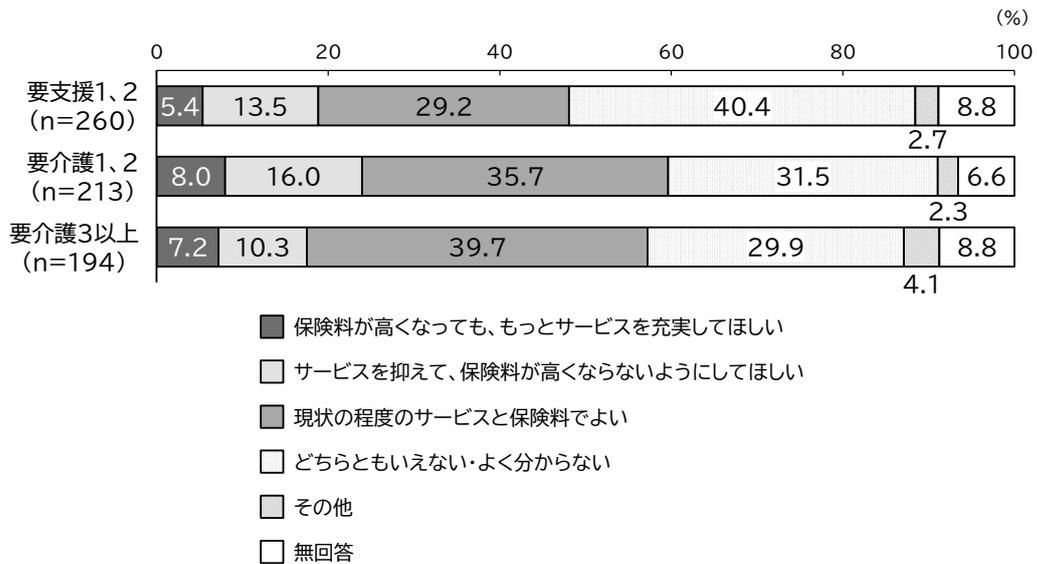
【年齢別】

今後の介護サービスと介護保険料について(SA)



【要介護度別】

今後の介護サービスと介護保険料について(SA)



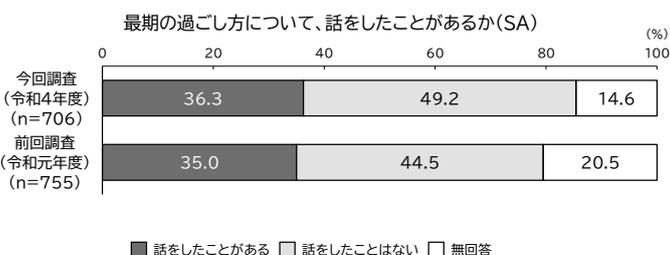
9. 看取り（みとり）について

(1) 最期の過ごし方について

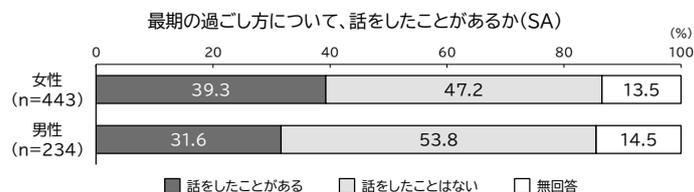
① 最期の過ごし方について、話をしたことがあるか

問 26 あなたは最期（さいご）の過ごし方について、家族や身近な友人、医療や介護のスタッフ等と話をしたことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

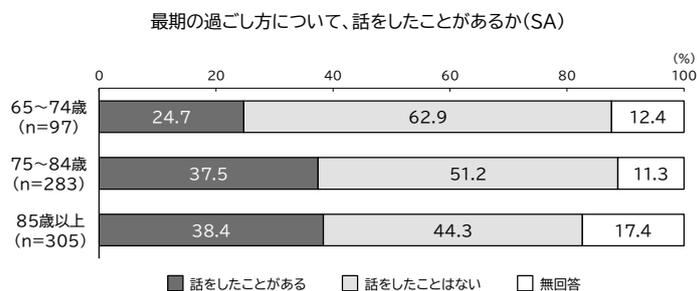
- ・ 「話をしたことがある」が36.3%、「話をしたことはない」が49.2%となっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 女性、男性ともに「話をしたことはない」が多く、女性は47.2%、男性は53.8%となっています。
- ・ すべての年齢で「話をしたことがない」が多く、65～74歳で62.9%、75～84歳で51.2%、85歳以上で44.3%となっています。他の年齢と比較して、65～74歳は「話をしたことがある」が少なくなっています。
- ・ すべての要介護度で「話をしたことはない」が多く、要支援1、2で46.9%、要介護1、2で54.0%、要介護3以上で45.4%となっています。
- ・ 性別、要介護度別による傾向に違いはありません。



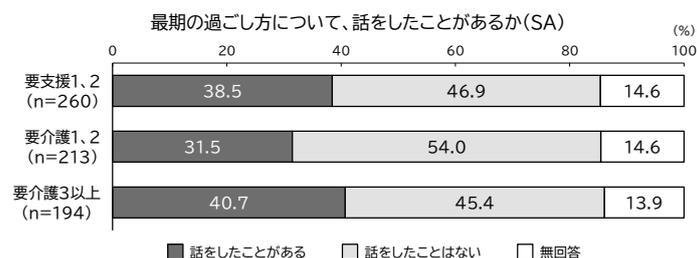
【性別】



【年齢別】



【要介護度別】

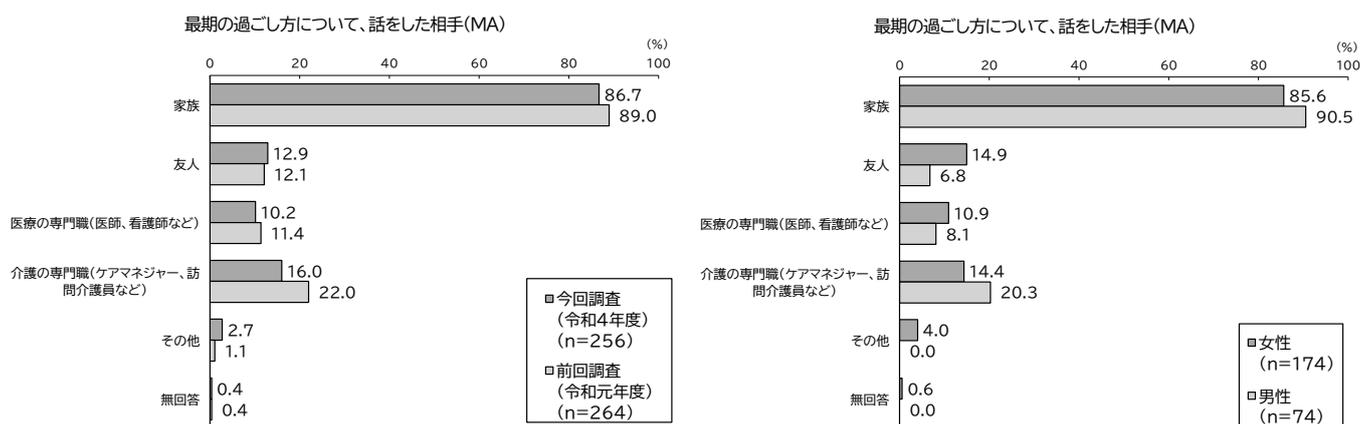


② 最期の過ごし方について、話をした相手

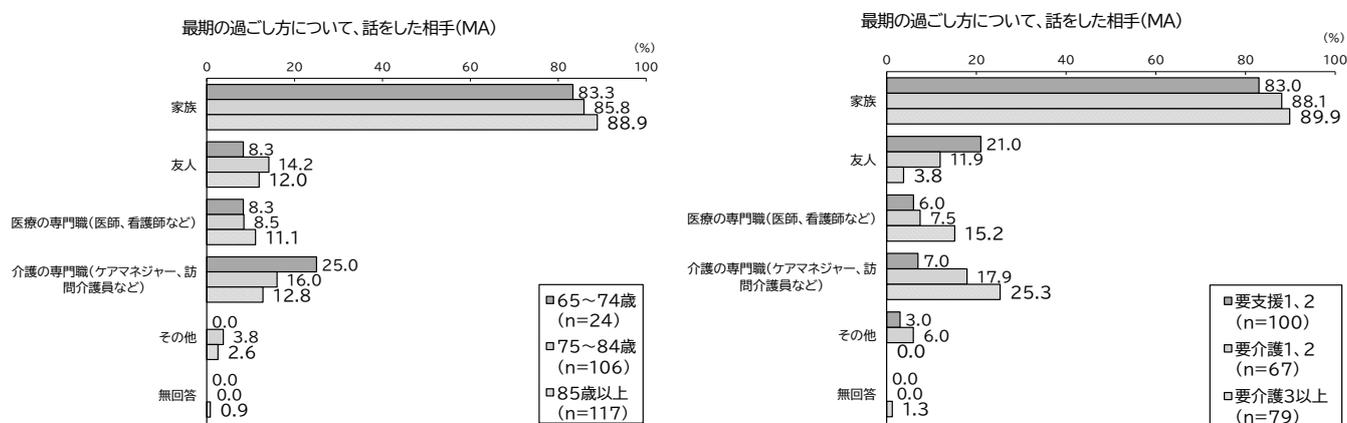
誰と話をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- ・ 「家族」が最も多く 86.7%、次いで「介護の専門職（ケアマネジャー、訪問介護員など）」が 16.0%、「友人」が 12.9%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 女性、男性ともに「家族」が最も多く、女性は 85.6%、男性は 90.5%となっています。
- ・ すべての年齢で「家族」が最も多く、65～74 歳で 83.3%、75～84 歳で 85.8%、85 歳以上で 88.9%となっています。
- ・ すべての要介護度で「家族」が最も多く、要支援 1、2 で 83.0%、要介護 1、2 で 88.1%、要介護 3 以上で 89.9%となっています。要介護度が高くなるほど「介護の専門職（ケアマネジャー、訪問介護員など）」が多く、「友人」が少なくなっています。
- ・ 性別、年齢別による傾向に違いはありません。

【全体・性別】



【年齢別・要介護度別】

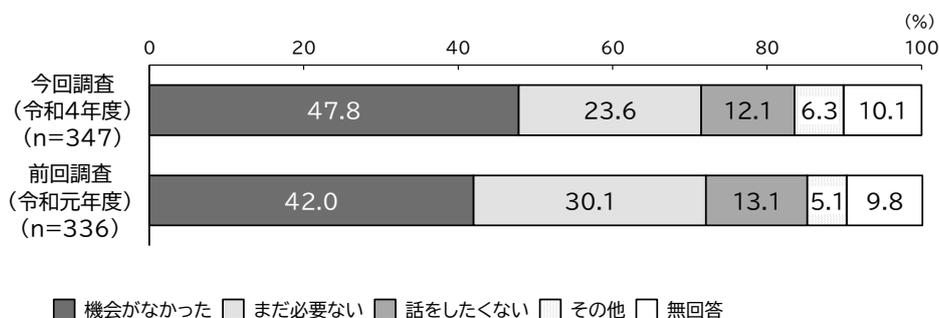


③ 最期の過ごし方について、話をしたことはない理由

どのような理由ですか。(あてはまるもの1つに○)

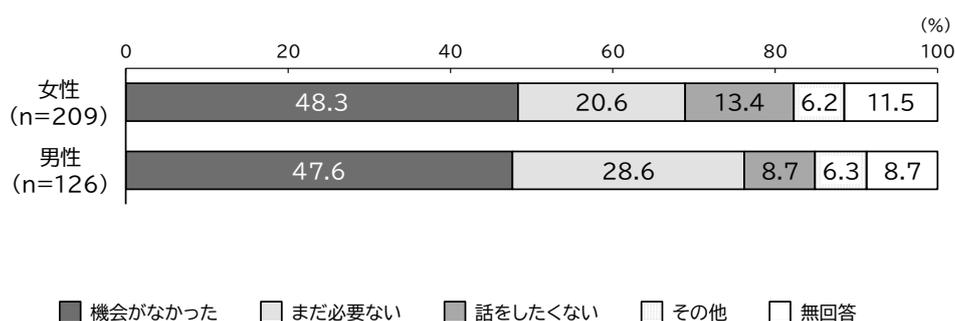
- ・ 「機会がなかった」が最も多く 47.8%、次いで「まだ必要ない」が 23.6%、「話をしたくない」が 12.1%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 女性、男性ともに「機会がなかった」が最も多く、女性は 48.3%、男性は 47.6%となっています。性別による傾向に違いはありません。
- ・ 65～74 歳は「まだ必要ない」が最も多く 42.6%となっています。75～84 歳、85 歳以上では「機会がなかった」が最も多く、75～84 歳が 49.0%、85 歳以上が 52.6%となっています。年齢が高くなるほど「まだ必要ない」が少なくなっています。
- ・ すべての要介護度で「機会がなかった」が最も多く、要支援 1、2 で 42.6%、要介護 1、2 で 55.7%、要介護 3 以上で 48.9%となっています。要介護度が高くなるほど「まだ必要ない」が少なくなっています。

最期の過ごし方について、話をしたことはない理由(SA)

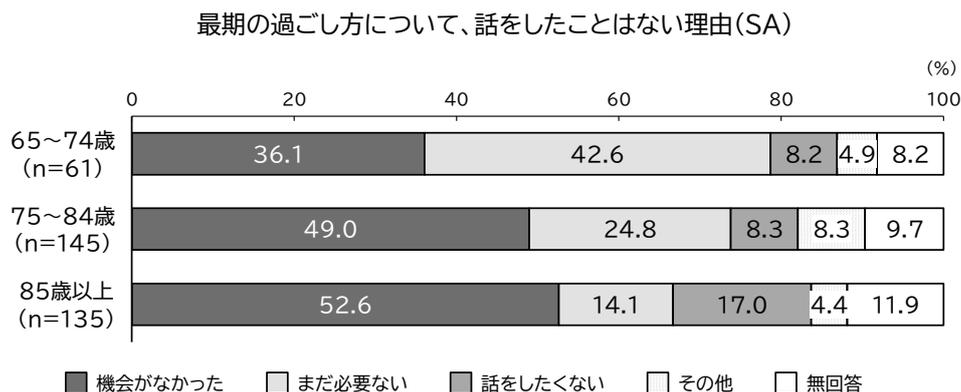


【性別】

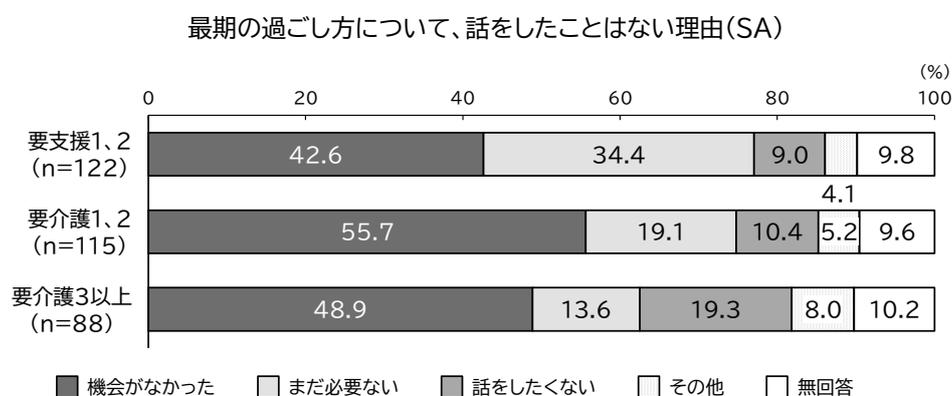
最期の過ごし方について、話をしたことはない理由(SA)



【年齢別】



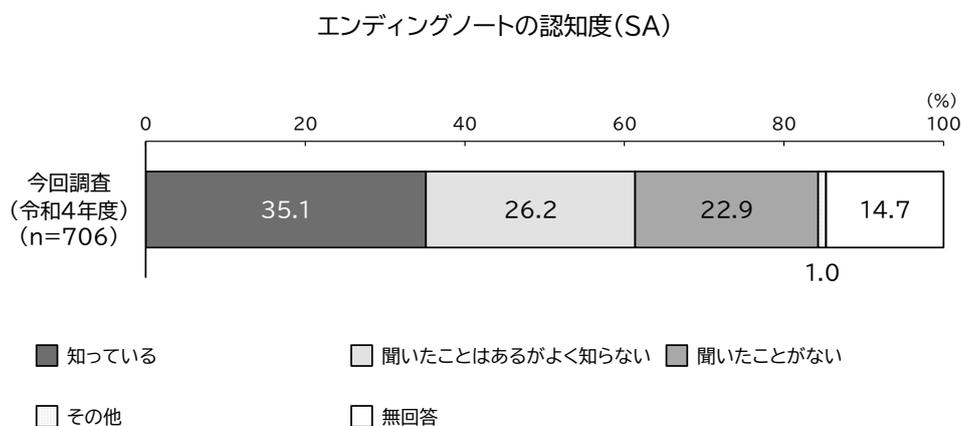
【要介護度別】



(2) エンディングノートの認知度

問 27 エンディングノートを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

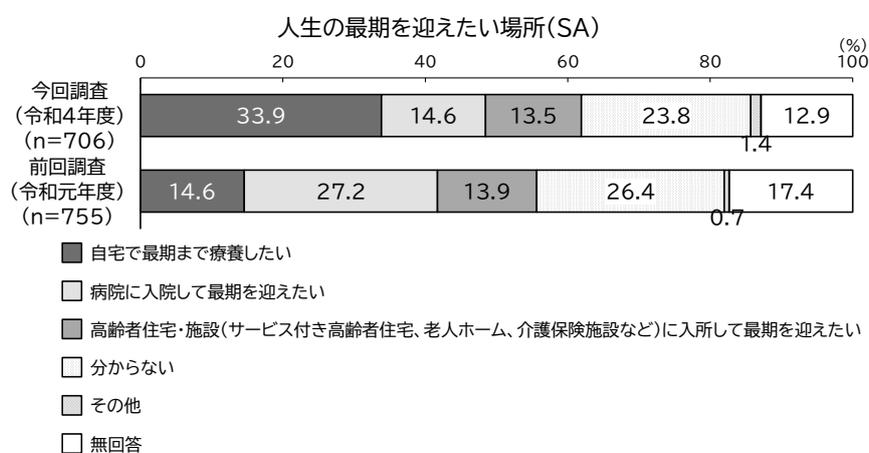
- ・ 「知っている」が最も多く 36.9%、次いで「聞いたことはあるがよく知らない」が 26.2%、「聞いたことがない」が 22.9%などとなっています。



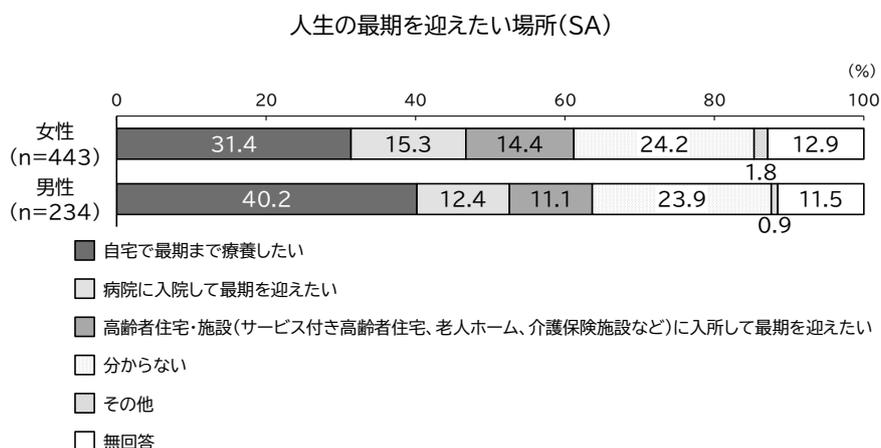
(3) 人生の最期を迎えたい場所

問 28 あなたは最期（さいご）まで自分らしく過ごすために、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

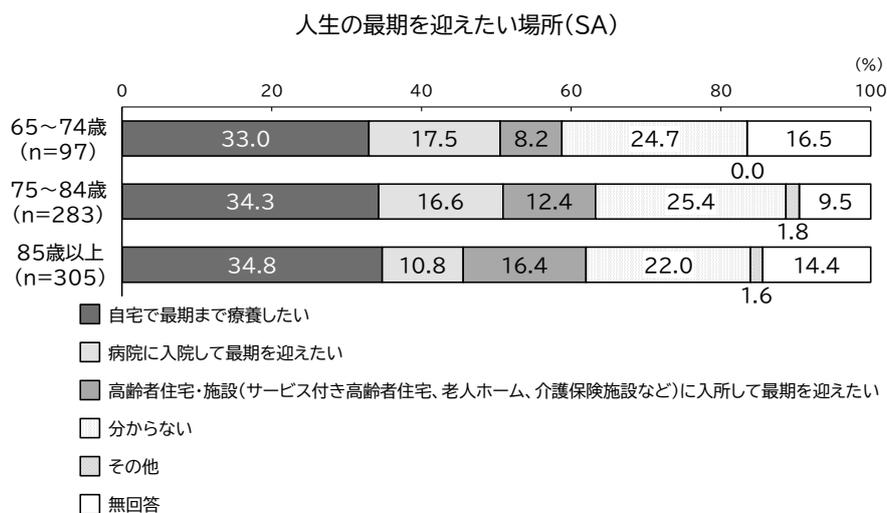
- ・ 「自宅で最期まで療養したい」が最も多く 33.9%、次いで「分からない」が 23.8%、「病院に入院して最期を迎えたい」が 14.6%などとなっています。前回調査と比較して、「自宅で最期まで療養したい」が多く、「病院に入院して最期を迎えたい」が少なくなっています。
- ・ 女性、男性ともに「自宅で最期まで療養したい」が最も多く、女性は 31.4%、男性は 40.2%となっています。性別による傾向に違いはありません。
- ・ すべての年齢で「自宅で最期まで療養したい」が最も多く、65～74 歳で 33.0%、75～84 歳で 34.3%、85 歳以上で 34.8%となっています。年齢による傾向に違いはありません。
- ・ ひとり暮らしでは「分からない」が最も多く 26.9%となっています。夫婦ふたり暮らし、その他では「自宅で最期まで療養したい」が最も多く、夫婦ふたり暮らしが 42.4%、その他が 34.7%となっています。ひとり暮らしは他の家族構成と比較して「高齢者住宅・施設（サービス付き高齢者住宅、老人ホーム、介護保険施設など）に入所して最期を迎えたい」が多くなっています。
- ・ すべての要介護度で「自宅で最期まで療養したい」が最も多く、要支援 1、2 で 31.9%、要介護 1、2 で 34.3%、要介護 3 以上で 34.5%となっています。要介護度が高くなるほど「高齢者住宅・施設（サービス付き高齢者住宅、老人ホーム、介護保険施設など）に入所して最期を迎えたい」が多くなっています。



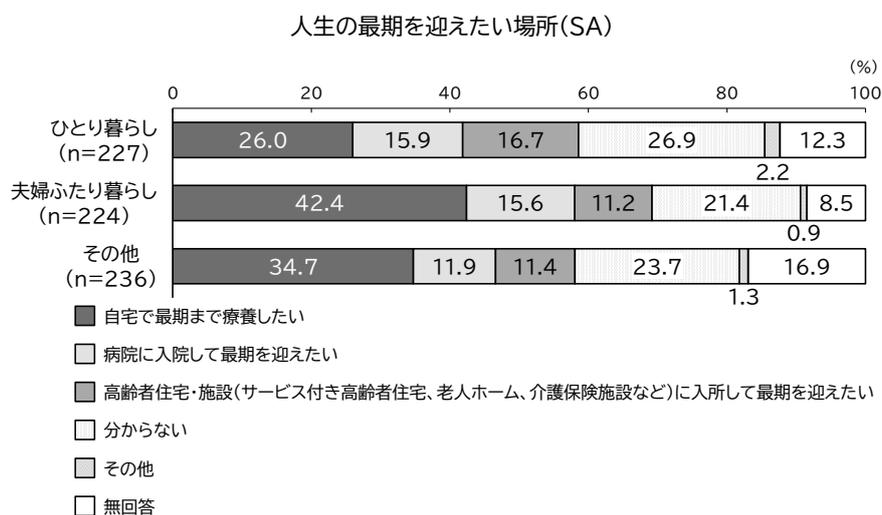
【性別】



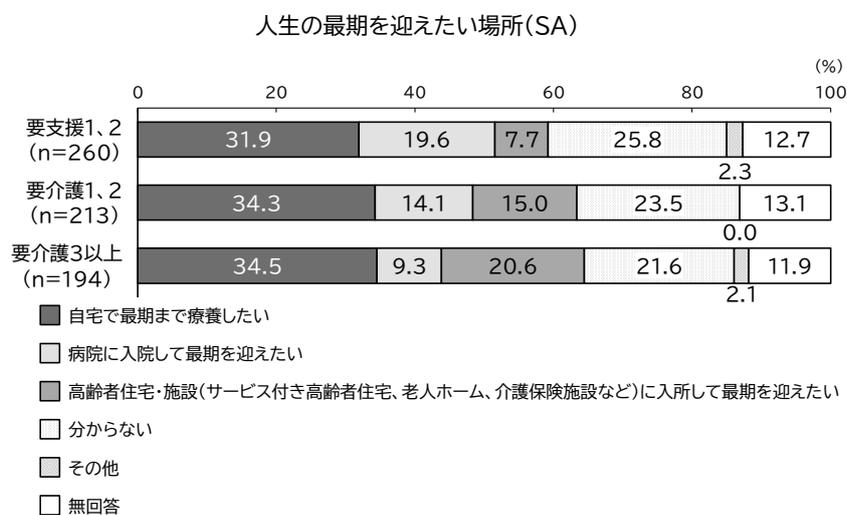
【年齢別】



【家族構成別】



【要介護度別】

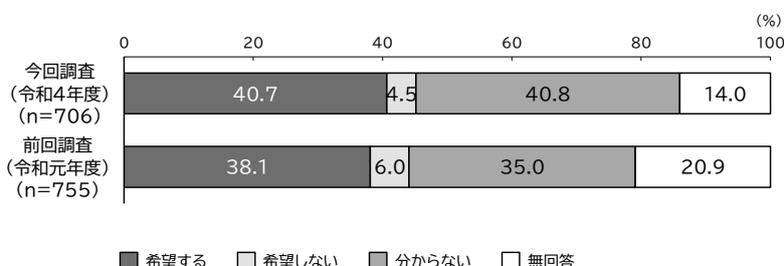


(4) 病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望するか

問 29 最期（さいご）を迎えることができる環境（訪問診療、訪問看護、緊急時の対応など）が整っていれば、病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望しますか。
（あてはまるもの1つに○）

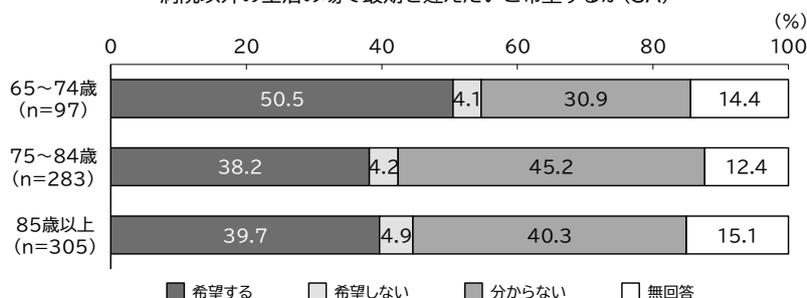
- ・ 「希望する」が40.7%、「希望しない」が4.5%、「分からない」が40.8%となっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。
- ・ 65～74歳では「希望する」が最も多く50.5%となっています。75～84歳、85歳以上では「分からない」が最も多く、75～84歳が45.2%、85歳以上が40.3%となっています。
- ・ 要支援1、2では「分からない」が最も多く43.1%となっています。要介護1、2、要支援1、2では「希望する」が最も多く、要介護1、2が40.4%、要介護3以上が42.8%となっています。
- ・ 年齢別、要介護度別による傾向に違いはありません。

病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望するか(SA)



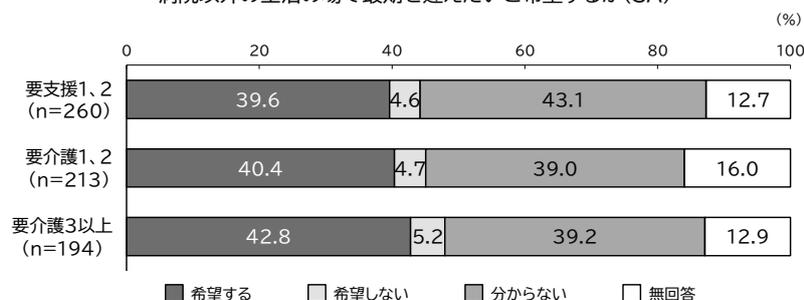
【年齢別】

病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望するか(SA)



【要介護度別】

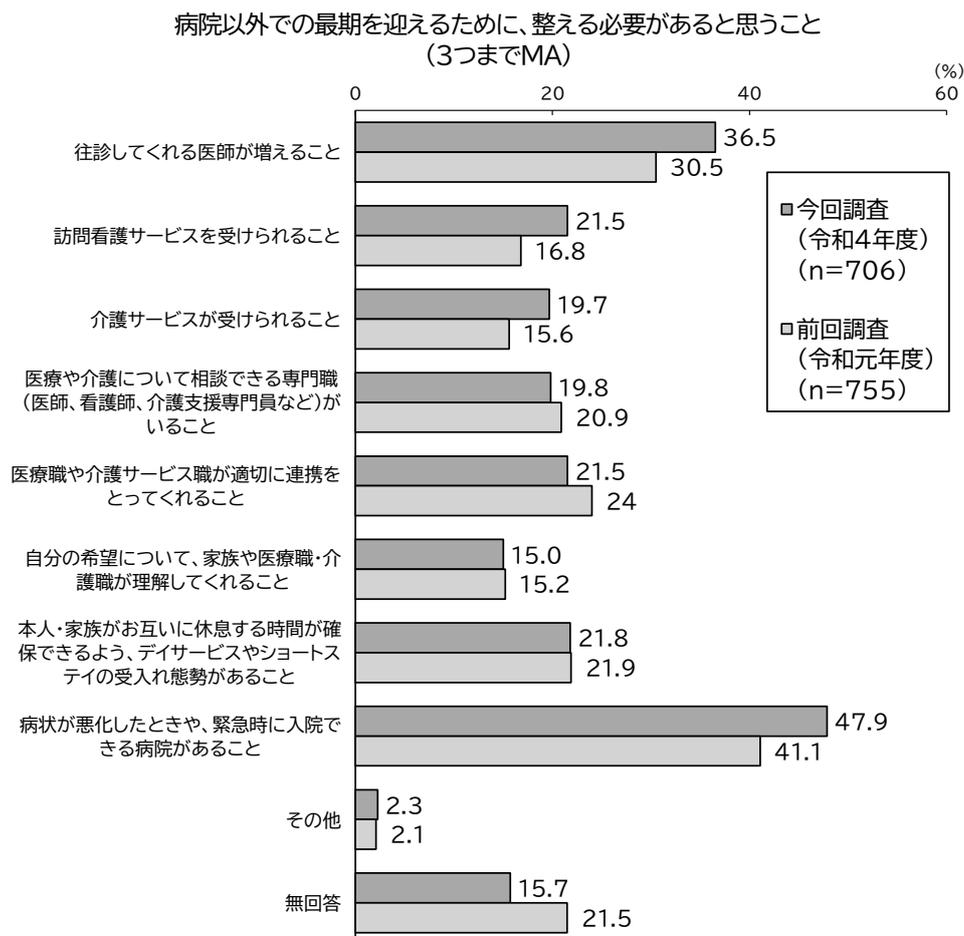
病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望するか(SA)



(5) 病院以外での最期を迎えるために、整える必要があると思うこと

問 30 今後、病院以外での最期（さいご）を迎えるためには、どういうことが整っていれば可能になると思いますか。（複数回答 3つ以内）

- ・ 「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」が最も多く 47.9%、次いで「往診してくれる医師が増えること」が 36.5%、「本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること」が 21.8%などとなっています。前回調査と比較して、傾向に違いはありません。



- ・すべての年齢で「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」が最も多く、65～74歳で38.1%、75～84歳で50.9%、85歳以上で49.2%となっています。他の年齢と比較して、75～84歳は「本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること」が多くなっています。
- ・すべての要介護度で「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」が最も多く、要支援1、2で52.7%、要介護1、2で49.8%、要介護3以上で40.2%となっています。要介護度が高くなるほど「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」が少なくなっています。

病院以外での最期を迎えるために、整える必要があると思うこと（3つまでMA）

(上段：件、下段：%)

	n	と往診して くれる医師が 増えること	訪問看護サ ービスを受け られること	介護サ ービスを受け られること	医療専門職 （医師、介 護士、介護 士など）が 相談できる	医療職や介 護士とつ きあうこと	医療職や介 護士とつ きあうこと	自分の希望 が理解され る医師	入居希望が あること	本人・家族 がお互いに 休息する	病状が悪 化したとき や、緊急時	その他	無 回 答
65～74歳	97 100.0	32 33.0	21 21.6	21 21.6	17 17.5	21 21.6	13 13.4	17 17.5	37 38.1	3 3.1	21 21.6		
75～84歳	283 100.0	101 35.7	64 22.6	54 19.1	47 16.6	56 19.8	43 15.2	76 26.9	144 50.9	6 2.1	41 14.5		
85歳以上	305 100.0	118 38.7	61 20.0	62 20.3	71 23.3	69 22.6	46 15.1	56 18.4	150 49.2	6 2.0	46 15.1		
要支援1、2	260 100.0	98 37.7	58 22.3	44 16.9	48 18.5	53 20.4	44 16.9	49 18.8	137 52.7	4 1.5	42 16.2		
要介護1、2	213 100.0	72 33.8	44 20.7	44 20.7	41 19.2	41 19.2	31 14.6	55 25.8	106 49.8	5 2.3	31 14.6		
要介護3以上	194 100.0	76 39.2	47 24.2	47 24.2	40 20.6	56 28.9	28 14.4	46 23.7	78 40.2	5 2.6	27 13.9		

インターネットでご回答いただく場合は、右記コードを読み取りください。
回答フォームが開きますので、まず初めに右記コード下に記載の番号を
入力のうえ、ご回答ください。



高 齢 者 実 態 調 査

調 査 票

【記入に際してのお願い】

■この調査の対象者は、令和4年10月31日現在、市内にお住まいの要支援・要介護認定を受けられている方です。

■この調査票は、封筒のあて名ご本人のことについてご回答ください。なお、ご本人自ら回答することが難しい場合は、ご家族の方などがご本人の代わりに回答、あるいは、一緒に回答してください。ご本人以外の方が回答される場合は、ご本人の立場になってお答えください。

☆ご本人以外の方が記入された場合、本人との関係についてあてはまるものに○をつけてください。

1. 本人の配偶者 2. 本人の子ども・子どもの家族 3. その他 ()

■視覚障害への対応が必要な場合などについては、長寿・介護保険課までお問い合わせください。

■ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、あてはまる番号を○で囲んでください。
また、一部、数字等を記入いただく質問もあります。

■「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的に内容をご記入ください。

■調査票にご回答いただきましたら、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、お近くのポストに投函してください(切手は不要です)。

5. 介護サービスなどの利用について

問7 現在のあなたの要介護度をご記入ください。(あてはまるもの1つに○)

※現在更新または変更申請中の方は、申請前の要介護度をお答えください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. 分からない |

問8 要介護認定が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 転倒・骨折 | 2. 加齢による衰弱・身体機能の低下 |
| 3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞など） | 4. 心臓病 |
| 5. がん（悪性新生物） | 6. 関節疾患（リウマチなど） |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 視覚・聴覚の障害や低下 | 10. 認知症 |
| 11. その他（ | ） |

問9 あなたの要介護度は、1年前と比べてどのように変化していますか。(あてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 現在のほうが、要介護度が上がっている（悪くなっている） |
| 2. 同じ要介護度である |
| 3. 現在のほうが、要介護度が下がっている（良くなっている） |
| 4. 1年前は認定を受けていない |
| 5. わからない |

問10 あなたは、現在どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

※1～20までの主な在宅介護サービスの説明は、問22-1をご参照ください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 訪問介護（ホームヘルプサービス）/予防訪問事業 | 2. 訪問入浴介護（*） |
| 3. 訪問看護（*） | 4. 訪問リハビリテーション（*） |
| 5. 通所介護（デイサービス）/予防通所事業 | 6. 通所リハビリテーション（デイケア）（*） |
| 7. 短期入所（ショートステイ）（*） | 8. 居宅療養管理指導（*） |
| 9. 福祉用具貸与（*） | 10. 福祉用具購入費の支給（*） |
| 11. 住宅改修費の支給（*） | 12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |
| 13. 生活援助訪問事業 | 14. 活動移動支援事業 |
| 15. 通院等移動支援事業 | 16. 教室型通所事業 |
| 17. リハ職訪問通所指導事業 | 18. リハ職行為評価事業 |
| 19. 栄養士派遣指導事業 | 20. 小規模多機能型居宅介護（*） |
| 21. 夜間対応型訪問介護 | |
| 22. 認知症対応型通所介護（認知症専用デイサービス）（*） | |
| 23. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（*） | |
| 24. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホームなど）（*） | |
| 25. 特別養護老人ホーム等の介護保険施設サービス | 26. 利用していない |

⇒問19へ

※（*）印のある要支援1、2の方の利用サービス名称は、正式には「介護予防訪問入浴介護」等です。要支援1、2の方がお答えいただく際には、介護予防サービスとしてお読みください。

問11 現在利用中のサービスやこれまで利用したサービスについて、コロナ禍による変化はありましたか。
(いずれかに○)

1. はい (変化があった)

2. いいえ (変化はなかった)

⇒問12へ

→問11-1 前問で「1. はい」と回答された方におたずねします。

どのような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. サービス量(回数)を増やした(ことがある)

→サービス名(※)()

2. サービス量(回数)を減らした(ことがある)

→サービス名(※)()

3. その他の変化(内容を具体的に記入)

()

(※)4ページ問10の選択肢1~25からあてはまる番号をすべて記入してください。

問12 ケアマネジャーの対応に対する満足状況はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 満足している

2. 不満がある

3. どちらともいえない

↓
問12-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。

不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談にのってくれない

2. 親切丁寧な対応をしてくれない

3. 説明が足りない

4. 希望を反映させたケアプランを作成してくれない

5. 定期的に訪問してくれない

6. 事業所に意見や要望を伝えてくれない

7. 対応が契約時の説明と異なる

8. 性格が合わない

9. 指導的な態度

10. その他()

訪問介護(ホームヘルプサービス)/予防訪問事業を利用したことのある方におたずねします。

※問10で「1.」を選択した方のみ

問13 利用しているサービスの種類はどれですか。(いずれかに○)

1. 身体介護だけ

2. 生活援助だけ

3. 身体介護と生活援助の両方

問14 サービスをどれくらいの時間利用していますか。

身体介護 は、 1回()分、()回/週間

生活援助 は、 1回()分、()回/週間

問15 サービスの提供時間のあり方について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

(いずれかに○)

1. 現状のままでよい

2. 今より1回あたりの時間は短くてもよいから、利用できる回数を増やしてほしい

3. 今より利用できる回数は減ってもよいから、1回あたりの時間を長くしてほしい

4. その他()

サービスの種類 (受けたサービス番号すべてに○)	サービスの説明
8. 居宅療養管理指導	医師や歯科医師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士などが通院が困難な利用者の居宅を訪問し、療養上の管理や指導を行います。
9. 福祉用具貸与	日常生活の自立を助けるための福祉用具(車いす、特殊寝台、歩行補助つえなど)の貸与を受けることができます。
10. 福祉用具購入費の支給	入浴や排せつなどに使用する福祉用具の購入をしたとき、購入費の支給を受けることができます。
11. 住宅改修費の支給	手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をしたとき、住宅改修費の支給を受けることができます。
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	介護と看護が一体的または密接に連携して、日中・夜間を通じて(24時間対応)、1日複数回の定期訪問と随時の対応を行います。
13. 生活援助訪問事業	要支援1・2の認定を受けている方に、市が実施する研修終了者が家庭を訪問して、家事の援助を行います。
14. 活動移動支援事業	要支援1・2の認定を受けている方に、あきらめかけていた楽しみや趣味を再開していただけるよう、徒歩(公共交通機関の利用を含む)で、自宅から老人クラブやサークル活動などの地域の活動・参加場所までの移動を支援します。
15. 通院等移動支援事業	要支援1・2の認定を受けている方に、通院等のため、訪問介護員等が自らの運転する車両への乗車と降車の介助を行い、乗車前や降車後の屋内外における移動等の介助等を行います。
16. 教室型通所事業	要支援1・2の認定を受けている方で、他のサービス等の利用により心身機能が改善した方が、今の状態を維持するため、フィットネススタジオやプールなどのスポーツ施設で、体操指導員が実施するひらかた元氣くらわんか体操などの機能訓練に取り組むことで、なじみの場所として、継続して通っていただくための支援をします。
17. リハ職訪問通所指導事業	要支援1・2の認定を受けている方に、リハビリテーション専門職が居宅等を訪問して生活環境などを確認したうえで、通所施設や居宅等で筋力・持久力・バランス力等の評価を行いながら、自宅での生活が行いやすいよう、できない行為ができるようになるよう支援をします。
18. リハ職行為評価事業	要支援1・2の認定を受けている方に、リハビリテーション専門職が家庭を訪問して、身体機能や生活環境を評価し、できない動作ができるように助言を行います。
19. 栄養士派遣指導事業	要支援1・2の認定を受けている方に、栄養士が居宅等を訪問し、規則正しく食事を摂ることや食材や惣菜の選び方、簡単な料理ができるようになる支援など、食に関する支援を行います。
20. 小規模多機能型居宅介護	通いのサービスを中心に、訪問や泊まりの各サービスを組み合わせて利用できます。
21. 看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせ利用できます。

問22-2 問22で、「3.」または「4.」と回答された方におたずねします。介護保険施設に入所したい理由として、あなたのお考えに近いものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

1. バリアフリー化した施設で暮らしたいため
2. 施設のほうが、24時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため
3. 重度化したら、家族介護及び現在の在宅サービスのメニュー・内容では対応できないと思うため
4. 家族の介護が望めないため
5. 家族の介護負担を軽くするため
6. 施設に入所した方が経済的負担が少ないため
7. その他 ()

8. 保健・福祉サービスや介護に対するお考えについて

問23 あなたは高齢者の相談窓口である地域包括支援センター(高齢者サポートセンター)を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことはないが、役割は知っている |
| 3. 名前を聞いたことがある程度 | 4. 知らない |

問24 あなたは、介護や保健、医療等に関することで、どのような情報がほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報
2. 自宅のバリアフリー化(段差解消など)や高齢期に適した住み替え先の情報
3. 介護保険制度に関する情報(サービス利用の手続きなど)
4. 介護保険以外の福祉サービスに関する情報(配食、送迎サービス、ボランティアなど)
5. 認知症の人に対するケアや相談先などの情報
6. 高齢者に対する虐待の相談先の情報
7. 医療や介護に必要な費用に関する情報
8. その他 ()
9. 特に必要ない

問25 介護保険は、入所施設を増やしたり、サービスの利用が多くなるなど、サービスが充実すると、介護保険料も高くなります。あなたは、今後の介護サービスと介護保険料についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 保険料が高くなっても、もっとサービスを充実してほしい
2. サービスを抑えて、保険料が高くなるようにしてほしい
3. 現状の程度のサービスと保険料でよい
4. どちらともいえない・よく分からない
5. その他 ()

問30 今後、病院以外での最期(さいご)を迎えるためには、ということが整っていれば可能になると思いますか。(複数回答 3つ以内)

1. 往診してくれる医師が増えること
2. 訪問看護サービスを受けられること
3. 介護サービスを受けられること
4. 医療や介護について相談できる専門職(医師、看護師、介護支援専門員など)がいること
5. 医療職や介護サービス職が適切に連携をとってくれること
6. 自分の希望について、家族や医療職・介護職が理解してくれること
7. 本人・家族がお互いに休息する時間が確保できるよう、デイサービスやショートステイの受入れ態勢があること
8. 病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること
9. その他()

10. 高齢社会に対する市の取り組みへのお考えについて

問31 ご意見などがあれば、自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。記入した調査票を切り離すことなく、3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにご返送ください。

枚方市 長寿・介護保険課

あなたの知りたい情報が受け取れる！枚方市公式LINE

市の情報発信強化のため、枚方市LINE公式アカウントを開設しています。

緊急情報やおすすめ情報のプッシュ通知、暮らしに役立つメニューなど便利な機能が盛りだくさん。

ぜひ友だち登録してご利用ください！

右記コードを読み取り、「友だち追加」ボタンを押してください。

